

総合講義(Ⅱ)

コーディネーター： 歯科矯正学学分野 佐藤 和朗教授
う蝕治療学分野 工藤 義之准教授

第6学年 通年(2022年3月25日～2023年1月12日)

講義

通期 893.0時間

学修方針(講義概要等)

歯基礎医学、歯科医学、歯科医療についての知識の統合を図るとともに、歯科医師としての十分な思考力を涵養するために、これまで縦割的に学んできた基礎および臨床的知識に加えて、横割的学習を行なうことによって医療人としての基盤形成に不可欠な知識や技能を総合的に修得する。

教育成果(アウトカム)

歯科医師としての十分な思考力を涵養し、これまで縦割的に学んできた基礎医学・歯学および臨床的知識に加えて、横割的学習を行なうことによって医療人としての基盤形成に不可欠な知識や技能を総合的に修得する。(ディプロマポリシー：1、2、3、4)

事前学修内容及び事前学修時間(30分)

シラバスに記載されている次回の授業内容及び到達目標を確認し、教科書等を用いて事前学修(予習・復習)を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

講義日程

【歯科医師に必要な必修領域、一般領域、臨床実地領域の知識確認ならびに勉強の仕方(3月26日～4月7日)】

1限：8：40～9：40、2限：9：50～10：50、3限：11：00～12：00、4限：13：00～14：00、
5限：14：10～15：10、6限：15：20～16：20

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
3月25日(金) 1,2限		ガイダンス	
3月25日(金) 3限	武本真治教授 (医療工学)	歯科理工学領域に必要な 知識と勉強法 歯科理工学の重要項目を 理解し、勉強法を見つける ことができる。	1. 歯科理工学の知識を再確認し、これからの総合講義に役立てることができる。 [D-1、D-2] 事前学習：113回国家試験を解いておく。 2・3年次に使用した教科書(スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジメ、講義ノートの関連する項目に目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
3月25日(金) 4限	藤原尚樹教授 (機能形態学)	肉眼解剖学・歯の解剖学の重要領域のまとめ 肉眼解剖学と歯の解剖学の重要領域を確認し、適切な対策を立てることができる。	1. 歯科医師として必要な肉眼解剖学領域を臨床的な視点も含め、知識を整理し、重要項目を説明できる。 2. 歯科医師として歯の正常形態を、頻出する異常形態と共に整理し、各歯の鑑別をするための重要項目を説明できる。 3. 各自の弱点領域を見つけることができる。 [E-2-1)-①～⑥⑩, E-2-2)-①～④、⑥, E-3-1)-②] 事前学習：過去3年の歯科医師国家試験の解剖学領域についてまとめノートを作成しておくこと。講義でその問題及び関連事項ついてフィードバックする。
3月25日(金) 5限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	生化学領域の知識の整理 生化学領域の重要項目ならびに修得すべき知識を理解する。	1. 歯科医師として必要な生化学・分子生物学・細胞生物学の知識を列挙できる。 2. 理解が不十分な領域を確認するとともに、重要領域の概要を説明できる。 [C-1-1)、C-2-1)、C-2-2)、C-2-3)、C-2-4)] 事前学習：総合試験や過去の国家試験の生化学関連問題を見直して講義に臨むこと。
3月25日(金) 6限	入江太朗教授 (病態解析学)	今春の国家試験の必修問題解説-病理学の必修領域の出題内容とその傾向- 病理学の重要事項を理解し、勉強法を見つけることができる。	1. 今春の国家試験で問われた病理学領域の歯科医師に必要な知識を説明できる。 2. 歯科医師として必要な病理学の知識を修得するための年間計画が立案できる。 [E-2-4)、E-3-2)] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：本年度の歯科医師国家試験の口腔病理学関連問題を抜粋し、その問題を解説できるようにしておくこと。
3月26日(土) 1限	小笠原正人教授 (病態制御学)	薬理学領域の重要事項のまとめ 歯科医師として修得すべき薬理学の基本的知識を理解する。	1. 歯科医師として必要な薬理学の知識の整理と効率的な勉強法を確立することができる。 [C-6-1)-①～③、C-6-2)-①～⑤、C-6-3)-①②、C-6-4)-①②] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する問題について学習しておくこと。
3月26日(土) 2限	成田欣弥講師 (病態生理学)	今春の国家試験の必修問題解説-生理学の必修領域の出題内容- 生理学の重要事項を理解し、勉強法を見つけることができる。	1. 今春の国家試験で問われた生理学領域の歯科医師に必要な知識を説明できる。 2. 歯科医師として必要な生理学の知識を修得するための年間計画が立案できる。 [C-3-4)-(4)-①～③、C-3-4)-(5)-②～④、⑦～⑨、C-3-4)-(9)-①②] 事前学習：今春の国家試験問題に目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
3月26日(土) 3限	千葉俊美教授 (内科学)	内科領域の歯科医師として必要な知識修得とその勉強法 歯科医師として必要な内科領域の知識を修得することができる。	1. 今春の国家試験で問われた内科領域の歯科医師に必要な知識を説明できる。 2. 歯科医師として必要な知識を修得するために自分にあった勉強法での年間計画を立案できる。 事前学習：内科学に関する国家試験問題を確認し講義に臨むこと。 [E-6-①～③]
3月28日(月) 4限	下山佑准教授 (分子微生物学)	微生物学領域の歯科医師として必要な知識 歯科医師として修得すべき微生物学の基本的知識を理解する。	1. 歯科医師として必要な微生物学の知識を修得するための、効率的な勉強法を確立することができる。 アクティブラーニング：ディスカッション方式の講義を行う。 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学習しておくこと。 [A-5-3]-①, ②, C-3-1]-①～③, ⑥, C-3-2]-①～⑦, E-2-4)-(9)-②, ③, E-1-4)-⑥, ⑧, E-2-4)-(3)-①, E-3-2]-①～⑤]
3月28日(月) 5,6-1限	田邊憲昌准教授 (補綴・インプラント学)	歯科補綴学領域の国家試験の傾向と勉強法 歯科補綴学領域の国家試験問題を理解し、勉強法を見つけることができる。	1. 今春の歯科補綴学領域の国家試験問題を通して傾向を説明できる。 2. 自分にあった勉強法を見つけることができる。 [E-3-4)-(1)、3-4)-(2)-①～⑭]
3月28日(月) 6-2限	高藤恭子助教 (補綴・インプラント学)	国家試験の解説と傾向を理解する。	1. 今春の国家試験で問われたインプラント領域の歯科医師に必要な知識を説明できる。 [E-3-4)-(3)]
4月1日(金) 4限	鬼原英道教授 (補綴・インプラント学)	歯科補綴学領域の国家試験の傾向と勉強法 歯科補綴学領域の国家試験問題を理解し、勉強法を見つけることができる。	1. 今春の歯科補綴学領域の国家試験問題を通して傾向を説明できる。 2. 自分にあった勉強法を見つけることができる。 [E-3-4)-(1)、E-3-4)-(2)-①～⑭] 事前学習：国家試験過去問題に目を通して講義に臨むこと。
4月1日(金) 5,6限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	予防歯科領域の勉強法 予防歯科領域学習目標とそれに対する、勉強法を見つけることができる。	1. 予防歯科領域に求められる学力の水準を説明できる。 2. 自分にあった勉強法を見つけることができる。 [A-2-1)-①～⑤] 事前学習：歯科医師国家試験に回答して講義に臨むこと。
4月2日(土) 1限	原田英光教授 (発生物・再生医学)	組織学の国家試験傾向と対策 組織学領域の基本的な内容について、統合的かつ体系的に整理、理解できるようになる。	1. 国家試験問題の解説と傾向を理解する。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月2日(土) 2,3限	山田浩之教授 (口腔外科学)	口腔外科領域の試験の傾向と勉強法 口腔外科領域の試験問題を理解し、勉強法を見つけることができる。	1. 今春の口腔外科領域の試験問題を通して傾向を説明できる。 2. 自分にあった勉強法を見つけることができる。 [[A-3-①～⑥]
4月4日(月) 1,2限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	小児歯科学領域の歯科医師として必要な知識修得とその勉強法 歯科医師として必要な小児歯科学領域の知識を修得する。	1. 今春の国家試験で問われた小児歯科学領域の歯科医師に必要な知識を説明できる。 2. 自分にあった勉強法を見つけることができる。 [E-4-2)-①～⑫] 事前学習：今春の小児歯科学領域の国家試験問題を確認しておく。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
4月4日(月) 3,4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	修復歯内領域の歯科医師として必要な知識修得とその勉強法 歯科医師として必要な修復、歯内領域の知識を修得することができる。	1. 今春の国家試験で問われた修復、歯内領域の歯科医師に必要な知識を説明できる。 2. 歯科医師として必要な知識を修得するために自分にあった勉強法での年間計画を立案できる。 [E-3-3)-(1)、 E-3-3)-(2)] 事前学習：今春の修復領域の国家試験問題を解いておくこと。
4月4日(月) 5限	熊谷美保准教授 (障害者歯科学)	障害者歯科学領域の試験の傾向と勉強法 障害者歯科学領域の試験問題を理解し、勉強法を見つけることができる。	1. 今春の障害者歯科学領域の試験問題を通して傾向を説明できる。 2. 自分にあった勉強法を見つけることができる。 [B-2-2)-①、 E-5-2)-①～④]
4月4日(月) 6限	泉澤充准教授 (歯科放射線学)	放射線領域の勉強法 歯科医師として必要な放射線領域の勉強法を見つけることができる。	1. 今春の国家試験で問われた放射線領域の歯科医師に必要な知識を説明できる。 2. 歯科医師として必要な知識を修得するために自分にあった勉強法での年間計画を立案できる。 [E-1-2)-①～⑨] 事前学習：今春の修復領域の国家試験問題を解いておくこと。
4月5日(火) 1,2限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周療法学領域の国家試験の傾向と勉強法 歯周領域の国家試験問題を理解し、勉強法を見つけることができる。	1. 歯周領域に求められる学力の水準を説明できる。 2. 歯周領域の演習問題の理解ができる。自分にあった勉強法を修得できる。 [E-3-2)-③④、 E-3-3)-(3)-①～⑤] 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月5日(火) 3-1限	千田弥栄子助教 (う蝕治療学)	総合歯科領域の歯科医師 として必要な知識修得と その勉強法 歯科医師として必要な総合 歯科領域の知識を修得 することができる。	1. 今春の国家試験で問われた総合歯科領域 の歯科医師に必要な知識を説明できる。 2. 歯科医師として必要な知識を修得するた めに自分にあった勉強法での年間計画を 立案できる。 [A-4、A-5] 事前学習：今春の総合歯科領域の国家試験 問題を解いておくこと。
4月5日(火) 3-2限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口 腔医学)	法歯学・災害口腔医学領域 の知識修得のための対策 法歯学・災害口腔医学の重 要事項を理解できる。	1. 歯科医師として必要な法歯学・災害口腔 医学領域の理解すべき事項を列挙でき る。 2. 理解不十分な領域を認識できる。 [A-1-1)-③] [A-1-3)-④] [A-7-1)-⑥] [B-2-2)-⑥⑨] [B-2-3)-①②] [C-5-7)-①] [E-4-2)-⑪] [E-5-1)-⑪] 事前学習：国家試験の法歯学・災害口腔医 学領域の過去問を見直しておくこと(60分 を要する)。
4月6日(水) 4,5限	桑島幸紀講師 (歯科矯正学)	歯科矯正学の重要領域の 傾向と勉強法 歯科矯正学の重要領域を 確認し、適切な対策を立て ることができる。	1. 歯科矯正学の重要領域について説明でき る。 2. 歯科矯正学領域における自分自身の弱点 を認識し、自分にあった勉強法を見つけ ることができる。 [E-4-1)-(1)-①~⑦] 事前学習：本年度の国家試験と出題基準に 目を通し出題傾向について予習を行うこと。
4月6日(水) 6限	四戸 豊講師 (歯科麻酔学)	歯科麻酔学の国家試験と その傾向 歯科医師として必要な歯 科麻酔領域の知識を修得 することができる。	1. 今春の国家試験で問われた歯科麻酔領 域の歯科医師に必要な知識を説明できる。 事前学習：今春の歯科麻酔領域の国家試験 問題を解いておくこと。

講義日程【臨床試験①解説講義(3月29日～4月1日)】

【必修試験①、②解説講義(4月8日～4月23日)】

必修試験①、②解説講義については、問題数に応じた変則時間割を別添する。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
臨床試験①			
3月29日(火) 1,2限	菅 徹也助教 (う蝕治療学)	修復領域臨床問題 歯内の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して歯内領域の臨床実地問題を解くことができるようになる。 [E-3-3]-(2) [E-3-3]-(1) 事前学習：国家試験出題基準の修復、歯内領域の臨床部分を読んでくること。
3月29日(火) 3,4限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	歯内領域臨床問題 歯内の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して歯内領域の臨床実地問題を解くことができるようになる。 [E-3-3]-(2) [E-3-3]-(1) 事前学習：国家試験出題基準の修復、歯内領域の臨床部分を読んでくること。
3月29日(火) 5,6限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周領域臨床問題 歯周領域の臨床問題について理解する。	試験解説を通して歯周領域の臨床問題を解くことができる。 [E-3-2]-③④、E-3-3)-(3)-①～⑤ 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
3月30日(水) 1限	田邊憲昌准教授 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ補綴学領域臨床問題 クラウンブリッジ補綴学領域の臨床問題について理解する。	試験解説を通してクラウンブリッジ補綴学領域の臨床実地問題を解くことができるようになる。 [E-3-4]-(1)
3月30日(水) 2限	高藤恭子助教 (補綴・インプラント学)	臨床試験の解説と傾向を理解する。	1. 臨床試験で問われたインプラント領域の歯科医師に必要な知識を説明できる。 [E-3-4]-(3)
3月30日(水) 3,4限	鬼原英道教授 (補綴・インプラント学)	有床義歯 臨床試験解説 有床義歯学の臨床領域について理解する。	1. 試験解説を通して有床義歯学領域の臨床実地問題を解くことができるようになる。 [E-3-4]-(2) ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
3月30日(水) 5,6限	桑島幸紀講師 (歯科矯正学)	歯科矯正領域の臨床問題 歯科矯正学領域の基本的事項について理解する。	1. 試験解説を通して矯正領域の臨床問題を解くことができるようになる。 [E-4-1]-(1)-①～⑦ 事前学習：歯科矯正学の臨床問題についてまとめ、各自の弱点ならびに疑問点を抽出すること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
3月31日(木) 1,2限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	小児歯科学領域臨床試験 問題の解説 小児歯科学領域の基本的 事項について理解する。	1. 試験解説を通して小児歯科領域の臨床問 題を解くことができる。 [E-4-2)-①~⑫] 事前学習：小児歯科領域の臨床問題を確認 しておく。 アクティブラーニング：講義中に教員との ディスカッションの機会を設ける。
3月31日 (木) 3,4限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	歯科麻酔領域臨床試験問 題1 歯科麻酔の臨床一般領域 について理解する。	1. 試験解説を通して歯科麻酔領域の臨床 実地問題を解くことができるようにな る。 [E-1-4)、E-1-6)、E-6-②] 事前学習：国家試験出題基準の歯科麻酔領 域の一般領域部分を読んでくること。
3月31日(木) 5,6限	泉澤充准教授 (歯科放射線学)	放射線領域の勉強法 臨床実地問題に必要な放 射線領域の勉強法を見つ ける ことができる。	1. 歯科放射線領域の臨床実地問題に必要な 知識を修得することができる。 [E-1-2)-①~⑨]
4月1日(金) 1,2,3限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	臨床試験①解説講義 口腔外科領域の臨床問題 について理解する。	1. 臨床試験①の試験解説を通して口腔外科 領域の臨床問題を解くことができるよう になる。 [A-3-①~⑥]
必修試験①			
4月8日(金) 午前-1限	千田弥栄子助教 (う蝕治療学)	総合歯科領域の歯科医師 として必要な知識修得と その勉強法 歯科医師として必要な総 合歯科領域の知識を修得 することができる。	1. 試験解説を通して総合歯科領域の必修 問題を解くことができるようになる。 [A-4、A-5] 事前学習：今春の総合歯科領域の国家試験 問題を解いておくこと。
4月8日(金) 午前-2限	成田欣弥講師 (病態生理学)	必修試験1解説講義 必修問題に必要な一般生 理学、口腔生理学の項目を 列挙できる。	1. 歯科医師として必要な生理学領域の必修 知識を説明できる。 2. 試験解説を通して生理学領域の必修問題 を解くことができる。 [C-3-4)-(4)-①~③、C-3-4-(5)-②~④、 ⑦~⑨、C-3-4)-(9)-①②] 事前学習：生理学の基本的事項について、 1・2年次の生理学で使用したレジメ、講義 ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月8日(金) 午前-3限	原田英光教授 (発生生物・再生 医学)	組織・発生学の重要領域の まとめ 組織・発生学の重要領域を 確認し、適切な対策を立て ることができるようになる。 る。	1. 組織・発生学の重要領域について説明で きる。 2. 組織・発生学領域における自分自身の弱 点を認識し、自分にあった勉強法を見つ けることができる。 [E-2-2)-①、E-2-3)-①] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要 な項目に目を通しておくこと。また問題集 については各自で解答して理解不足の点を 抽出しておくこと。
4月8日(金) 午前-4限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔 医学)	法歯学・災害口腔医学必修 1 法歯学・災害口腔医学の必 修領域について理解でき る。	1. 試験解説講義を通して法歯学・災害口腔 医学の基本的事項を列挙し説明できる。 [A-1-1)-③] [A-1-3)-④] [A-7-1)-⑥] [B-2-2)-⑥⑨] [B-2-3)-①②] [C-5-7)-①] [E-4-2)-⑪] [E-5-1)-⑪] 事前学習：必修問題で出題された内容を講 義ノートや教科書で確認しておくこと(30 分を要する)。
4月12日(火) 午後-1,2限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	予防歯科必修試験①解説 必修問題に必要な社会歯 科学、公衆衛生学、口腔衛 生学の項目を列挙できる。	1. 必修問題に特異的な出題基準を列挙でき るようになる。 2. 必修問題を通して一般、臨実問題に共通す る基礎的知識を把握できるようになる。 [A-1、A-2、A-5、A-6、B-1~4] 事前学習：必修試験①の予防歯科関連問題を想起 して学習課題を整理しておくこと。講義中随時知 識確認のための質問とフィードバックを行う。
4月12日(火) 午後-3限	間山寿代准教授 (歯科矯正学)	歯科矯正学領域必修問題 歯科矯正学領域の基本的 事項について理解する。	1. 試験解説を通して矯正領域の必修問題 を解くことができるようになる。 [E-4-1)-(1)-①~⑦] 事前学習：必修試験で出題された問題に関 する内容を講義ノート、教科書で確認する。
4月12日(火) 午後-4限	武本真治教授 (医療工学)	歯科理工学必修試験解説 講義 1 歯科理工学領域の基本的 事項について理解する。	1. 歯科理工学領域の基本的知識を説明できる。 [D-1、D-2] 事前学習：2・3年次に使用した教科書(ス タANDARD歯科理工学、新編歯科理工学)、 レジメ、講義ノートの必修試験 2 で出題さ れた問題に関連する項目に目を通して講義 に臨むこと。講義中随時知識確認のための 質問とフィードバックを行う。
4月13日(水) 午前-1限	橋口大輔助教 (小児歯科学)	小児歯科学領域必修問題 小児歯科学領域の基本的 事項について理解する。	1. 試験解説を通して小児歯科領域の必修問 題を解くことができる。 [E-4-2)-①~⑫] 事前学習：過去5年分の小児歯科領域の必 修問題を確認しておく。 アクティブラーニング：講義中に教員との ディスカッションの機会を設ける。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月13日(水) 午前-2限	下山佑准教授 (分子微生物学)	微生物学・免疫学必修1 (必修講義) 歯科医師として修得すべき微生物学・免疫学の基本的な知識や特に重要な必修項目を理解する。	1. 微生物学・免疫学の歴史と発展について説明できる。 2. 院内感染対策について説明できる。 3. 生体の免疫機構について説明できる。 4. 口腔の生態系について説明できる。 アクティブラーニング：ディスカッション方式の講義を行う。 ICT：講義前後に講義内容に準じる領域のDESS演習を行うこと。 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する必修問題について学習しておくこと。 [A-5-3]-①, ②, C-3-1]-①~③, ⑥, C-3-2]-①~⑦, E-2-4)-(9)-②, ③, E-1-4)-⑥, ⑧, E-2-4)-(3)-①, E-3-2]-①~⑤]
4月13日(水) 午前-3限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	生化学領域の必修知識 生化学の重要項目ならびに唾液の成分について理解する。	1. 歯科医師として必要な生化学領域の必修知識を理解する。 2. 唾液成分の由来や機能について説明できる。 [C-1-1)、C-2-1)、E-2-2)] DESS演習の準備をしておくこと。 事前学習：唾液成分について、5年次の総合講義Iで使用したレジメに目を通して講義に臨むこと。
4月13日(水) 午前-4限	熊谷美保准教授 (障害者歯科学)	障害者歯科学領域必修解説 ① 障害者歯科学の必修領域(総論、知的障害、自閉スペクトラム症、運動障害、てんかん)について理解する。	1. 試験解説を通して障害者歯科学領域(総論、知的障害、自閉スペクトラム症、運動障害、てんかん)の必修問題を解くことができるようになる。 [B-2-2)-①、E-5-2)-①~④] 事前学習：教科書、ノート、レジメですでに学んだことを確認して講義に臨むこと。
4月13日(水) 午前-5限	千葉俊美教授 (関連医学)	内科学領域必修問題1 内科学の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して内科領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-6-①~③] 事前学習：内科学に関する国家試験問題を確認し講義に臨むこと。
4月14日(木) 午後-1,2限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	口腔外科領域必修問題 1, 2 口腔外科領域の必修問題について理解する	必修試験①の試験解説を通して口腔外科領域の必修問題を解くことができるようになる。 [A-3-①~⑥]
4月14日(木) 午後-3限	泉澤充准教授 (歯科放射線学)	放射線領域の基本1 放射線領域の基本的な項目について修得する。	1. 放射線領域の基本的な項目を列挙し、説明できる。 [E-1-2)-①~⑨]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月14日(木) 午後-4限	藤原尚樹教授 (機能形態学)	肉眼解剖学・歯の解剖学の 基本的内容のまとめ1 必修問題に必要な肉眼解剖学と歯の解剖学について体系的に整理・理解する。	1. 肉眼解剖学領域に必要な基本的項目を列挙し、説明できる。 2. 歯の解剖学領域に必要な基本的項目を列挙し、説明できる。 [E-2-1)-①～⑥⑩, E-2-2)-①～④、⑥, E-3-1)-②] 配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。 事前学習：必修試験の該当領域およびDESSの類似問題を元にまとめノートを作成しておくこと。講義でその問題及び関連事項ついてフィードバックする。
4月15日 (金) 午前-1限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	歯科麻酔領域必修問題1 歯科麻酔の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して歯科麻酔領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-1-4)、E-1-6)、E-6-②] 事前学習：国家試験出題基準の歯科麻酔領域の必修部分を読んでおくこと。
4月15日(金) 午前-2限	入江太郎教授 (病態解析学)	必修試験1 解説講義 病理学総論の重要項目について体系的に整理・理解する。	1. 歯科医師として必要な病理学領域の必修知識を説明できる。 2 循環障害、増殖と修復について説明できる。 [C-5-1)～3)] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：スタンダード病理学 p74-109, p42-60 を読み、疑問点を抽出しておくこと。
4月15日(金) 午前-3限	田村晴希講師 (病態制御学)	薬理学必修知識1 歯科医師として修得すべき薬理学の基本的な事項について理解する。	1. 試験解説を通して薬理学領域の必修問題を解くことができるようになる。 [C-6-1)-①～③、C-6-2)-①～⑤、C-6-3)-①②、C-6-4)-①②] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する必修問題について学習しておくこと。
4月18日(月) 午前-1限	米澤悠助教 (補綴・インプラント学)	有床義歯 必修解説① 有床義歯学の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して有床義歯学領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(2)] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
4月18日(月) 午前-2限	畠山航講師 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ学領域必修問題 クラウンブリッジ補綴学領域の必修問題について理解する。	1. 試験解説を通してクラウンブリッジ補綴学領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月18日(月) 午前-3限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	一般教養問題 一般教養領域の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して一般教養領域の必修問題を解くことができるようになる。 [A-9] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：国家試験出題基準の一般教養領域必修部分を読んでおくこと。
4月18日(月) 午後-1,2限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	修復、歯内領域必修問題 修復、歯内の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して修復、歯内領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-3-3]-(2) [E-3-3]-(1)] 事前学習：国家試験出題基準の修復、歯内領域必修部分を読んでおくこと。
4月18日(月) 午後-3限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周領域必修問題① 歯周領域の必修問題について理解する。	1. 試験解説を通して歯周領域の必修問題を解くことができる。 [E-3-2]-③④、E-3-3)-(3)-①～⑤] 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
必修試験②			
4月20日(水) 午前-1限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周領域必修問題② 歯周領域の必修問題について理解する。	1. 試験解説を通して歯周領域の必修問題を解くことができる。 [E-3-2]-③④、E-3-3)-(3)-①～⑤] 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
4月20日(水) 午前-2限	石河太知講師 (分子微生物学)	微生物学・免疫学必修2 (必修講義) 歯科医師として修得すべき微生物学・免疫学の基本的な知識や特に重要な必修項目を理解する。	1. 微生物学・免疫学に関わる全身疾患による口腔症状について説明できる。 2. 微生物学検査および免疫血清学検査について説明できる。 3. 感染症の概念・病因・病態について説明できる。 4. 免疫異常の概念・病因・病態について説明できる。 アクティブラーニング：ディスカッション方式の講義を行う。 ICT：講義前後に講義内容に準じる領域のDESS 演習を行うこと。 [A-5-3]-①, ②, C-3-1]-①～③, ⑥, C-3-2]-①～⑦, E-2-4)-(9)-②, ③, E-1-4)-⑥, ⑧, E-2-4)-(3)-①, E-3-2]-①～⑤] 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する必修問題について学習しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月20日(水) 午前-3限	大津圭史准教授 (発生生物・再生 医学)	細胞・組織の基本的内容の まとめ1 組織学領域の基本的な内 容について、統合的かつ体 系的に整理、理解できるよ うになる。	1. 細胞・組織・器官の基本的な内容につい て整理して確認できる。 2. 細胞・組織・器官の基本的な内容につい て周辺組織との関連も考えながら体系的 に説明できる。 [C-3-4)-(5)-(7)、C-3-4)-(6)-(2)、 C-3-4)-(7)-(1)~(3)、C-3-4)-(8)-(1)~(2)、 C-3-4)-(9)-(1)、C-3-4)-(10)-(1)、 C-3-4)-(11)-(1)] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要 な項目に目を通しておくこと。また問題集 については各自で解答して理解不足の点を 抽出しておくこと。
4月20日(水) 午前-4限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔 医学)	法歯学・災害口腔医学必修 2 法歯学・災害口腔医学の必 修領域について理解でき る。	1. 試験解説講義を通して法歯学・災害口腔 医学の基本的事項を列挙し説明できる。 [A-1-1)-(3)] [A-1-3)-(4)] [A-7-1)-(6)] [B-2-2)-(6)(9)] [B-2-3)-(1)(2)] [C-5-7)-(1)] [E-4-2)-(11)] [E-5-1)-(11)] 事前学習：必修問題で出題された内容を講 義ノートや教科書で確認しておくこと (30 分を要する)。
4月20日(水) 午前-5限	千葉俊美教授 (関連医学)	内科学領域必修問題2 内科学の必修領域につい て理解する。	1. 試験解説を通して内科領域の必修問題を 解くことができるようになる。 [E-6-1)~(3)] 事前学習：内科学に関する国家試験問題を 確認し講義に臨むこと。
4月20日(木) 午後-1,2限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	予防歯科必修試験②解説 社会歯科学、公衆衛生学、 口腔衛生学で必修とされ る項目を理 解できる。	1. 必修問題に特異的な知識を理解できるよ うになる。 2. 必修問題を通して一般、臨実問題に共通す る基礎的知識を把握できるようになる。 [A-1、A-2、A-5、A-6、B-1~4] 事前学習：必修試験①の予防歯科関連問題を想起 して学習課題を整理しておくこと。講義中随時知 識確認のための質問とフィードバックを行う 。
4月20日(水) 午後-3限	間山寿代准教授 (歯科矯正学)	歯科矯正学領域必修問題 歯科矯正学領域の基本的 事項について理解する。	試験解説を通して矯正領域の必修問題を解 くことができるようになる。 [E-4-1)-(1)-(1)~(7)] 事前学習：必修試験で出題された問題に関 する内容を講義ノート、教科書で確認する。
4月21日(木) 午前-1限	橋口大助教 (小児歯科学)	小児歯科学領域必修問題 小児歯科学領域の基本的 事項について理解する。	1. 試験解説を通して小児歯科領域の必修問 題を解くことができる。 [E-4-2)-(1)~(12)] 事前学習：過去5年分の小児歯科領域の必 修問題を確認しておく。 アクティブラーニング：講義中に教員との ディスカッションの機会を設ける。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月21日(木) 午前-2限	成田欣弥講師 (病態生理学)	生理学領域の基本的内容 生理学領域の基本的な内容について、統合的かつ体系的に整理、理解できるようになる。	1. 歯科医師として必要な生理学領域の必修知識を説明できる。 2. 試験解説を通して生理学領域の必修問題を解くことができる。 [C-3-4)-(4)-①~③、C-3-4-(5)-②~④、⑦~⑨、C-3-4)-(9)-①②] 事前学習：生理学の基本的事項について、1・2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
4月21日(木) 午前-3限 10:50-11:30	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	生化学領域の必修知識 生化学の重要項目ならびにホルモンの機能について理解する。	1. 歯科医師として必要な生化学領域の必修知識を理解する。 2. ホルモンの性状や受容体について説明できる。 [C-1-1)、C-2-1)、C-2-4)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：到達目標の内容に関し教科書で調べて講義に臨むこと。
4月21日(木) 午前-4限	熊谷美保准教授 (障害者歯科学)	障害者歯科領域必修解説② 障害者歯科学の必修領域(行動調整、嚥下障害、歯科治療の工夫)について理解する。	1. 試験解説を通して障害者歯科学領域(行動調整、嚥下障害、歯科治療の工夫)の必修問題を解くことができるよう。 [B-2-2)-①、E-5-2)-①~④] 事前学習：教科書、ノート、レジメですでに学んだことを確認して講義に臨むこと。
4月21日(木) 午後-1,2限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	口腔外科領域必修問題2 口腔外科領域の必修問題について理解する	1. 必修試験②の試験解説を通して口腔外科領域の必修問題を解くことができるようになる。 [A-3-①~⑥]
4月21日(木) 午後-3限 15:30-16:40	泉澤充准教授 (歯科放射線学)	放射線領域の基本2 放射線領域の基本的な項目について修得する。	1. 放射線領域の基本的な項目を列挙し、説明できる。 [E-1-2)-①~⑨]
4月21日(木) 午後-4限	千田弥栄子助教 (う蝕治療学)	総合領域必修問題 総合歯科の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して総合領域の必修問題を解くことができるようになる。 [A-4、A-5] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：国家試験出題基準の一般教養領域必修部分を読んでおくこと。
4月22日(金) 午前-1限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	歯科麻酔領域必修問題2 歯科麻酔の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して歯科麻酔領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-1-4)、E-1-6)、E-6-②] 事前学習：国家試験出題基準の歯科麻酔領域の必修部分を読んでおくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月22日(金) 午前-2限	佐藤泰生講師 (病態解析学)	必修試験2 解説講義 病理学総論の重要項目について体系的に整理・理解する。	1. 歯科医師として必要な病理学領域の必修知識を説明できる。 2. 腫瘍、免疫異常、感染症の概念について説明できる。 [C-5-4)~5)] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：スタンダード病理学 p142-186, p244-282 を読み、疑問点を抽出しておくこと。
4月22日(金) 午前-3限	田村晴希講師 (病態制御学)	薬理学必修知識2 薬理学の基本的事項について理解する。	1. 試験解説を通して薬理学領域の必修問題を解くことができるようになる。 [C-6-1)-①~③、C-6-2)-①~⑤、C-6-3)-①②、C-6-4)-①②] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する必修問題について学習しておくこと。
4月22日(金) 午前-4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	一般教養問題 一般教養領域の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して一般教養領域の必修問題を解くことができるようになる。 [A-9] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：国家試験出題基準の一般教養領域必修部分を読んでおくこと。
4月22日(金) 午後-1,2限	菅 徹也助教 (う蝕治療学)	修復、歯内領域必修問題 修復、歯内の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して修復、歯内領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-3-3)-(2)] [E-3-3)-(1)] 事前学習：国家試験出題基準の修復、歯内領域必修部分を読んでおくこと。
4月22日(金) 午後-3限	武本真治教授 (医療工学)	歯科理工学必修試験解説講義2 歯科理工学領域の基本的事項について理解する。	1. 歯科理工学領域の基本的知識を説明できる。 [D-1、D-2] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートの必修試験2で出題された問題に関連する項目に目を通して講義に臨むこと。講義中随時知識確認のための質問とフィードバックを行う。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月22日(金) 午後-4限	藤原尚樹教授 (機能形態学)	肉眼解剖学・歯の解剖学の 基本的内容のまとめ2 必修問題に必要な肉眼解剖学 と歯の解剖学について体系的に 整理・理解する。	1. 肉眼解剖学領域に必要な基本的項目を列挙し、説明できる。 2. 歯の解剖学領域に必要な基本的項目を列挙し、説明できる。 [E-2-1)-①～⑥⑩, E-2-2)-①～④、 ⑥, E-3-1)-②] 配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。 事前学習：必修試験の該当領域およびDESSの類似問題を元にまとめノートを作成しておくこと。講義でその問題及び関連事項についてフィードバックする。
4月23日(土) 午前-1限	鬼原英道教授 (補綴・インプラント学)	有床義歯 必修解説② 有床義歯学の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して有床義歯学領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(2)] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
4月23日(土) 午前-2限	畠山航講師 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ学領域 必修問題 クラウンブリッジ補綴学領域の必修問題について理解する。	1. 試験解説を通してクラウンブリッジ補綴学領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)]

講義日程【A講義(4月25日～8月2日)】

復習試験：8：50～9：20、1限：9：30～10：35、2限：10：45～11：50、
3限：12：50～13：55、4限：14：05～15：10、5限：15：20～16：25

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月26日(月) 8:50～		ガイダンス	
4月25日(月) 2限	武本真治教授 (医療工学)	歯科材料の科学① 歯科材料の材料の分類 歯科材料の物理的・化学的・生物学的性質（化学構造、物質の状態、基本的な化学反応）を学ぶ。	1. 歯科臨床における歯科材料の構成を説明できる。 2. 歯科臨床における歯科材料の物理的性質を説明できる。 3. 歯科臨床における歯科材料の化学的性質を説明できる。 4. 口腔内環境と化学反応性（金属の腐食、高分子の加水分解など）を説明できる。 [D-1-①～③] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。講義中随時知識確認のための質問とフィードバックを行う。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月25日(月) 3限	武本真治教授 (医療工学)	歯科材料の科学② 応力ひずみ曲線と機械的性質 歯科材料の機械的性質について学ぶ。	1. 各種材料の応力-ひずみ特性（弾性係数、レジリエンス、降伏強さなど）を説明できる。 2. 歯科臨床における歯科材料の機械的性質を説明できる。 [D-1-①②] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。講義中随時知識確認のための質問とフィードバックを行う。
4月26日(火) 1限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	小児患者への対応 小児患者への正しい対応法を理解する。	1. 小児の恐れや不安の対象を列挙できる。 2. 小児の情動に配慮した対応法を説明できる。 3. 行動変容法を説明できる。 [E-1-1)-⑤、E-4-2)-⑩] 事前学習：小児患者への対応について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
4月26日(火) 2限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	歯周疾患 小児の歯周疾患について多角的に理解する。	1. 小児の健全な歯周組織の特徴を列挙できる。 2. 歯肉炎と歯周炎の違いを説明できる。 3. 小児と成人の歯周疾患の違いを説明できる。 [E-4-2)-⑥] 事前学習：小児の歯周疾患について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
4月26日(火) 3,4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	基礎力養成 接着歯科医学 1、2 接着について理解する。	1. エッチングについて説明できる。 2. プライミングについて説明できる。 3. ボンディングについて説明できる。 4. 各種材料に対する処理を説明できる。 5. 接着の欠点について説明できる。 [D-2-②] 事前学習：接着について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
4月26日(火) 5限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	基礎力養成 コンポジットレジン修復 1(形成法、充填法、研磨) コンポジットレジン修復窩洞形成法、充填、研磨について理解する。	1. コンポジットレジン窩洞についてメタルインレー窩洞との違いを説明できる。 2. コンポジットレジンの充填法を説明できる。 3. コンポジットレジンの研磨方法を説明できる。 [D-2-①、E-3-3)-(1)] 事前学習：コンポジットレジンについて3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月27日(水) 1限	大津圭史准教授 (発生生物・再生医学)	一般組織・上皮系のまとめ 人体を構成する組織・器官系とこれらの構成要素である細胞に関する組織学的特徴や機能について説明できるようになる。	1. 人体を構成する器官系を列挙できる。 2. 上皮組織の組織学的分類とそれぞれの存在部位について説明できる。 3. 重層扁平上皮の各層の特徴と構成細胞について説明できる。 4. 天疱瘡・類天疱瘡などの疾患を組織学的視点から説明できる。 5. 細胞間接着装置について理解できる。 [C-3-4)-(1)-①～③] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。
4月27日(水) 2限	大津圭史准教授 (発生生物・再生医学)	一般組織（結合組織系）のまとめ 間葉系幹細胞に由来する細胞、造血系幹細胞に由来する細胞とそれらの機能について説明できるようになる。	1. 間葉系幹細胞に由来する細胞を列挙できる。 2. 結合組織について理解できる。 3. 造血系幹細胞に由来する細胞を列挙できる。 4. 血球について組織学的特徴について説明できる。 5. 結合組織に存在する炎症系細胞について組織学的特徴や機能を説明できる。 [C-3-4)-(2)-②、C-3-4)-(4)-③～⑥、C-4-2)-③] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。
4月27日(水) 3限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	歯髄疾患、根尖性歯周疾患の診断から治療まで① 歯内疾患の診断から治療まで理解する。	1. 診査・検査を理解する。 2. 無菌的処置法について理解する。 3. 齶蝕の処置法について理解する。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：歯の検査法について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
4月27日(水) 4限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	歯髄疾患、根尖性歯周疾患の診断から治療まで② 歯内疾患の診断から治療まで理解する。	1. 歯髄疾患の臨床的分類を理解できる。 2. 歯髄疾患の診査・診断が理解できる。 3. 歯髄疾患の治療方針が理解できる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：歯髄疾患について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
4月27日(水) 5限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	歯髄疾患、根尖性歯周疾患の診断から治療まで③ 歯内疾患の診断から治療まで理解する。	1. 根尖性歯周炎の臨床的分類を理解できる。 2. 根尖性歯周炎の診査・診断が理解できる。 3. 根尖性歯周炎の治療方針が理解できる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：根尖性歯周疾患について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月28日(木) 1限	武本真治教授 (医療工学)	歯冠修復材料①とその科学 歯冠修復材に用いられる金属、セラミックスおよび複合レジン进行分类し、その特性を学ぶ。	1. 歯冠修復材进行分类できる。 2. 歯冠修復材料に要求される機械的・物理的・化学的性質を説明できる。 3. 口腔内環境と化学反応性（金属の腐食、高分子の加水分解など）を説明できる。 4. 歯科臨床における歯科材料の安全性について説明できる。 [D-1-①②、D-2-②] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。講義中随時知識確認のための質問とフィードバックを行う。
4月28日(木) 2限	武本真治教授 (医療工学)	歯冠修復材②金属材料 歯科用金属の種類、組成と理工学的性質を学ぶ。	1. 歯科臨床における歯科用金属の使用例を挙げられる。 2. 歯冠修復に使用される歯科用金属の性質、特徴を説明できる。 [D-1-②、D-2-⑥] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。講義中随時知識確認のための質問とフィードバックを行う。
4月28日(木) 3限	畠山航講師 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジの前処置 前処置に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してクラウンブリッジによる補綴に必要な前処置に関連する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)]
4月28日(木) 4限	畠山航講師 (補綴・インプラント学)	支台歯形成 クラウンの種類と支台歯形成に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してクラウンの種類とその支台歯形成法に関連する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)]
4月28日(木) 5限	畠山航講師 (補綴・インプラント学)	支台築造 支台築造に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通して支台築造に関連する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)]
5月2日(月) 1限	藤原尚樹教授 (機能形態学)	頭頸部の骨学のまとめ 頭頸部を構成する骨の連結、管・孔による空間交通を理解する。	1. 縫合・結合から頭蓋骨の立体的構築を説明できる。 2. 頭蓋の成長に関わる軟骨結合について説明できる。 3. 頭蓋腔と外頭蓋底、翼口蓋窩、口腔、鼻腔との交通を説明できる。 4. 頸椎の構造と頭蓋骨との接続について解剖学的特徴について説明できる。 [E-2-1]-② 配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。 事前学習：過去5年分の歯科医師国家試験の該当領域ならびに周辺領域の問題についてまとめノートを作製しておくこと。講義でその問題及び関連事項についてフィードバックする。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月2日(月) 2限	藤原尚樹教授 (機能形態学)	頭頸部の筋学のまとめ 頭頸部を構成する筋と支配神経を確認し、機能を理解する。	1. 表情筋と頸部の筋の走行と機能、神経支配についてを説明できる。 2. 咀嚼筋、舌骨上筋群、舌骨下筋群について走行と機能との関連性を説明できる。 [E-2-2]-③] 配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。 事前学習：過去5年分の歯科医師国家試験の該当領域ならびに周辺領域の問題についてまとめノートを作製しておくこと。講義でその問題及び関連事項についてフィードバックする。
5月2日(月) 3限	佐藤和朗教授 (歯科矯正学)	成長発育・不正咬合の特徴 成長発育全般に関する知識と不正咬合の特徴に関する知識を強化できる。	1. 全身成長、頭蓋顔面、歯列の成長発育に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 2. 不正咬合に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-2-3]-①～③] 事前学習：到達目標について医歯薬出版歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
5月2日(月) 4限	間山寿代准教授 (歯科矯正学)	不正咬合の病因病態 1 不正咬合の先天的原因に関する知識を強化できる。	1. 不正咬合の先天的な病因・病態に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-2-4)-(1)-①、E-2-4)-(10)-⑤、E-2-3)-③、E-4-1)-③] 事前学習：到達目標について医歯薬出版歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
5月2日(月) 5限	間山寿代准教授 (歯科矯正学)	不正咬合の病因病態 2 不正咬合の後天的原因に関する知識を強化できる。	1. 不正咬合の後天的な病因・病態に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-3-1)-③、E-4-1)-③] 事前学習：到達目標について医歯薬出版歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
5月6日(金) 1, 2, 3限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周病学出題項目網羅 歯周形成外科・根分岐部病変を理解する。	1. 歯周形成外科を説明できる。 2. 根分岐部病変を説明できる。 E-3-2)-③④、E-3-3)-(3)-①～⑤ 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
5月6日(金) 4, 5限	鈴木啓太助教 (歯周療法学)	歯周病学出題項目網羅 歯周基本治療(咬合他)を理解する。	1. 歯周基本治療で行う咬合治療(咬合調整、暫間固定)を説明できる。 2. 歯周基本治療の重要事項を説明できる。 E-3-3)-(3)-①～③、E-3-2)-④⑤、 E-3-3)-(3)-①②③⑤ 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月7日(土) 1限	入江太朗教授 (病態解析学)	疾病の概念 1 全国模試(DES基礎 4月11日実施)の解説と重要な各種疾患の病態を理解する。	1. 復習試験、模擬試験の結果 から明らかになった弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 2. 炎症について説明できる。 3. 免疫異常について説明できる。 4. 増殖と修復について説明できる。 [C-4-2)、C-5-3)、C-5-5)] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：スタンダード病理学 p110-188, p42-60 を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60分を要する)
5月7日(土) 2限	佐藤泰生講師 (病態解析学)	疾病の概念 2 病理学総論の疾病の概念について理解する。	1. 復習試験、模擬試験の結果 から明らかになった弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 2. 腫瘍について説明できる。 [C-5-6)] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：スタンダード病理学 p244-282 を読み、疑問点を抽出しておくこと。
5月9日(月) 1限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	基礎力養成 コンポジットレジン修復 1(形成法、充填法、研磨) コンポジットレジン修復窩洞形成法、充填、研磨について理解する。	1. コンポジットレジン窩洞についてメタルインレー窩洞との違いを説明できる。 2. コンポジットレジンの充填法を説明できる。 3. コンポジットレジンの研磨方法を説明できる。 [D-2-①、E-3-3)-(1)] 事前学習：コンポジットレジンについて3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
5月9日(月) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	基礎力養成 歯科用セメント(ガラスアイオノマーセメント) ガラスアイオノマーセメントについて理解する。	1. グラスアイオノマーセメントの組成、効果機序、特徴、適応症、禁忌症について説明できる。 [E-3-3)-(1)] 事前学習：ガラスアイオノマーセメントについて3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
5月9日(月) 3限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	基礎力養成 歯科用セメント(セメント総論、その他のセメント) 歯科用セメント(セメント総論、その他のセメント)について理解する。	1. 歯科用セメント(セメント総論、その他のセメント)の組成、効果機序、特徴、適応症、禁忌症について説明できる。 [E-3-3)-(1)] 事前学習：「歯科用セメント」について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月9日(月) 4,5限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	歯内療法におけるエックス線読影 歯内療法に必要なエックス線読影について理解する。	1. 歯内療法に必要なエックス線撮影法を列挙できる。 2. 慢性根尖性歯周炎のエックス線像の特徴を説明できる。 3. 急性根尖性歯周炎（4期）のエックス線像の特徴を説明できる。 4. 歯内-歯周疾患のエックス線像の特徴を説明できる。 5. 歯根水平破折のエックス線撮像の特徴を説明できる。 6. 歯根垂直破折のエックス線撮像の特徴を説明できる。 7. 歯の加齢変化によるエックス線撮像の特徴を説明できる。 8. 象牙質粒のエックス線撮像の特徴を説明できる。 9. 陥入歯（歯内歯）のエックス線撮像の特徴を説明できる。 10. 中心結節のエックス線撮像の特徴を説明できる。 11. 歯根肉芽種のエックス線撮像の特徴を説明できる。 12. 骨異形成症のエックス線撮像の特徴を説明できる。 13. 歯根嚢胞のエックス線撮像の特徴を説明できる。 14. 癒着歯、癒合歯のエックス線撮像の特徴を説明できる。 15. エックス線写真臨床例から正しく読影することができる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：歯内療法におけるエックス線読影について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
5月10日(火) 1限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	必修の基本的事項 I 医の倫理 保健医療と医学研究の倫理的変遷を学ぶことで医療倫理の包括的意義を理解する。	1. 医師の職業倫理を概説できる。 2. 医学研究の倫理を概説できる。 3. 患者の権利を列挙できる。 [A-1-1)①-④、A-1-2)①-④、A-3-④、A-7-2)③、B-2-2)①] 資料は事前にWebClassに提示する。講義中随時知識確認のための質問とフィードバックを行う。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月10日(火) 2限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	必修の基本的事項Ⅱ 歯科医療の社会的背景 歯科医療の社会的背景を学ぶことで現代の歯科医師への社会的要請を理解する。	1. 疾病構造の変化と医療の社会的ニーズの関連を概説できる。 2. 疾病予防の原則を概説できる。 3. ICF と ICDH の違いを説明できる。 4. ヒトを対象とした医学研究の倫理について概説できる。 [A-1-1)-④⑥、A-7-1)-①③、B-1-①、B-2-2)①③⑤、B-3-2)①] 資料は事前に WebClass に提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
5月10日(火) 3,4,5限	鈴木啓太助教 (歯周療法学)	歯周病学出題項目網羅 歯周病の疫学および歯周基本治療を理解する。	1. 歯周病の疫学を説明できる。 2. 歯周基本治療の応急処置を説明できる。 3. 歯周基本治療のモチベーション強化を説明できる。 4. 歯周基本治療のプラークコントロールを説明できる。 5. 歯周基本治療の SRP を説明できる。 6. 歯内と歯周病変の関係を説明できる。 7. 抜歯の判定基準を説明できる。 E-3-2)-③、E-3-3)-(3)-①、E-3-2)-④⑤、E-3-3)-(3)-①②③⑤ 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
5月11日(水) 1限	田邊憲昌准教授 (補綴・インプラント学)	精密印象採得 印象採得方法に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してクラウンブリッジの印象採得に関連する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)]
5月11日(水) 2限	田邊憲昌准教授 (補綴・インプラント学)	顎間関係記録 咬合採得に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してクラウンブリッジの咬合採得に関連する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)]
5月11日(水) 3限	橋口大輔助教 (小児歯科学)	歯列および咬合の発育 小児の歯列・咬合の成長、発達について、多角的に理解する。	1. 乳歯列の成育を説明できる。 2. 混合歯列の成育を説明できる。 3. 永久歯列の成育を説明できる。 [E-2-3)-②] 事前学習：歯列・咬合の発育について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
5月11日(水) 4限	橋口大輔助教 (小児歯科学)	歯の発育と異常 歯の発生、発育、萌出とその障害の機構を多角的に理解する。	1. 乳歯並びに永久歯の発生、形成時期、萌出順序を説明できる。 2. 歯の発生の各ステージにおける異常と症状の関連性を説明できる。 [E-2-3)-③] 事前学習：歯の発育と異常について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月11日(水) 5限	橋口大輔助教 (小児歯科学)	乳歯の特徴 乳歯とその特徴について多角的に理解する。	1. 乳歯の形態的・組織学的特徴を説明することができる。 2. 乳歯の物理的・化学的特徴を説明することができる。 [E-3-1)-②③] 事前学習：乳歯の特徴について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
5月12日(木) 1限	下山佑准教授 (分子微生物学)	微生物学・細菌学総論 病原微生物の生物分類学上の位置づけおよびその性状を理解する。	1. 微生物の構造・性状について説明できる。 2. 感染の概念と感染症について説明できる。 3. 宿主-寄生体相互作用について説明できる。 アクティブラーニング：ディスカッション方式の講義を行う。 ICT：講義前後に講義内容に準じる領域のDESS演習を行うこと。 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学習しておくこと。 [C-3-1]-①, ②, E-2-4)-(3)-①, E-2-4)-(9)-②]
5月12日(木) 2限	下山佑准教授 (分子微生物学)	微生物学・細菌学各論 病原微生物による感染症およびその病原因子について理解する。	1. 病原微生物の性状について説明できる。 2. 病原微生物による感染症・病原因子について説明できる。 アクティブラーニング：ディスカッション方式の講義を行う。 ICT：講義前後に講義内容に準じる領域のDESS演習を行うこと。 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学習しておくこと。 [C-3-1]-①, ②, E-2-4)-(3)-①, E-2-4)-(9)-②]
5月12日(木) 3限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	不正咬合の診断1 不正咬合の診察・検査に関する知識を強化できる。	不正咬合の診断に必要な診察・検査に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-3-1)-②] 事前学習：到達目標について医歯薬出版歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
5月12日(木) 4限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	不正咬合の診断2 不正咬合の診断・治療計画に関する知識を強化できる。	1. 不正咬合の診断・治療計画の立案に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-4-1)-③⑦] 事前学習：到達目標について医歯薬出版歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月12日(木) 5限	桑島幸紀講師 (歯科矯正学)	矯正力と固定 矯正力と固定に関する知識を強化できる。	1. 矯正力と固定に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 2. アンカースクリューの目的が理解できるようになる。 [E-4-1)-⑥] 事前学習：到達目標について医歯薬出版歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
5月13日(金) 1限	中里茉那美助教 (歯周療法学)	歯周病学出題項目網羅 歯周病の検査・診断と治療を理解する。	1. 歯周病の検査・診断と治療を説明できる。 E-3-2)-③④、E-3-3)-(3)-①～④ 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
5月13日(金) 2限	中里茉那美助教 (歯周療法学)	歯周病学出題項目網羅 口腔機能回復治療を理解する。	1. 歯周病の口腔機能回復治療を説明できる。 E-3-3)-(3)-②③⑤ 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
5月13日(金) 3限	畠山航講師 (補綴・インプラント学)	作業模型製作と咬合器装着 作業模型製作と咬合器装着に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通して作業模型の製法、咬合器装着に関連する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)]
5月13日(金) 4限	畠山航講師 (補綴・インプラント学)	ワックスパターン形成 ワックスパターン形成法に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してワックスパターン形成法に関連する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)]
5月13日(金) 5限	畠山航講師 (補綴・インプラント学)	埋没、鑄造、研磨 埋没・鑄造・研磨に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してクラウンの埋没、鑄造、研磨に関連する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)]
5月16日(月) 1限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	歯の硬組織疾患と知覚過敏 歯の硬組織疾患と知覚過敏について理解する。	1. 歯の硬組織疾患について説明できる。 2. MIDについて説明できる。 3. ICDASについて説明できる。 4. ARTについて説明できる。 5. レーザー蛍光測定法について説明できる。 6. OCTについて説明できる。 7. 知覚過敏について説明できる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：歯の硬組織疾患と知覚過敏について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
5月16日(月) 2限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	歯内療法に必要な歯の解剖学 歯内療法に必要な歯の携帯について理解する。	1. 歯の構造を説明できる。 2. 各歯種の形態学的特徴を説明できる。 3. 歯髄、象牙質、エナメル質、歯髄腔の特徴を説明できる。 4. 各歯種の根管数、根管長、歯の長さを説明できる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：歯髄保存療法について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月16日(月) 3限	石崎明教授 (細胞情報科学)	生化学検査 生化学検査の原理と基礎を理解する。	1. 逸脱酵素を説明できる。 2. 糖代謝、脂質代謝、アミノ酸代謝関連物質を説明できる。 3. 含窒素成分を説明できる。 [C-1-1)、C-2-1)] DESS 演習の準備をしておくこと。
5月16日(月) 4限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	血液 血液の成分と機能を理解する。	1. 血液凝固やヘム・ポルフィリン代謝を説明できる。 2. 血漿成分の機能や疾患における変動を説明できる。 [C-1-1)、C-2-1)、C-3-4)-(4)] DESS 演習の準備をしておくこと。
5月16日(月) 5限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	炎症 炎症のメカニズムを理解する。	1. 炎症性細胞の役割を説明できる。 2. ケミカルメディエーターの性質や産生を説明できる。 [C-1-1)、C-2-1)、C-5-5)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：炎症について、5年次の総合講義Ⅰで使用したレジメに目を通して講義に臨むこと。
5月17日(火) 1限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	必修の基本的事項Ⅲ 医療の質と安全性の確保 医療現場におけるリスクを学ぶことで医療行為のリスクマネジメントを理解する。	1. 医療事故防止の原則を概説できる。 2. 医療廃棄物の取り扱いを概説できる。 3. 医事紛争の流れを概説できる。 [A-6-1)①-⑧、A-6-2)①-⑥、A-6-3-①-⑤] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
5月17日(火) 2限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	必修の基本的事項Ⅳ 診療記録、健康日本 21 診療記録の重要性を学ぶことで、医療関連個人情報管理について理解する。 健康日本 21 について理解する。	1. 主な診療記録の必須記載事項を列挙できる。 2. 診療情報の取り扱いについて概説できる。 3. 健康日本 21 の基本的方向を概説できる。 [B-2-1)-①～③、B-2-2)-①、B-3-2)①～④、E-1-1)-⑦～⑩] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
5月17日(火) 3限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	保健・医療関係法規Ⅰ 歯科医療関連法規を学ぶことで歯科医療供給体制の概要を理解できる。	1. 医療法が規定する事項を列挙できる。 2. 医療計画を概説できる。 3. 歯科医師法に定められた歯科医師の義務と業務を列挙できる。 [A-7-1)-②、B-2-1)-①～③] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月17日(火) 4限	衣斐美歩講師 (病態解析学)	疾病の概念 3 病理学総論・口腔病理学の疾病の概念について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 到達度評価試験①・②、復習試験、模擬試験の結果から明らかになった弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 歯の形・大きさ・数・構造の異常について説明できる。 歯列・咬合の異常による障害について説明できる。 歯の萌出の異常について説明できる。 歯の物理的・化学的損傷について説明できる。 歯の沈着物・着色・変色について説明できる。 [E-3-1)-③, E-3-2)-①] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：新口腔病理学 p2-47 を読み、疑問点を抽出しておくこと。
5月17日(火) 5限	入江太朗教授 (病態解析学)	疾病の概念 4 病理学総論・口腔病理学の疾病の概念について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 復習試験、模擬試験の結果から明らかになった弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 顎骨の非歯原性腫瘍と腫瘍様病変について説明できる。 線維骨性病変について説明できる。 骨形成性病変について説明できる。 軟骨形成性病変について説明できる。 円形細胞腫瘍について説明できる。 歯原性腫瘍について説明できる。 [E-2-4] アクティブラーニング ：ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 ICT：クリッカー 事前学習：新口腔病理学 p197-227 を読み、疑問点を抽出しておくこと。
5月18日(水) 1限	小笠原正人教授 (病態制御学)	薬理学総論のまとめと復習 薬物の基本的性質、体内動態、副作用について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 薬理作用の機序の基本について説明できる。 薬物相互作用、薬効に影響する因子について説明できる。 薬物療法の種類について説明できる。 薬理作用の定量的扱いを説明できる。 [C-6-1)-①～③、C-6-2)-①～⑤、C-6-3)-①②、C-6-4)-①②] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する必修問題について学習しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月18日(水) 2限	小笠原正人教授 (病態制御学)	抗炎症薬・免疫抑制薬・ 抗アレルギー薬 抗炎症薬、免疫抑制薬 の概要を理解する	1. 酸性非ステロイド性抗炎症薬の作用機序、 副作用を説明できる。 2. 解熱鎮痛薬について説明できる。 3. ステロイド性抗炎症薬の作用機序、副作用 を説明できる。 4. 免疫抑制薬の概要を説明できる。 5. 抗アレルギー薬の概要を説明できる。 6. 抗血小板薬について説明できる。 [C-6-2)-②⑤、C-6-3)-②、C-6-4)-①] 事前学習:過去5年間の国家試験の薬理学に関連す る必修問題について学習しておくこと。
5月18日(水) 3、4限	石河太知講師 (分子微生物学)	免疫学 免疫応答による生体防 御の仕組みを理解す る。	1. 免疫応答に関与する器官と細胞について 説明できる。 2. 自然免疫と獲得免疫について説明でき る。 3. 主なサイトカインとその生物活性につい て説明できる。 4. 微生物の認識機構と排除機構を説明でき る。 5. 各過敏症の発症メカニズムと代表的な疾 患について説明できる。 6. 主な免疫不全症の発症機序と疾患につい て説明できる。 7. 自己免疫疾患発現に関与する因子と代表 的な自己免疫疾患について説明できる。 [C-3-2)-①～⑦, E-2-4)-(9)-③] アクティブラーニング:ディスカッション方 式の講義を行う。 ICT:講義前後に講義内容に準じる領域の DESS 演習を行うこと。 事前学習:過去5年間の国家試験の微生物 学・免疫学に関連する問題について学習して おくこと。
5月18日(水) 5限	石河太知講師 (分子微生物学)	ウイルス学各論 ウイルスの性状と感染 経路、標的器官および 感染症を理解する。	1. 主要な病原性ウイルスの性状・感染経 路・標的器官および感染症を説明できる。 アクティブラーニング:ディスカッション方 式の講義を行う。 ICT:講義前後に講義内容に準じる領域の DESS 演習を行うこと。 事前学習:過去5年間の国家試験の微生物 学・免疫学に関連する問題について学習して おくこと。 [C-3-1)-①, ②, E-2-4)-(9)-②]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月19日(木) 1、2限	准教授 (分子微生物学)	口腔細菌 A 口腔の正常フローラ、 口腔細菌の性状および 病原因子を学び、う 蝕・歯周疾患・歯内疾 患の成立・発症機序を 理解する。 院内感染対策 滅菌と消毒の方法、感 染性廃棄物の処理を理 解する。	1. 口腔のニッチとその構成細菌について説 明できる。 2. 口腔病原微生物の特徴と病原因子につい て説明できる。 3. う蝕の成立機序について説明できる。 4. 歯周炎の成立機序について説明できる。 5. 歯内疾患の成立機序について説明できる。 6. 物理的、化学的方法による滅菌法を説明で きる。 7. 主な消毒薬の分類とその効果について説 明できる。 8. 歯科医療における院内感染とその予防法 について説明できる。 [A-5-3]-①, ②, C-3-1]-①～③, ⑥, E-1-4)- ⑥, ⑧, E-2-4)-(3)-①, E-3-2]-①～⑤] アクティブラーニング：ディスカッション方 式の講義を行う。 ICT：講義前後に講義内容に準じる領域のDESS 演習を行うこと。 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物 学・免疫学に関連する問題について学習して おくこと。
5月19日(木) 3限	小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔 リハビリテーシ ョン学)	摂食嚥下リハビリテー ション① 高齢者に対する様々な アセスメントを理解す る。	1. 高齢者の日常生活動作を説明できる。 2. 高齢者の手段的日常生活動作を説明できる。 3. 高齢者の認知機能を説明できる。 4. 高齢者の運動機能を説明できる。 [E-2-4)-(11)-②, E-5-1)-⑦～⑩] 事前学習：歯学生のための摂食嚥下リハビリ テーション学 p2～18 を読み、疑問点をまと めておくこと。
5月19日(木) 4限	小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔 リハビリテーシ ョン学)	摂食嚥下リハビリテー ション② 口腔機能の評価を理解 する。 口腔機能低下症を理解 する。	1. 摂食嚥下に関与する解剖について説明でき る。 2. 摂食嚥下のメカニズムについて説明できる。 3. 疾患別による摂食嚥下障害の病態について 説明できる 4. 嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査について説 明できる。 [E-2-4)-(11)-②, E-5-1)-⑤～⑩] 事前学習：歯学生のための摂食嚥下リハビリ テーション学 p20～49, 58～67, 70～110 を読 み、疑問点をまとめておくこと。
5月19日(木) 5限	福徳暁宏助教 (補綴・インプラ ント学)	口腔内試適、調整 口腔内試適・調整法に 関する知識を深め整理 できる。	1. 講義を通してクラウンの試適、調整法に関 連する問題を解くことができるようにな る。 [E-3-4)-(1)]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月20日(金) 1限	池崎晶二郎助教 (発生生物・再生 医学)	一般組織(骨・筋・内 分泌・ホルモン)のま とめ 骨・筋組織の細胞とそ れらの機能について説 明できるようになる。 内分泌・ホルモンに関 わる器官の構造や細胞 について説明でき、さ らに生体恒常性的視点 から理解できるようにな る。	1. 骨と筋の細胞に由来する細胞を列挙できる。 2. 骨と筋の組織について理解できる。 3. 軟骨について組織学的特徴について説明で きる。 4. 内分泌・ホルモンを構成する細胞について 説明できる。 5. 内分泌・ホルモンの組織学的特徴について 説明できる。 6. 血糖・血中カルシウム・血圧の恒常性維持 について説明できる。 [C-3-4)-(2)-③~⑤、C-3-4)-(3)-①~②、 C-3-4)-(4)-③~⑥、C-4-2)-③] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な 項目に目を通しておくこと。また問題集につ いては各自で解答して理解不足の点を抽出し ておくこと。
5月20日(金) 2限	池崎晶二郎助教 (発生生物・再生 医学)	一般組織(神経組織) と顎顔面の発生のま とめ 中枢神経・末梢神経に 関わる組織の構造や細 胞について説明でき、 さらに神経のネットワ ークの視点から生体恒 常性を理解できる。 顎顔面の発生過程を成 体の構造と関連づけて 説明できるようにな る。	1. 中枢神経・末梢神経を構成する細胞につい て説明できる。 2. 脳・脊髄の組織学的特徴について説明でき る。 3. 感覚器官について説明できる。 4. 鰓弓(咽頭弓)、鰓囊(咽頭囊)、鰓溝(咽頭 溝)について説明できる。 5. 鰓弓・鰓囊・鰓溝由来の構造について説明 できる。 6. 神経堤について説明できる。 7. 神経堤に由来する組織について説明できる。 8. 口蓋の発生過程について説明できる。 9. 頭蓋の発生過程について説明できる。 10. 前頭鼻突起、内側鼻突起、外側鼻突起、上 顎突起、下顎突起と顎顔面形成の関係につ いて説明できる。 [C-3-2)-①~③、E-2-3)-①] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な 項目に目を通しておくこと。また問題集につ いては各自で解答して理解不足の点を抽出し ておくこと。
5月20日(金) 3限	成田欣弥講師 (病態生理学)	自律機能 自律神経系の働きを理 解する。	1. 交感神経と副交感神経の働きを説明できる。 2. 交感神経と副交感神経の走行の違いを説明 できる。 3. 自律神経系の神経伝達物質と受容体を説明 できる。 [C-3-4)-(5)-②~④、C-3-4)-(5)-⑨] 事前学習：自律神経について1・2年次の生理 学で使用したレジメ、講義ノートに目を通し て講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月20日(金) 4限	成田欣弥講師 (病態生理学)	循環 循環器系の働きを理解する。	1. 血液の循環経路を説明できる。 2. 心臓の興奮伝導系を説明できる。 3. 心電図波形の成因と不整脈の心電図を説明できる。 4. 自律神経による血圧調節を説明できる。 5. ホルモンによる血圧調節を説明できる。 [C-3-4)-(4)-①~③] 事前学習：循環について2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
5月20日(金) 5限	成田欣弥講師 (病態生理学)	体液調節・呼吸 腎臓の働きおよび呼吸器系の働きを理解する。	1. 体液の区分と組成を説明できる。 2. 腎臓による体液調節を説明できる。 3. 浮腫を説明できる。 4. 呼吸運動とスパイログラムを説明できる。 5. 血液によるガス輸送を説明できる。 6. 呼吸調節を説明できる。 7. 呼吸による体液のpH調節とアシドーシス、アルカローシスを説明できる。 [C-3-4)-(10)-①~③、C-3-4)-(8)-②、C-3-4)-(4)-④、C-5-4)-⑤] 事前学習：体液調節・呼吸について2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
5月23日(月) 1限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	基礎力養成 コンポジットレジン修復2(適応症、光照射器、不快事項) コンポジットレジン修復の適応症、光照射器、不快事項を理解する。	1. コンポジットレジン修復の適応症、光照射器、不快事項を説明できる。 [E-3-3)-(1)] 事前学習：コンポジットレジン修復について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
5月23日(月) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	基礎力養成 コンポジットレジン修復3(組成、重合機序) コンポジットレジンの組成、重合機序について理解する。	1. コンポジットレジンの重合機序を説明できる。 2. コンポジットレジンの組成を説明できる。 [E-3-3)-(1)] 事前学習：「コンポジットレジン修復」について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
5月23日(月) 3限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	抜髓の基本術式 抜髓の基本術式について理解する。	1. 抜髓の術式を説明できる。 2. 抜髓に使用する器具を説明できる。 3. 根管拡大基準について説明できる。 4. アクセスキャビティについて説明できる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：抜髓の基本術式について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月23日(月) 4限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	根管拡大法 種々の根管拡大法・根管洗淨が説明できるようになる。	1. 根管拡大を説明することができる。 2. 彎曲根管の拡大法について説明することができる。 3. 根管洗淨・消毒について説明することができる。 4. 内容物検査が説明することができる。 5. Ni-Ti ロータリーファイルが説明することができる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：根管拡大法について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
5月23日(月) 5限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	根管充填、治癒機転 種々の根管充填法が説明できるようになる。	1. 目的・時期が説明できる。 2. 各種加圧充填法が説明できる。 3. 治癒経過が説明できる。 [E-3-3)-(2) ②、④] 事前学習：根管充填、治癒機転について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
5月24日(火) 1限	深澤翔太講師 (補綴・インプラント学)	全部床義歯① 無歯顎の病態と加齢に伴う変化を理解する。	1. 無歯顎の病態について説明できる。 2. 無歯顎者の加齢変化について説明できる。 [E-3-4)-(2)-①] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
5月24日(火) 2限	深澤翔太講師 (補綴・インプラント学)	全部床義歯② 無歯顎の印象採得を理解する。	1. 上下顎無歯顎の解剖学的ランドマークと圧負担域を図示できる。 2. 上下顎の辺縁形成に関わる筋を説明できる。 3. 筋圧形成の意義を説明できる。 4. 精密印象の目的と方法を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑥] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
5月24日(火) 3限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	保健・医療関係法規Ⅱ 保健、衛生関係法規を学ぶことで地域保健の仕組みを理解する。	1. 健康増進法が規定する事項を列挙できる。 2. 地域保健法が規定する事項を列挙できる。 3. 歯科口腔保健の推進に関する法律を概説できる。 4. 感染症法、予防接種法、検疫法を概説できる。 [B-2-1)⑤-⑦] 資料は事前に WebClass に提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月24日(火) 4限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	社会保障制度 社会保障制度の仕組みを学ぶことで制度における歯科医師の役割を理解する。	1. 社会保障制度の種類を列挙できる。 2. 医療保障制度を概説できる。 3. 所得保障制度を概説できる。 [B-2-2)-②③] 資料は事前に WebClass に提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
5月24日(火) 5限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	国民医療費、国際保健 国民医療費について学ぶことで超高齢社会の問題点を把握する。 国際保健を学ぶことでグローバルな医療人として社会貢献をする態度が身につく。	1. 国民医療費の内訳を列挙できる。 2. 制度別、財源別、診療行為別、年齢別国民医療費について説明できる。 3. 国際協力組織を列挙できる。 4. WHO の口腔保健戦略を列挙できる。 [A-7-2)-③～⑤、B-2-2)-②③] 資料は事前に WebClass に提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
5月25日(水) 1限	橋口大輔助教 (小児歯科学)	外傷 小児の歯の外傷を多角的に理解する。	1. 小児の歯の外傷の疫学的特徴を説明できる。 2. 小児の歯の外傷の診査と診断について説明できる。 3. 小児の歯の外傷に対する的確な対応法を説明できる。 [E-2-4)-(2)-①②、E-4-2)-⑦] 事前学習：小児の歯の外傷について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
5月25日(水) 2限	橋口大輔助教 (小児歯科学)	抜歯 小児の抜歯について多角的に理解する。	1. 乳歯抜去時の診査事項を説明できる。 2. 乳歯抜歯の適応症、禁忌症を説明できる。 3. 乳歯抜歯の術式を説明できる。 [E-1-5)-①] 事前学習：小児の抜歯について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
5月25日(水) 3限	橋口大輔助教 (小児歯科学)	口腔習癖 口腔習癖の種類とその影響を多角的に理解する。	1. 口腔習癖の種類と特徴を説明できる。 2. 口腔習癖への対応法について説明できる。 [E-4-2)-⑫] 事前学習：口腔習癖について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月25日(水) 4限	高藤恭子助教 (補綴・インプラント学)	口腔インプラント臨床 口腔インプラントの診断 およびインプラント体の材料について	1. 口腔インプラント治療の診断が説明できる。 [E-3-4)-(3)-②③] 事前学習：4・5年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。また、教科書の該当項目にも目を通すこと。
5月25日(水) 5限	高藤恭子助教 (補綴・インプラント学)	口腔インプラント臨床 診断用ステントから治療計画立案のながれについて。シミュレーションによる治療計画も理解する。	1. 口腔インプラント治療の診断が説明できる。 [E-3-4)-(3)-②③] 事前学習：4・5年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。また、教科書の該当項目にも目を通すこと。
5月26日(木) 1限	澤田智史准教授 (医療工学)	歯の切削に用いる材料 歯の切削の基本原則と、用いる切削・研削工具と回転駆動装置を学ぶ。	1. 歯科用回転駆動装置の名称、構造と性能を説明できる。 2. 切削工具と研削工具の種類と特徴を説明できる。 3. 歯の切削時の注意点を説明できる。 [D-1-④、D-2-①] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。講義中随時知識確認のための質問とフィードバックを行う。
5月26日(木) 2限	澤田智史准教授 (医療工学)	印象用材料と模型材 印象採得に用いられる材料の種類、成分、特徴を学ぶ。石膏の性質、特に硬化の機構、硬化膨張について学ぶ。	1. 印象材の成分・組成と硬化機構および性質を説明できる。 2. 歯科臨床における石膏の所要性質を説明できる。 3. 石膏の硬化機構を説明できる。 4. 石膏の硬化時間に影響を与える因子（混水比、温度、添加剤）を説明できる。 5. 石膏の硬化膨張に影響を与える因子を説明できる。 [D-2-③④] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。講義中随時知識確認のための質問とフィードバックを行う。
5月26日(木) 3限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	結合組織Ⅰ 結合組織の構造と機能を理解する。	1. コラーゲンの構造・機能・生合成を説明できる。 2. プロテオグリカンの構造・機能・分布を説明できる。 [C-1-1)、C-2-4)、C-3-4)-(2)] DESS 演習の準備をしておくこと。
5月26日(木) 4限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	結合組織Ⅱ 結合組織の成分と細胞接着を理解する。	1. インテグリンの構造と機能を説明できる。 2. 主要な接着性タンパク質の機能と分布を説明できる。 [C-1-1)、C-2-4)、C-3-4)-(2)] DESS 演習の準備をしておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月26日(木) 5限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	プラーク プラーク細菌の糖代謝を理解する。	1. プラークの形成過程と性質を説明できる。 2. プラーク細菌による有機酸の産生を説明できる。 [C-5-5)、E-3-2)] DESS 演習の準備をしておくこと。
5月28日(土) 1限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	硬組織 硬組織成分の機能と骨リモデリングを理解する。	1. 硬組織を構成する成分と性質を説明できる。 2. 骨リモデリングのメカニズムを説明できる。 [C-1-1)、C-2-4)、C-3-4)-(2)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：骨リモデリングについて、5年次の総合講義 I で使用したレジメに目を通して講義に臨むこと。
5月28日(土) 2限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	血清カルシウム 血清カルシウムの調節機構を理解する。	1. 血清カルシウム調節ホルモンの構造と機能を説明できる。 2. ホルモンによる血清カルシウムの調節機構を説明できる。 [C-1-1)、C-2-4)、C-3-4)-(2)] DESS 演習の準備をしておくこと。
6月1日(水) 1, 2限	佐藤和朗教授 (歯科矯正学)	矯正治療における抜歯①② 抜歯に関する知識を強化できる。	1. 矯正治療に必要な抜歯部位が確定できるようになる。 [E-4-1)-③] 事前学習：到達目標について医歯薬出版歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
6月1日(水) 3限	桑島幸紀講師 (歯科矯正学)	矯正装置 1 機能的矯正装置 機能的矯正装置に関する知識を強化できる。	1. 機能的矯正装置に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-4-1)-⑤] 事前学習：到達目標について医歯薬出版歯科矯正学、4年次に配布したレジメ、講義ノートに目を通して臨むこと。
6月1日(水) 4限	桑島幸紀講師 (歯科矯正学)	矯正装置 2 器械的矯正装置 器械的矯正装置に関する知識を強化できる。	1. 器械的矯正装置に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-4-1)-⑤] 事前学習：到達目標について医歯薬出版歯科矯正学、4年次に配布したレジメ、講義ノートに目を通して臨むこと。
6月1日(水) 5限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	矯正装置 3 ブラケット装置 ブラケット、保定装置等に関する知識を強化できる。	1. ブラケット装置や保定装置、その他の矯正装置に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-4-1)-④⑤] 事前学習：到達目標について医歯薬出版歯科矯正学、4年次に配布したレジメ、講義ノートに目を通して臨むこと。
6月2日(木) 1限	千葉俊美教授 (関連医学)	循環器疾患、脳血管疾患 代表的な循環器疾患、脳血管疾患について理解する。	1. 代表的な循環器疾患、脳血管疾患について理解し説明できる。 [E-6-②] 事前学習：内科学に関する過去の講義資料を確認し講義に臨むこと。講義に関する国家試験問題を解きまとめること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月2日(木) 2限	千葉俊美教授 (関連医学)	消化器疾患、呼吸器・アレルギー疾患 代表的な消化器疾患、呼吸器・アレルギー疾患について理解する。	1. 代表的な消化器疾患、呼吸器・アレルギー疾患について理解し説明できる。 [E-6-②] 事前学習：内科学に関する過去の講義資料を確認し講義に臨むこと。講義に関する国家試験問題を解きまとめること。
6月2日(木) 3限	小川淳准教授 (口腔外科学)	口腔外科診断学 1(主要症候) 口腔外科疾患における主要な症候を理解し、診断に必要な知識を修得する。	1. 主要な症候とその概略を説明できる。 2. 主要な症候の原因、病理を説明できる。 3. 主要な症候を有する主な疾患を列挙できる。 [E-1-4)-(1)-①～⑥] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p26-44 を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClass にアップロードしておく。
6月2日(木) 4限	藤原尚樹教授 (機能形態学)	歯の解剖学 歯の形態に関する基本的知識を再確認し、すべての歯種を鑑別できる。	1. 永久歯の歯種ごとの基本形態を説明できる。 2. 乳歯の歯種ごとの基本形態を説明できる。 3. 上顎と下顎の歯の排列を理解し、咬合との関連性について説明できる [E-3-1]-② 配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。 事前学習：過去5年分の歯科医師国家試験の該当領域ならびに周辺領域の問題についてまとめノートを作製しておくこと。講義でその問題及び関連事項についてフィードバックする。
6月2日(木) 5限	藤原尚樹教授 (機能形態学)	頭頸部の脈管学のまとめ 頭頸部の動脈・静脈に関する走行経路や分布範囲について理解する。	1. 大動脈弓から分岐する血管とその枝の走行について説明できる。 2. 外頸動脈とその枝の走行と分布範囲について説明できる。 3. 顔面・口腔領域の動脈、静脈の走行を説明できる。 [E-2-1]-④ 配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。 事前学習：過去5年分の歯科医師国家試験の該当領域ならびに周辺領域の問題についてまとめノートを作製しておくこと。講義でその問題及び関連事項についてフィードバックする。
6月3日(金) 1限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	基礎力養成 齲蝕(診査、診断、処置) について理解する。	1. 齲蝕の診査、診断、処置について説明できる。 [E-3-3)-(1)-①] 事前学習：齲蝕(診査、診断、処置)について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月3日(金) 2限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	臨床推論 症例例から必要な診 査、診断、処置方針を 立案できる。	1. 症例写真、エックス線写真から必要な検査 を説明できる。 2. 正しい診断を下すことができる。 3. 適切な処置方針を説明できる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：保存におけるエックス線読影につ いて3年次のノート、教科書に目を通して講 義に臨むこと。
6月3日(金) 3限	成田欣弥講師 (病態生理学)	内分泌Ⅰ 内分泌系の働きを理解 する。	1. 視床下部-下垂体系のホルモンを説明できる。 2. 副腎皮質・副腎髄質ホルモンを説明できる。 3. 甲状腺・副甲状腺ホルモンを説明できる。 4. 膵臓ホルモンを説明できる。 [C-3-4)-(4)-①~②] 事前学習：内分泌について、2年次の生理学 で使用したレジメ、講義ノートに目を通して 講義に臨むこと。
6月3日(金) 4限	成田欣弥講師 (病態生理学)	内分泌Ⅱ 内分泌系の働きを理解 する。	1. 循環および体液を調節するホルモンを説明 できる。 2. カルシウム調節ホルモンを説明できる。 3. ストレス関連ホルモンを説明できる。 4. 消化管ホルモンを説明できる。 5. 主なホルモンの働きを説明できる。 [C-3-4)-(4)-①~②、C-3-4)-(4)-⑥、 C-3-4)-(7)-①] 事前学習：内分泌について、2年次の生理学で 使用したレジメ、講義ノートに目を通して講 義に臨むこと。
6月3日(金) 5限	成田欣弥講師 (病態生理学)	顎顔面の感覚・顎運動 顎顔面領域の感覚およ び顎運動について理解 する。	1. 顎顔面の体性感覚の受容機構と特徴を説 明できる。 2. 顎顔面の体性感覚の伝導路を説明できる。 3. 味覚の受容機構を説明できる。 4. 味覚の伝導路を説明できる。 5. 咀嚼運動に関与する筋・神経・中枢機構を 説明できる。 6. 顎反射の働きと反射経路を説明できる。 [C-3-4)-(6)-①~④、C-3-4)-(5)-④、⑥~⑧、 E-2-1)-③、⑤~⑧、E-2-2)-⑨~⑩] 事前学習：顎顔面の感覚について、2年次の生 理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通 して講義に臨むこと。
6月6日(月) 1,2限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	基礎力養成 窩洞形成&メタルイン レー修復 窩洞形成、メタルイン レー修復の重要事項を 理解する。	1. 窩洞の分類を説明できる。 2. 窩洞の条件を説明できる。 3. 窩洞の名称を説明できる。 4. メタルインレー修復窩洞の特徴を説明でき る。 5. メタルインレー窩洞形成に使用する器具を 説明できる。 [E-3-3)-(1)] 事前学習：窩洞形成&メタルインレー修復に ついて3年次のノート、教科書に目を通して 講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
		基礎力養成 鑄造修復&鑄造欠陥 鑄造修復、鑄造欠陥の重要事項を理解する。	1. 鑄造修復の術式を説明できる。 2. 鑄造収縮とその補償法を説明できる。 3. 鑄造欠陥の種類を列挙しその特徴と防止法を説明できる。 [E-3-3)-(1)、D-2-②] 事前学習：鑄造修復&鑄造欠陥について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
6月6日(月) 3,4,5限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	高齢者における歯内療法 高齢者における歯内療法について理解できる。 歯内療法後の支台築造 支台築造と歯冠修復について説明できる。 歯内療法の偶発症 偶発症に関連する知識・治療法を理解し、国家試験問題を解くことができる。	1. 高齢者の歯の特徴を説明できる。 2. 高齢者の歯内治療での注意事項を説明できる。 3. 高齢者と成人の歯内療法の違いを説明できる。 [E-5-1] 事前学習：高齢者における歯内療法について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。 1. コアについて説明できる。 2. 根管治療後のコンポジットレジンについて説明できる。 3. 根管治療後の歯冠修復について説明できる。 [E-3-3)-(1)] 事前学習：歯内療法後の支台築造について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと 歯内療法における偶発症と対応について説明できる。 [E-3-3)-(2)-③] 事前学習：歯内療法の偶発症について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
6月7日(火) 1限	千田弥栄子助教 (う蝕治療学)	基礎力養成 医療面接/医の倫理 他 医療面接の目的、面接のマナー、病歴聴取について説明できるようになる。	1. 医療面接の目的と方法を説明できる。 2. コミュニケーションの進め方(質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション)を説明できる。 3. 病歴聴取(主訴、現病歴、既往歴など)を説明できる。 [F-2-1)] 事前学習：医療面接/医の倫理について3年次のノート、レジメに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月7日(火) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	基礎力養成 歯科材料とアレルギー アレルギー患者への歯科治療を安全に行うために必要な知識を修得する。 歯の外傷(診断と処置) 外傷歯に適切に対応するために必要な知識を修得する。	1. 歯科材料のアレルギー惹起能を説明できる。 2. 保存領域で使用する歯科材料の組成を説明できる。 [D-1-①②] 1. 脱落歯の保管方法を説明できる。 2. 脱落しを再植するか否かの判断基準を説明できる。 3. 歯の再植に伴う不快事項を説明できる。 4. 再植歯の経過観察法を説明できる。 [E-2-4)-(2)-③] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：「歯科材料とアレルギー」について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
6月7日(火) 3限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	疫学総論 医学全般に共通の疫学を学ぶことで疫学の基本概念が理解できる。	1. 疫学の研究方法を列挙できる。 2. 疫学指標を算出できる。 3. 因果関係の判定基準を列挙できる。 [B-4-1)-①、B-4-2)-①③④] 資料は事前に WebCl ass に提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
6月7日(火) 4限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	スクリーニング スクリーニングについて学ぶことで集団の健康管理法について理解できる。	1. スクリーニングの意義を概説できる。 2. スクリーニングの有効性の指標を算出できる。 3. 尤度比の意義を説明できる。 [B-4-1)-②、B-4-2)-④] 資料は事前に WebCl ass に提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
6月7日(火) 5限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	歯科疾患の疫学指標 口腔疾患に固有の疫学指標を学ぶことで歯科疾患・リスクの分布頻度の把握方法を理解できる。	1. 歯科集団検診の方法を概説できる。 2. 歯科疾患の疫学指標を算出できる。 [B-4-1)-③、B-4-2)-④] 資料は事前に WebCl ass に提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
6月8日(水) 1限	千葉俊美教授 (関連医学)	腎・代謝・内分泌疾患・腫瘍 代表的な腎・代謝・内分泌疾患・腫瘍について理解する。	1. 代表的な腎・代謝・内分泌疾患・腫瘍について理解し説明できる。 [E-6-②] 事前学習：内科学に関する過去の講義資料を確認し講義に臨むこと。講義に関する国家試験問題を解きまとめること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月8日(水) 2限	千葉俊美教授 (関連医学)	血液・出血性疾患・抗凝固療法 代表的な血液・出血性疾患・抗凝固療法について理解する。	1. 代表的な血液・出血性疾患・抗凝固療法について理解し説明できる。 [E-6-②] 事前学習：内科学に関する過去の講義資料を確認し講義に臨むこと。講義に関する国家試験問題を解きまとめること。
6月8日(水) 3限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	レジニンレー修復 1 MI とレジニンレー修復の特徴と術式について説明できるようになる。	1. レジニンレー修復の術式、特徴を説明できる。 2. レジニンレーの窩洞形成について説明できる。 3. クレビスについて説明できる。 [E-3-3)-(1)-②] 事前学習：医歯薬出版保存修復学 第6章4を読み、疑問点を抽出しておく。
6月8日(水) 4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	レジニンレー修復 2 レジニンレー修復の特徴と術式について説明できるようになる。	1. コンポジットレジン修復とレジニンレー修復について比較、説明できる。 2. レジンコーティング法について説明できる。 3. レジンセメントの種類を列挙できる。 4. レジンセメントの特徴を説明できる。 5. レジンセメントの用途を説明できる。 [E-3-3)-(1)-③] 事前学習：医歯薬出版保存修復学 第6章4を読み、疑問点を抽出しておく。
6月8日(水) 5限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	臨床推論（修復） 症例例から必要な診査、診断、処置方針を立案できる。 (臨床実地問題の解き方)	1. 症例写真、エックス線写真から必要な検査を説明できる。 2. 正しい診断を下すことができる。 3. 適切な処置方針を説明できる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：保存におけるエックス線読影について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
6月9日(木) 1限	武本真治教授 (医療工学)	金属の成形技術・機器（ワックス、埋没材、歯科鑄造、鑄造欠陥、熱処理、ろう付け） 埋没材の種類、特徴を歯科鑄造と関連付けて学ぶ。歯科用金属の成形法について学ぶ。鑄造欠陥について学ぶ。金属同士を接合する方法について学ぶ。	1. 歯科用ワックスの種類と用途、性質を説明できる。 2. 石膏系およびリン酸塩系埋没材の種類、組成、成分の役割、性質を説明できる。 3. 鑄型加熱の目的を説明できる。 4. 歯科臨床における合金の融解と鑄込みの重要性を説明できる。 5. 合金の融解方法（熱源）について説明できる。 6. 歯科鑄造の理論と技術について説明できる。 7. 鑄造欠陥の原因と対策を説明できる。 8. 金属の強化方法（熱処理、加工）を説明できる。 9. 金属の接合方法の種類と特徴について説明できる。 10. 歯科用ろうの種類と所要性質を説明できる。 [D-1-②④、D-2-①②④⑤⑥] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。講義中随時知識確認のための質問とフィードバックを行う。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月9日(木) 2限	武本真治教授 (医療工学)	歯冠修復材③歯科用陶材、セラミックス 歯科用陶材の用途、種類、成分・組成、焼成体の性質を学ぶ。	1. 歯冠修復に用いられるセラミックスの種類を挙げ、それぞれの一般的特徴を説明できる。 2. 歯科用陶材の諸性質を説明できる。 [D-1-①②、D-2-①②⑥] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。講義中随時知識確認のための質問とフィードバックを行う。
6月9日(木) 3限	小笠原正人教授 (病態制御学)	局所麻酔薬・全身管理の薬物 局所麻酔薬と全身麻酔薬に使用する薬物を理解する。 救急薬・全身疾患と関連する薬物 救急薬の概要を理解する。 全身疾患と関連する薬物の概要を理解する。	1. 局所麻酔薬の作用機序、種類、副作用、中毒を説明できる。 2. 血管収縮薬の使用目的と種類、特徴を説明できる。 3. 全身麻酔で使用される薬物の種類、特徴を説明できる。 1. 救命処置で使用する薬物を説明できる。 2. 高血圧、糖尿病、気管支喘息など基本的疾患、高齢者で多い疾患に使用する薬物を説明できる。 [C-6-2)-②⑤、C-6-3)-②、C-6-4)-①、E-1-4)-①-⑤、E-1-4)-③-①②④、E-1-4)-④-②、E-5-②、E-6] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する必修問題について学習しておくこと。
6月9日(木) 4限	小笠原正人教授 (病態制御学)	自律神経薬と筋弛緩薬 自律神経系とその作用薬、拮抗薬を理解する。 筋弛緩薬を理解する。	1. 自律神経系の構成と神経伝達物質を説明できる。 2. 交感神経系の作用薬、拮抗薬を説明できる。 3. 副交感神経系の作用薬、拮抗薬を説明できる。 4. 筋弛緩薬の概要を説明できる。 [C-3-4)-⑤-②⑨、C-6-2)-②③⑤、C-6-4)-①] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する必修問題について学習しておくこと。
6月9日(木) 5限	小笠原正人教授 (病態制御学)	中枢作用薬・麻薬性鎮痛薬 中枢作用薬・麻薬性鎮痛薬の概要を理解する。	1. 抗けいれん薬について説明できる。 2. 鎮静薬、催眠薬について説明できる。 3. 麻薬性鎮痛薬の作用機序、種類、副作用を説明できる。 4. 緩和ケアに使用する薬物を説明できる。 [C-6-2)-②⑤、C-6-3)-①、C-6-4)-①] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する必修問題について学習しておくこと。
6月10日(金) 1限	米澤悠助教 (補綴・インプラント学)	全部床義歯③ 様々な印象採得法を理解する。	1. いろいろな手法を用いた印象採得方法を説明できる。 [E-3-4)-②-⑥] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月10日(金) 2限	米澤悠助教 (補綴・インプラント学)	全部床義歯④ 顎間関係記録を理解する。	1. 咬合床の機能と仮想咬合平面の決定方法を説明できる。 2. 垂直的顎間関係の形態的、機能的な決定方法を説明できる。 2. 水平的顎間関係の記録方法を説明できる。 3. 咬合床に記入する標示線を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑦] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
6月10日(金) 3,4,5限	田中良一教授 (歯科放射線学)	放射線の基礎 I 1. 放射線の性質 2. エックス線の発生原理とエックス線管の構造 3. エックス線の線質と物質との相互作用 4. 放射線防護の基準と方法	1. 原子の構造および電離、励起について説明できる。 2. 放射線の種類を類別できる。 3. エックス線の一般的性質を説明できる。 4. 以下の用語を定義、説明できる。 照射線量、吸収線量、等価線量、実効線量、放射線加重係数、組織加重係数 5. エックス線発生の原理、エックス線管の構造を説明できる。 6. 焦点と半影、ろ過について説明できる。 7. 制動放射線、特性エックス線の比較、エックス線スペクトルを図示し説明できる。 8. 光電効果、コンプトン効果、散乱について説明できる。 9. 放射線防護の基準と方法を説明できる。 [E-1-2)-①③④⑤]
6月13日(月) 1限	米澤悠助教 (補綴・インプラント学)	全部床義歯⑤ ゴシックアーチ描記法を理解する。	1. ゴシックアーチ描記法を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑦] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
6月13日(月) 2限	米澤悠助教 (補綴・インプラント学)	全部床義歯⑥ 下顎運動と咬合器を理解する。	1. 調節性咬合器と非調節性咬合器について説明できる。 2. アルコン型とコンダイラー型咬合器について説明できる。 3. 下顎運動について説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑧] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
6月13日(月) 3,4限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	全身状態評価、周術期管理 (術前・術中・術後管理) 術前の全身状態評価法と術中の呼吸・循環管理と術後の合併症と疼痛管理法を理解する。	1. 術前診察の方法を説明できる 2. バイタルサインを説明できる。 3. リスク・重症度の分類ができる。 4. 術前経口摂取制限を説明できる。 5. 麻酔前投薬を説明できる。 6. 術中の管理と合併症を説明できる。 7. 術後の管理と合併症を説明できる。 [E-1-4)-(1)、E-1-4)-(4)-③] 事前学習：全身状態評価法、周術期管理について永末書店 第6版 臨床歯科麻酔学、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月13日(月) 5限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	高齢者の歯科治療 高齢者の歯科治療時の 注意点と管理法を理解 する。	1. 加齢による変化を説明できる 2. 高齢者の特徴を説明できる。 3. 要介護になる原因を説明できる。 4. 高齢者の歯科治療時の全身的問題点を説 明できる。 [E-5-1)-(1)-①-⑥] 事前学習：高齢者の麻酔管理について永末書 店 第6版 臨床歯科麻酔学、4年次に使用し たレジュメ、講義ノートに目を通して講義に 臨むこと。
6月14日(火) 1限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	人口統計 健康指標として最も代 表的な人口指標を学ぶ ことで、超高齢社会の 問題点を把握できる。	1. 人口静態と人口動態の指標を列挙し、主な 指標を説明できる。 2. 母子保健に関する人口指標を説明できる。 [B-4-2)-②③] 資料は事前に WebClass に提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバ ックのため随時ディスカッション機 会を設ける。
6月14日(火) 2限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	国の保健統計調査 国の行う保健医療統計 調査を学ぶことで、現 代日本の構造と問題点 を理解するようにな る。	1. 基幹統計と一般統計を列挙できる。 2. 歯科疾患実態調査結果を概説できる。 [B-4-2)-②③] 資料は事前に WebClass に提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバ ックのため随時ディスカッション機 会を設ける。
6月14日(火) 3限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	国民栄養と食品保健 栄養と健康について学 ぶことで口腔保健にお ける栄養指導の重要性 が理解できる。	1. 国民栄養の問題点を列挙できる。 2. 栄養関連法規を概説できる。 3. 食事摂取基準、食事バランスガイドを説明 できる。 [B-1-③、B-4-2)-②、F-3-2)-④] 資料は事前に WebClass に提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバ ックのため随時ディスカッション機 会を設ける。
6月14日(火) 4限	小川淳准教授 (口腔外科学)	口腔外科診断学2(検査 法) 顎・口腔外科の診察に おいて必要な検査法を 修得する。	1. 基本的な検査法を上げ、その概略を説明で きる。 2. 基本的な検査法の臨床的意義が説明でき る。 3. 各臨床検査の基準値を述べ、異常値の意味 を説明できる。 [[E-1-3)-①~⑤]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月14日(火) 5限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	顎口腔の嚢胞 1 顎嚢胞 2 軟組織の嚢胞 口腔顎顔面領域に発生する嚢胞の分類、発生病因、診断、治療法を修得する。	1. 顎骨および軟組織に発生する嚢胞を分類し、それぞれの発生病因と臨床症状、画像検査所見、病理組織所見を述べ、治療法を概説できる。 2. 嚢胞に対する手術法および器具の種類を列挙し用法を説明できる。 3. 術中、術後の偶発症と対処法を説明できる。 [E-2-4)-(5)-①~②] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p272-291、378を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
6月15日(水) 1限	千葉俊美教授 (関連医学)	産科、皮膚科、他 代表的な産科、皮膚科疾患について理解する。	1. 代表的な、産科、皮膚科疾患などについて理解し説明できる。 [E-6-②] 事前学習：内科学に関する過去の講義資料を確認し講義に臨むこと。講義に関する国家試験問題を解きまとめること。
6月15日(水) 2限	千葉俊美教授 (関連医学)	必修、他 必修問題の傾向について理解する。	1. 必修問題の傾向について理解し説明できる。 [E-6-②] 事前学習：内科学に関する過去の講義資料を確認し講義に臨むこと。講義に関する国家試験問題を解きまとめること。
6月15日(水) 3、4限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	歯内療法に使用する器具、薬品 歯内療法に使用する器具、薬品について説明できる。	1. リーマーファイルのISO規格を説明できる。 2. リーミングについて説明できる。 3. ファイリングについて説明できる。 4. ターンアンドプルについて説明できる。 5. ターンアンドプルについて説明できる。 6. バランスドフォーステクニクについて説明できる。 7. 超音波機器について説明できる。 8. イオン導入法について説明できる。 9. 電氣的根完長測定器について説明できる。 10. EDTAについて説明できる。 11. NaOClについて説明できる。 12. ガッタオアーチャについて説明できる。 13. ガッタパーチャ溶解剤について説明できる。 14. 根管充填用シーラーについて説明できる。 15. スプレッターについて説明できる。 16. プラガーについて説明できる。 17. 仮封材について説明できる。 [E-3-3)-(2)-②] 事前学習：根管充填法、充填材料についてA講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月15日(水) 5限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	歯内療法後の治癒機転 歯内療法後の治癒機転について説明できる。	1. 歯内療法後の経過観察項目を説明できる。 2. 抜髄後の種々の治癒機転について説明できる。 3. 感染根管治療後の治癒機転について説明できる。 4. 歯内療法後の望ましくない治癒機転について説明できる。 [E-3-3)-(2)-②] 事前学習: 根管充填について、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
6月16日(木) 1限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	外傷1 歯の外傷・歯槽骨骨折、軟組織の損傷、創傷治癒 歯の損傷および歯槽骨骨折の診断法と治療について修得する。	歯の損傷の種類と特徴および治癒過程を説明する。 2. 歯の損傷の診断と治療法を説明できる。 3. 歯槽骨骨折の診断と治療法を説明する。 4. 軟組織損傷について説明できる。 5. 創傷治癒について説明できる。 [E-2-4)-(2)-①~⑤] 事前学習: 最新口腔外科学第5版 p149-157を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClass にアップロードしておく。
6月16日(木) 2限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	外傷2 顎骨骨折 顎顔面骨折の診断と治療について修得する。	1. 一般的な骨折の種類と特徴および治癒過程を説明できる。 2. 顎顔面骨折の原因と種類を列挙できる。 3. 上顎骨骨折、下顎骨骨折、頬骨・頬骨弓骨折および鼻骨骨折の症状と検査法を列挙し、診断と治療法を説明できる。 [E-2-4)-(2)-①~⑤] 事前学習: 最新口腔外科学第5版 p158-173を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClass にアップロードしておく。
6月16日(木) 3限	大橋祐生講師 (口腔外科学)	先天異常・後天異常1 総論 顔面・口腔の裂奇形 先天性・後天性異常の概念、成因、発生との関連について理解し、裂奇形に関する知識を修得する。 口蓋裂患者への機能検査を修得する。顎の異常 顎の先天性・後天性異常について理解し、顎変形症に関する知識を修得する	1. 先天異常・後天異常の概念と成因について説明できる。 2. 顔面・口腔の発生と先天異常との関連について説明できる。 3. 裂奇形の種類を列挙できる。 4. 口唇裂の発生率、裂型、症状、治療法を説明できる。 5. 口蓋裂の発生率、裂型、症状、治療法を説明できる。 [E-2-4)-(1)-①~④] 事前学習: 最新口腔外科学第5版 p126-137を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClass にアップロードしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月16日(木) 4限	小野寺慧助教 (口腔外科学)	先天異常・後天異常2 軟組織の異常 顎・口腔に異常を現す症候群と系統的骨疾患 先天性・後天性の軟組織の異常ならびに顎・口腔に異常を現す症候群と系統的骨疾患に関する知識を修得する。	1. 主要な顎形態異常を列挙することができる。 2. 主要な顎変形症の症状を説明できる。 3. 主要な顎変形症の診断法を説明できる。 4. 主要な顎変形症の治療法を説明できる。 [E-2-4)-(1)-③] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p139-147を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
6月16日(木) 5限	小野寺慧助教 (口腔外科学)	先天異常・後天異常3 総論 顔面・口腔の裂奇形 先天性・後天性異常の概念、成因、発生との関連について理解し、裂奇形に関する知識を修得する。 口蓋裂患者への機能検査を修得する。	1. 主要な軟組織の異常と治療法を説明できる。 2. 顎口腔に異常を現す主要な症候群と系統的骨疾患を列挙し症状を説明できる。 3. 主要な症候群と系統的骨疾患の診断法を説明する。 [E-2-4)-(1)-①～④] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p109-126, 138-139を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
6月17日(金) 1,2限	泉澤 充准教授 (歯科放射線学)	CT、MRI、US 検査 顎顔面領域の適切な診断を行うため、各種診断装置の原理と適応について理解する。	1. CT 値、部分容積効果について説明できる。 2. 歯科用コーンビーム CT と X 線 CT の画像形成原理と適応を説明できる。 3. CT で用いられる造影撮影の目的と造影剤使用禁忌を列記できる。 4. MRI の画像形成原理と適応について説明する。 5. MRI で用いられる造影撮影の目的と造影剤使用禁忌を列記できる。 6. 超音波断層法の画像形成原理と適応を説明できる。 7. PET 検査、核種について説明できる。 8. シンチグラフィ検査と核種について説明できる。
6月17日(金) 3限	山谷元気講師 (口腔外科学)	口腔粘膜疾患 総論 口内炎およびアフタ性病変、感染症（ウイルス性疾患、特異性炎） 口腔粘膜の解剖学的特徴について学習し、口内炎およびアフタ性病変に関する知識を修得する。 口腔内発症する感染症に関する知識を修得する。	1. 口腔粘膜の解剖学的構造について説明する。 2. 口内炎やアフタの成因、症状について説明できる。 3. 口内炎やアフタの治療法について説明できる。 4. 口腔粘膜に発症する感染症を列挙し、その特徴について説明できる。 5. 口腔粘膜に発症する感染症の治療法について説明できる。 [E-2-4)-(4)-①②] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p214-234、243-251を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月17日(金) 4限	山谷元気講師 (口腔外科学)	口腔潜在的悪性疾患 口腔領域に発生する口腔潜在的悪性疾患に関する知識を修得する。	1. 口腔潜在的悪性疾患（前癌病変、前癌状態）の概念を説明できる。 2. 口腔潜在的悪性疾患（前癌病変、前癌状態）の種類を列挙できる。 3. 口腔潜在的悪性疾患（前癌病変、前癌状態）の診断と治療法について説明できる。 [E-2-4)-(6)-⑤⑥] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p235-243、363-366 を参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
6月17日(金) 5限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	血液疾患 1 赤血球、白血球異常 2 出血性素因 貧血や白血病の全身的症状と口腔症状との関連について修得する。 出血性素因に関する知識を修得する。	1. 赤血球の異常を現す疾患を列挙できる。 2. 貧血の症状と治療法を説明できる。 3. 輸血、輸血製剤の種類について説明できる。 4. 白血球の異常を現す疾患を列挙できる。 5. 白血病の症状を説明できる。 6. 出血性素因を現す主要な疾患を列挙できる。 7. 止血機能のスクリーニング検査項目を列挙できる。 8. 主要な出血性素因の病因、病態、治療法を説明できる。 9. 抗血栓療法について説明し適応疾患を列挙できる。 10. 抗血栓療法薬を列挙できる。 [E-2-4)-(10)-①] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p254-271 を参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
6月20日(水) 1限	米澤悠助教 (補綴・インプラント学)	全部床義歯⑦ 咬合器への模型装着・顎路調整を理解する。	1. 上下顎模型の装着方法を説明できる。 2. 顔弓と顔弓記録の基準点を説明できる。 3. 顔弓を使用する臨床的意義を説明できる。 4. 顎路の調節方法を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑧] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
6月20日(水) 2限	米澤悠助教 (補綴・インプラント学)	全部床義歯⑧ 人工歯排列を理解する。	1. 人工歯選択基準（基本的な顔型、SPA 要素、標示線、大きさ）を説明できる。 2. 前歯部排列方法を説明できる。 3. 垂直被蓋と水平被蓋について説明できる。 4. 臼歯部人工歯排列の基本原則を説明できる。 5. 歯槽頂間線法則、ニュートラルゾーン、パウンドライン、調節彎曲を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑨⑩] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月20日(月) 3, 4限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	全身疾患を有する患者の管理 循環器疾患、呼吸器疾患、代謝系、内分泌系、泌尿器系疾患などを持つ患者の管理法を理解する。	1. 高血圧症、虚血性心疾患、心臓弁膜症、先天性心疾患、感染性心内膜炎、脳血管障害の病態、症候、診断と治療時の留意点を説明できる。 [E-1-5)-⑩、 E-6-②] 2. 気管支喘息、アスピリン喘息、喘息発作・気管支けいれん、慢性閉塞性肺疾患、肺線維症の病態、症候、診断と治療時の留意点を説明できる。 [E-1-3)、 E-1-5)-⑩、 E-6-②] 3. 代謝・内分泌系疾患患者の病態、症候、診断と治療時の留意点を説明できる。 4. 腎疾患患者の病態、症候、診断と治療時の留意点を説明できる。 [E-1-4)-(2)、E-6-②] 事前学習：全身疾患について永末書店 第6版 臨床歯科麻酔学 4年次に使用したレジュメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
6月20日(月) 5限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学分野)	局所麻酔 局所麻酔法及び局所麻酔薬・血管収縮薬を理解する。	1. 局所麻酔法の目的を説明できる。 2. 局所麻酔薬の種類と特徴を説明できる。 3. 血管収縮薬の種類、その特徴及び臨床使用上の注意を説明できる。 [E-1-4)-(3)] 事前学習：局所麻酔法・薬について永末書店第6版 臨床歯科麻酔学、4年次に使用したレジュメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
6月21日(火) 1限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	地域保健 地域保健活動の総論を学ぶことで各論的保健活動を理解できるようになる。	1. プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを概説できる。 2. 地域保健活動のすすめ方を説明できる。 3. 保健所と市町村保健センターの役割を説明できる。 [B-2-1)-⑤、B-2-2)-①、B-3-1)-③④、B-3-2)-⑥] 資料は事前に WebClass に提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
6月21日(火) 2限	大石泰子助教 (予防歯科学)	母子保健 母子保健・母子歯科保健について学ぶことで地域母子保健における歯科医師の役割が理解できる。	1. 母子保健事業を概説できる。 2. 母子歯科保健事業を列挙できる。 3. 乳幼児歯科健康診査を説明できる。 [B-3-2)①, ④, ⑥、 B-4-2)②] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月21日(火) 3限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	学校保健 学校保健・学校歯科保健について学ぶことで学校保健における歯科医師の役割が理解できる	1. 学校保健の領域を説明できる。 2. 学校保健統計調査結果を概説できる。 3. 学校歯科健康診断の方法を説明できる。 [B-3-2)-①④⑥、B-4-2)-②] 資料は事前に WebClass に提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
6月21日(火) 4限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	産業保健・成人保健 歯科保健を含めた産業衛生・保健、成人保健を学ぶことで成人の口腔保健管理を理解する。	1. 職業性疾患を列挙できる。 2. 職業性疾患の予防手段を列挙できる。 3. THP を概説できる。 4. 成人保健の概要を説明できる。 5. 特定健康診査、特定保健指導を説明できる。 [B-3-2)-①④⑥、B-4-2)-②] 資料は事前に WebClass に提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
6月21日(火) 5限	米澤悠助教 (補綴・インプラント学)	全部床義歯⑨ ろう義歯試適における診査内容を理解する。	1. ろう義歯試適時の診査項目を列挙できる。 2. 発音に関連する解剖学的・生理学的事項を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑩⑫] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
6月22日(水) 1限	佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	部分床義歯① 歯の欠損による障害、欠損様式、義歯の分類を理解する。	1. 分類の必要性和臨床的意義を説明できる。 2. 1～3次性障害について説明できる。 3. 部分床義歯製作時の診査項目を説明できる。 [E-3-4)-(2)-①②③] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
6月22日(水) 2限	佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	部分床義歯② 部分床義歯の支持・把持・維持機構を理解する。	1. 部分床義歯の支持について説明できる。 2. 部分床義歯の把持について説明できる。 3. 部分床義歯の維持について説明できる。 [E-3-4)-(2)-④] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
6月22日(水) 3限	佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	部分床義歯③ 部分床義歯の支台装置の選択と連結子の選択を理解する。	1. 支台装置の一般的所要条件を説明できる。 2. 支台装置の種類、特徴、利点・欠点を説明できる。 3. 連結子の種類、特徴、利点・欠点を説明できる。 [E-3-4)-(2)-④⑤] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月22日(水) 4限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	最新の歯内療法 最新の歯内療法について理解できる。	1. 歯内療法におけるマイクロスコープの有用性が説明できる。 2. Ni-Ti ロータリーファイルの適応症が理解できる。 [E-3-3)-(2)-⑤] 事前学習：最新の歯内療法について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
6月22日(水) 5限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	外科的歯内療法 外科的歯内療法の術式・適応症が説明できるようになる。	1. 外科的歯内療法の術式・適応症が説明できる。 2. 外科的歯内療法の器具が理解できる。 [E-3-3)-(2)-⑤] 事前学習：外科的歯内療法について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
6月23日(木) 1限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	顎関節疾患1 顎関節症 顎関節症の種類、原因、症状、診断、治療に関する知識を修得する。	1. 顎関節の構造を説明できる。 2. 顎関節の運動に関係する筋肉を説明できる。 3. 顎関節の限界運動を説明できる。 4. 顎関節の形態と機能について説明できる。 5. 顎関節疾患の種類と原因を列挙できる。 6. 顎関節疾患の症状・診断法を概説できる 7. 顎関節症の治療法を説明できる。 [E-2-4)-(7)-①②] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p388-391、405-411を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
6月23日(木) 2限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	顎関節疾患2 外傷、炎症、腫瘍 形態・機能異常 顎関節における形態と機能異常、損傷、炎症性疾患の原因、症状、診断、治療に関する知識を修得する。	1. 主要な顎関節形態異常、機能異常の種類、原因、症状、治療法を列挙できる。 2. 顎関節損傷の種類、原因、症状、治療法を列挙できる。 3. 顎関節の腫瘍、炎症性疾患の種類、原因、症状、治療法を列挙できる。 [E-2-4)-(7)-①、②] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p392-405を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
6月23日(木) 3限	深澤翔太講師 (補綴・インプラント学)	部分床義歯④ 前処置・印象採得・オルタードキャスト法を理解する。	1. 部分床義歯の前処置を説明できる。 2. 部分床義歯の精密印象採得を説明できる。 3. オルタードキャストテクニックを説明できる。 [E-3-4)-(2)-④⑤⑥] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月23日(木) 4限	深澤翔太講師 (補綴・インプラント学)	部分床義歯⑤ サベイングの目的と意義について理解する. 義歯の設計手順について理解する。	1. サベイングの目的を説明できる。 2. サベイングの手順と意味を説明できる。 3. サベイングと義歯設計の関係を説明できる。 4. 義歯の設計手順を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑤] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
6月23日(木) 5限	深澤翔太講師 (補綴・インプラント学)	部分床義歯⑥ 義歯の設計手順について理解する。	1. サベイングと義歯設計の関係を説明できる。 2. 義歯の設計手順を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑤] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
6月24日(金) 1限	小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学)	摂食嚥下リハビリテーション② 口腔機能の評価を理解する。 口腔機能低下症を理解する。	1. 摂食嚥下に関与する解剖について説明できる。 2. 摂食嚥下のメカニズムについて説明できる。 3. 疾患別による摂食嚥下障害の病態について説明できる 4. 嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査について説明できる。 [E-2-4)-(11)-②、E-5-1)-⑤～⑩] 事前学習：歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 p20～49、58～67、70～110を読み、疑問点をまとめておくこと。
6月24日(金) 2限	小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学)	摂食嚥下リハビリテーション③ 摂食嚥下機能を理解する。摂食嚥下障害を理解する。	1. 嚥下内視鏡検査について説明できる。 [E-2-4)-(11)-②、E-5-1)-⑤～⑩] 事前学習：歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 p20～49、58～67、70～110を読み、疑問点をまとめておくこと。
6月24日(金) 3限	山田浩之教授 (口腔外科学)	顎口腔の腫瘍1 歯源性腫瘍 歯源性腫瘍の種類を把握し、発生病因、臨床症状、病理組織像、診断、治療法を修得する。	1. 歯源性腫瘍を列挙し分類できる。 2. 歯源性良性腫瘍の一般的な臨床症状を説明でき、診断に必要な検査を挙げ、その概略を説明できる。 3. 歯源性良性腫瘍の一般的な治療法を説明できる。 [E-2-4)-(6)-①②] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p292-327を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月24日(金) 4限	山田浩之教授 (口腔外科学)	顎口腔の腫瘍2 非歯原性良性腫瘍 腫瘍類似疾患 非歯原性良性腫瘍、腫瘍類似疾患の種類を把握し、発生病因、臨床症状、病理組織像、診断、治療法を修得する。	1. 非歯原性良性腫瘍、腫瘍類似疾患の特徴と症状を説明できる。 2. 非歯原性良性腫瘍、腫瘍類似疾患の種類、特徴、症状、診断および治療法を説明できる。 [E-2-4)-(6)-(4)] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p292-327を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
6月24日(金) 5限	山田浩之教授 (口腔外科学)	顎口腔の腫瘍3 癌腫 顎顔面口腔領域に発生する上皮性の悪性腫瘍に関する知識を修得する。	1. 非歯原性悪性腫瘍の分類について概説できる。 2. 悪性腫瘍の特徴について概説できる。 3. 口腔癌の臨床症状を説明できる。 4. 口腔癌の各種画像所見を説明できる。 5. 口腔癌の病理組織像について説明できる。 6. 口腔癌の治療、予後について説明できる。 7. TNM分類について説明できる。 [E-2-4)-(6)-(3)] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p341-365を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
6月25日(土) 1限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	歯科治療時の偶発症 局所麻酔薬投与時の偶発症とそのメカニズムを理解する。	1. 局所麻酔法の局所的偶発症を説明できる。 2. 局所麻酔薬及び歯科治療時の全身的偶発症を説明できる。(血管迷走神経反射、過換気症候群、アナフィラキシーショック、局所麻酔薬中毒、血管収縮薬に対する反応、メトヘモグロビン血症) 3. ショックを説明できる。 [E-1-6)-(1)] 4. 局所麻酔時の内科的疾患の増悪を説明できる。(狭心症発作、脳血管障害、低血糖性昏睡、不整脈、仰臥位低血圧症候群) [E-1-6)-(1)] 事前学習：局所麻酔投与時の全身的偶発症について永末書店 第6版 臨床歯科麻酔学、4年次に使用したレジュメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
6月25日(土) 2限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	ペインクリニック 疼痛性及び麻痺性疾患を理解する。	1. 顎顔面口腔領域の疼痛及び麻痺性疾患を説明できる。 2. 三叉神経痛の概念、症状及び治療法を説明できる。 3. 顔面神経麻痺の概念、症状及び治療法を説明できる。 4. 星状神経節ブロックの適応、方法及び合併症を説明できる。 [E-2-4)-(3)] 事前学習：顔面領域の疼痛性及び麻痺性疾患について永末書店 第6版 臨床歯科麻酔学、4年次に使用したレジュメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月27日(月) 1限	川井忠講師 (口腔外科学)	顎口腔の炎症 1 総論 蜂窩織炎 炎症の概念を理解し、 歯性感染症に関する知 識を修得する。 顎骨周囲組織の炎症お よび治療に必要な知識 を修得する。	1. 炎症の概念・種類を説明できる。 2. 炎症の症状、診断法、治療法を説明できる。 3. 歯性感染症の概念を説明できる。 4. 歯性感染症の概念と感染経路を説明でき る。 5. 急性炎症と慢性炎症の差異を説明できる。 6. 顎骨周囲・頸部の組織隙の位置を説明でき る。 7. 軟組織炎症の症状を説明できる。 8. 蜂窩織炎と膿瘍の違いを説明できる。 [E-2-4)-(3)-①～⑥] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p174-198 を 参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebCl ass にアップロードしておく。
6月27日(月) 2限	川井忠講師 (口腔外科学)	顎口腔の炎症 2 歯周組織の炎症、顎骨 骨髓炎、薬剤関連顎骨 壊死、歯性上顎洞炎に 関する知識を修得す る。	1. 歯周組織の病態、症状、治療法を説明でき る。 2. 歯冠周囲炎(智歯周囲炎を含む)の発症原 因、症状、診断、治療について説明できる。 3. 歯槽骨炎と顎骨炎の病態、症状、診断、治 療について説明できる。 4. 顎骨骨髓炎の分類について説明できる。 5. 急性顎骨骨髓炎の症状、経過、治療法につ いて説明できる。 6. 薬剤関連顎骨壊死の症状、経過、治療法に ついて説明できる。 7. 歯性上顎洞炎の成因、検査法、治療法を説 明する。 [E-2-4)-(3)-①～⑥] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p174-206 を 参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebCl ass にアップロードしておく。
6月27日(月) 3限	佐々木大輔 准教授 (歯周療法学)	歯周病学出題項目網羅 歯周外科治療の概要を 理解する。	1. 歯周外科治療の目的を説明できる。 2. 歯周外科治療の適応症を説明できる。 3. 歯周外科治療の禁忌を説明できる。 4. フラップ手術を説明できる。 E-3-2)-③④⑤、E-3-3)-(3)-①～⑤ 事前学習：歯周について3年次に使用したレ ジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこ と。
6月27日(月) 4, 5限	佐々木大輔 准教授 (歯周療法学)	歯周病学出題項目網羅 歯周外科治療のポケッ ト除去療法を理解す る。	1. 歯周ポケットの種類から術式を説明でき る。 2. 歯周ポケットの除去方法で術式を選択でき る 3. 歯周ポケット除去を目的とした各術式を説 明できる。 E-3-2)-③④⑤、E-3-3)-(3)-①～⑤ 事前学習：歯周について3年次に使用したレ ジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこ と。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月28日(火) 1限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	基礎力養成 歯の変色と漂白 歯の変色と漂白について理解する。	1. 歯の変色の原因を説明できる。 2. 歯の漂白法を説明できる。 3. 歯の漂白の適応症と禁忌症を説明できる。 [E-3-3)-(2)-⑥] 事前学習：歯の変色と漂白について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
6月28日(火) 2限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	歯髄保存療法 歯髄温存療法について理解する。	1. 歯髄温存療法の適応について説明できる。 2. 歯髄温存療法の術式について説明できる。 3. 歯髄温存療法に用いる材料について説明できる。 4. 歯髄温存療法のリエントリーについて説明できる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：歯髄保存療法について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
6月28日(火) 3限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	高齢者保健・介護保険 高齢者の保健・歯科保健と介護保険制度を学ぶことで超高齢社会の保健医療について理解する。	1. 地域支援事業を概説できる。 2. 介護保険制度を概説できる。 [A-7-1)-③④、B-2-2)①④⑧、B-3-2)-①④⑥] 資料は事前に WebClass に提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
6月28日(火) 4限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	齲蝕の予防 齲蝕の原因と予防法を学ぶことで個別または集団への齲蝕予防のための介入ができるようになる。	1. 齲蝕の発生要因を列举できる。 2. 齲蝕の要因別リスク評価法を列举できる。 3. 齲蝕の予防手段を概説できる(含む予防の3相5段)。 [B-3-1)-①～③、B-3-2)-①～⑤、E-3-2)-④] 資料は事前に WebClass に提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
6月28日(火) 5限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	スポーツ歯科の臨床 スポーツなどによる外傷や予防法について理解する。	1. スポーツなどによる外傷や予防法について説明することが出来る。 [E-4-2)-⑦] 事前学習：4年次ADに使用したレジメ、講義ノートおよび教科書に目を通して講義に臨むこと。
6月29日(水) 1,2限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	実力養成臨床実地(歯内) 症例例から必要な診査、診断、処置方針を立案できる。 (臨床実地問題の解き方)	1. 症例写真、エックス線写真から必要な検査を説明できる。 2. 正しい診断を下すことができる。 3. 適切な処置方針を説明できる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：保存におけるエックス線読影について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月29日(水) 3限	齋藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	クラウンの装着 クラウンの合着・接着に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してクラウンの装着に関連する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)]
6月29日(水) 4限	齋藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	前装金属冠の種類と特徴 前装冠の種類と製作過程に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通して前装金属冠に関連する知識を深め問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)]
6月29日(水) 5限	藤原尚樹教授 (機能形態学)	頭頸部の神経学のまとめ 頭頸部の筋肉や粘膜に分布する神経系について理解する。	1. 鯉弓神経について説明できる。 2. 頭頸部に分布する神経の走行経路について説明できる。 3. 頭頸部に分布する脳神経に支配される器官について説明できる。 4. 交感神経、副交感神経を含む神経の走行を説明できる。 [E-2-1]-⑤ 配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。 事前学習：第114回歯科医師国家試験問題と第109～113回歯科医師国家試験の該当領域についてまとめノートを作成しておくこと。講義でその問題及び関連事項についてフィードバックする。
6月30日(木) 1限	鬼原英道教授 (補綴・インプラント学)	口腔インプラントの臨床 口腔インプラント治療の骨移植および1次手術を理解する。	1. 口腔インプラントの一次手術およびコンピューター支援手術について説明することができる。 [E-3-4)-(3)-⑤] 事前学習：4・5年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。また、教科書の該当項目にも目を通すこと。
6月30日(木) 2限	鬼原英道教授 (補綴・インプラント学)	口腔インプラントの臨床 口腔インプラントの外科術式および2次手術を理解する。	1. 口腔インプラントの一次手術およびコンピューター支援手術について説明することができる。 [E-3-4)-(3)-⑤] 事前学習：4・5年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。また、教科書の該当項目にも目を通すこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月30日(木) 3限	川井忠講師 (口腔外科学)	顎口腔の炎症 3 特異性炎 歯性全身感染症 顎・口腔顔面領域における特異性炎および歯性感染症が全身に及ぼす影響に関する知識を修得する。	1. 特異性炎の概念を説明できる。 2. 顎・口腔顔面領域にみられる特異性炎の種類を列挙できる。 3. 主要な特異性炎の原因菌を列挙できる。 4. 主要な特異性炎の症状、検査法、治療法を説明できる。 5. 歯性病変と全身感染症との関連について説明できる。 6. 菌血症と敗血症の病態を説明できる。 7. 歯性病巣感染の病態を説明できる。 [E-2-4)-(3)-①～⑥] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p206-213を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
6月30日(木) 4限	小川淳准教授 (口腔外科学)	神経疾患 様々な神経痛ならび神経麻痺の病態と治療法について修得する。	1. 顎顔面口腔領域の疼痛の種類を列挙できる。 2. 三叉神経痛の概念、症状および治療法について説明できる。 3. 舌咽神経痛の概念、症状および治療法について説明できる。 4. 神経麻痺の特徴、症状および治療法を説明できる。 [E-2-4)-(9)-①～④] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p412-441を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
6月30日(木) 5限	古城慎太郎講師 (口腔外科学)	手術 1 抜歯、難抜歯、歯根端切除術、歯槽堤手術、歯の再植・移植、偶発症 抜歯を適切に実施するために必要な知識を修得する。	1. 抜歯の適応症と禁忌症を説明できる。 2. 抜歯の偶発症と合併症およびその対処法を説明できる。 3. 抜歯に必要な器具の用法と手技を説明できる。 4. 抜歯の正常治癒経過および異常な治癒経過とその対処法を説明できる。 5. 埋伏歯の抜歯法を説明できる。 6. 小手術時の偶発症について説明できる。 7. 歯根端切除術の適応症と禁忌症を説明できる。 8. 歯槽堤整形術の適応症と手技を説明できる。 9. 歯の移植・再植の適応症と手技を説明できる。 10. 小帯に対する手術の適応症と手技を説明できる。 [E-1-5)-①～⑩] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p484-506, 653-694を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月1日(金) 1限	佐藤泰生講師 (病態解析学)	口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念1 代表的な口腔・顎顔面領域の疾患の基本的事項を体系的に理解する。	1. 復習試験、到達度評価試験、模擬試験の結果から明らかになった弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 2. 象牙質・歯髄複合体の病変について説明できる。 3. 辺縁性歯周組織の病変について説明できる。 [E-3-2] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：新口腔病理学 p48-96 を読み、疑問点を抽出しておくこと。
7月1日(金) 2限	衣斐美歩講師 (病態解析学)	口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念2 代表的な口腔・顎顔面領域の疾患の基本的事項を体系的に理解する。	1. 復習試験、到達度評価試験、模擬試験の結果から明らかになった弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 2. 炎症性歯原性嚢胞について説明できる。 3. 発育性歯原性嚢胞について説明できる。 4. 顎骨内に発生する非歯原性嚢胞について説明できる。 5. 軟組織に発生する非歯原性嚢胞について説明できる。 [E-2-4] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：新口腔病理学 p182-194 を読み、疑問点を抽出しておくこと。
7月1日(金) 3, 4限	桑島幸紀講師 (歯科矯正学)	弱点強化 1,2 第1回到達度試験においてみてきた矯正領域の弱点を認識し、対策を立てることができる。	1. 自分自身の弱点を認識し、自分なりの勉強方法を構築することができる。 [E-4-1)-(①~⑦] 事前学習：出題された内容に関して医歯薬出版歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
7月6日(水) 1限	四戸 豊講師 (歯科麻酔学)	精神鎮静法、高齢者の歯科治療 精神鎮静法と高齢者の特徴を理解する。	1. 精神鎮静法の内容、目的、適応、禁忌、種類、実施法を説明できる。 2. 笑気吸入鎮静法を説明できる。 3. 静脈内鎮静法及びその使用薬剤を説明できる。 4. 全身の加齢による変化を説明できる。 5. 歯科治療時の全身的問題点を説明できる。 [E-1-4)-(2)] 事前学習：精神鎮静法および高齢者の特徴について永末書店 第6版 臨床歯科麻酔学 4年次に使用したレジュメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月6日(水) 2限	四戸 豊講師 (歯科麻酔学)	救急蘇生法 救急蘇生法(BLS)を理解する。	1. バイタルサインを説明できる。 2. 成人の1次救命処置を説明できる。 3. 自動体外式除細動器を説明できる。 4. 小児の1次救命処置を説明できる。 5. 異物による気道閉塞とその解除法を説明できる。 [E-1-4)-(1)-①～④、E-1-6)-②、③] 事前学習: 救急蘇生法について永末書店 第6版 臨床歯科麻酔学、4年次に使用したレジюме、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月6日(水) 3限	入江太郎教授 (病態解析学)	口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 3 全国模試(麻布基礎 5月27日実施)の解説と重要な各種疾患の病態を理解する。	1. 復習試験、到達度評価試験、模擬試験の結果から明らかになった弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 2. 病理学の意義を説明できる。 3. 病理学と臨床医学の関係を説明できる。 4. 内因について説明できる。 5. 外因について説明できる。 6. 病理検査法について説明できる。 7. 細胞診について説明できる。 8. 特殊検査法について説明できる。 9. 内分泌障害について説明できる。 [C-5-1)-①②] 事前学習: 要説病理学総論 p8-17 あるいはスタンダード病理学 p1-13, p64-73 を読み、疑問点を抽出しておくこと。
7月6日(水) 4限	佐藤泰生講師 (病態解析学)	口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 4 代表的な口腔・顎顔面領域の疾患の基本的事項を体系的に理解する。	1. 復習試験、模擬試験の結果から明らかになった弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 2. 内分泌障害について説明できる。 3. 染色体・遺伝子および発生の異常について説明できる。 4. 代謝障害について説明できる。 [C-5-1)、C-5-3)] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習: スタンダード病理学 p64-71、p190-213、p216-241 を読み、疑問点を抽出しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月6日(水) 5限	入江太朗教授 (病態解析学)	口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 5 代表的な口腔・顎顔面領域の疾患の基本的事項を体系的に理解する(到達度試験①・②、復習試験からみえた弱点補強)。	1. 到達度評価試験①・②、復習試験、模擬試験の結果 から明らかになった弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 2. 前癌病変について説明できる。 3. 異形成について説明できる。 4. 上皮内癌について説明できる。 5. 口腔癌について説明できる。 [E-2-4)-(6)-③⑤] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：新口腔病理学 p259-281 を読み、疑問点を抽出しておくこと。
7月7日(木) 1限	原田英光教授 (発生物学・再生医学)	歯の発生とエナメル質・象牙質・歯髄複合体について エナメル質形成・象牙質・歯髄複合体に関わる細胞やエナメル質・象牙質・歯髄の構造について説明でき、さらに発生学的視点から理解できるようになる。	1. エナメル器を構成する細胞の由来について説明できる。 2. エナメル芽細胞の分化と形態変化について説明できる。 3. エナメル質の組織学的特徴について説明できる。 4. エナメル質に見られる成長線について説明できる。 5. エナメル基質中に見られる構造について説明できる。 6. 象牙質・歯髄複合体を構成する細胞の由来について説明できる。 7. 象牙芽細胞の分化と形態変化について説明できる。 8. 象牙質の種類と組織学的特徴について説明できる。 9. 象牙質に見られる成長線について説明できる。 10. 象牙細管、基質の石灰化の状態によって見られる構造について説明できる。 11. 歯髄の組織学的特徴や構成細胞を説明できる。 12. 歯髄の脈管・神経系について説明できる。 13. 象牙質・歯髄複合体の生理的加齢変化について説明できる。 [E-3-1)-①、E-3-1)-④⑤] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月7日(木) 2限	原田英光教授 (発生生物・再生 医学)	歯の発生と歯周組織 歯周組織(歯肉・セメント質・歯根膜・歯槽骨)を構成する細胞や構造について説明でき、さらに発生学的視点から理解できるようになる。	1. 歯周組織やその構成細胞の由来について説明できる。 2. 歯肉の組織学的特徴について説明できる。 3. 付着上皮の特異性と臨床的意義について説明できる。 4. セメント質の特徴と形成機序について説明できる。 5. 歯根膜の組織学的特徴と構成細胞について説明できる。 6. 歯槽骨の組織学的特徴について説明できる。 7. 歯槽硬線を組織学的特徴から説明できる。 8. 歯槽骨・歯根膜のリモデリングについて説明できる。 9. 歯周組織の脈管・神経・機械的受容器について説明できる。 [E-3-1)-⑥] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。
7月7日(木) 3, 4限	佐々木大輔 准教授 (歯周療法学)	歯周病学出題項目網羅 歯周組織再生療法を理解する。	1. 歯周組織再生を説明できる。 2. 歯周組織再生のための三大因子を説明できる。 3. 骨移植術を説明できる。 4. GTR 法を説明できる。 5. エナメルマトリックスタンパク質の適応を説明できる。 6. FGF-2 製剤の適応を説明できる。 E-3-2)-③④⑤、E-3-3)-(3)-①～⑤ 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月7日(木) 5限	佐々木大輔 准教授 (歯周療法学)	歯周病学出題項目網羅 特殊な歯周疾患を理解する。	1. 歯科医師国家試験に頻出する特殊な歯周疾患を説明できる。 E-3-2)-③⑤、E-3-3)-(3)-①③ 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月8日(金) 1限	織田展輔 非常勤講師	部分床義歯⑦ 部分床義歯の咬合採得・人工歯排列・蟻歯歯試適を理解する。	1. 症例に応じた部分床義歯の咬合採得の特徴について説明できる。 2. 部分床義歯の人工歯排列について説明できる。 3. 部分床義歯のろう義歯試適について説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑥～⑨] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月8日(金) 2限	織田展輔 非常勤講師	部分床義歯⑧ 金属床義歯の製作過程を理解する。	1. フレームワークの製作過程について説明できる。 2. 金属床義歯の特徴について説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑪⑫] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月8日(金) 3限	織田展輔 非常勤講師	全部・部分床義歯① 重合義歯の咬合器再装着と咬合調整について説明できる。	1. 様々な咬合器再装着法について説明できる。 2. 咬合様式について説明できる。 3. 咬合調整について説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑪~⑬] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月8日(金) 4限	織田展輔 非常勤講師	全部・部分床義歯② 床義歯装着・装着後の短期的な変化と対応を理解する。	1. 義歯装着の基本的術式について説明できる。 2. 義歯装着後、短期的に生じる生体と材料の変化について説明できる。 3. 義歯装着後の短期予後の対応を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑬] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月8日(金) 5限	織田展輔 非常勤講師	全部・部分床義歯③ 床義歯装着後の長期的変化と対応を理解する。	1. 義歯装着後、長期経過後に生じる生体と材料の変化について説明できる。 2. 義歯装着後の長期予後の対応を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑬⑭] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月11日(月) 1限	武本真治教授 (医療工学)	成形修復材-コンポジットレジンを中心に レジンに無機質フィラーが配合された複合レジンならびにそれ以外の成形修復材料の構成と特性を学ぶ。	1. 複合レジンの構成、成分を説明できる。 2. 成分モノマーの特徴を説明できる。 3. 補強材としてのフィラーの種類、特徴を説明できる。 4. 成形修復用ガラスイオノマーセメントの構成、成分を説明できる。 4. アマルガム取扱い時の注意事項を説明できる。 [D-1-①、D-2-①] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：2・3年次に使用した教科書(スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。講義中随時知識確認のための質問とフィードバックを行う。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月11日(月) 2限	武本真治教授 (医療工学)	合着・接着用材料 歯科用合着・接着用材料の種類、成分、硬化機構および性質について学ぶ。	1. 歯科用合着材の種類、成分、特徴を説明できる。 2. 歯科用接着材の種類、成分、特徴を説明できる。 [D-2-(7)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。講義中随時知識確認のための質問とフィードバックを行う。
7月11日(月) 3, 4, 5限	泉澤充准教授 (歯科放射線学)	画像診断 1 歯源性腫瘍と非歯源性腫瘍、歯源性嚢胞、非歯源性嚢胞の画像診断を修得する。	1. 以下の疾患の臨床症状と各種画像所見について説明できる。 口腔領域の歯源性腫瘍、非歯源性腫瘍、歯源性嚢胞、非歯源性嚢胞 [E-2-4)-(5)-(1)(2)、E-2-4)-(6)-(1)(2)]
7月12日(火) 1, 2限	泉澤充准教授 (歯科放射線学)	画像診断 2 上顎洞疾患、口腔領域の悪性腫瘍の画像診断を修得する。 口腔領域の炎症と骨折、唾液腺疾患の画像診断を修得する。	1. 以下の疾患の臨床症状と各種画像所見について説明できる。 上顎洞疾患、悪性腫瘍、炎症性疾患、骨折、唾液腺疾患 [E-2-4)-(2)-(1)(3)(4)、E-2-4)-(3)-(1)~(4)(7)、E-2-4)-(6)-(3)(4)、E-2-4)-(8)-(2)~(7)]
7月12日(火) 3限	大石泰子助教 (予防歯科学)	フッ化物による齲蝕予防 フッ化物による齲蝕予防法の効果とリスクを学ぶことで地域歯科保健活動においてフッ化物を応用できる。	1. フッ化物の齲蝕予防法を列挙できる。 2. フッ化物の齲蝕予防機序を説明できる。 3. フッ化物の中毒を説明できる(含むフッ化物濃度の計算)。 [B-3-2)-(2)] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
7月12日(火) 4限	大石泰子助教 (予防歯科学)	口腔清掃法 口腔清掃法とそれに関する器具、歯磨剤等を学ぶことで効果的な歯科保健指導ができるようになる。	1. 口腔清掃法を列挙できる。 2. 歯磨剤の基本成分と薬用成分を列挙できる。 [E-1-1)-(1)(2)、E-3-2)-(3)(4)、F-3-2)-(3)] 資料は事前に WebClass に提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
7月12日(火) 5限	古城慎太郎講師 (口腔外科学)	手術 2 手術の基本手技 切開、縫合、止血、骨切削などに用いる器具について修得する。	1. 縫合の種類を列挙し、説明できる。 2. 止血法の種類を列挙し、説明できる。 3. メスの種類と特徴を列挙できる。 4. 縫合に必要な器材を列挙できる。 5. 止血に用いる器材を列挙できる。 6. 骨切削に用いる器具を列挙できる。 7. 滅菌・消毒法について説明できる。 [E-1-5)-(1)~(10)] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p493-506を参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月13日(水) 1限	橋口大輔助教 (小児歯科学)	乳歯齲蝕 小児齲蝕の特徴を多角的に理解する。	1. 乳歯齲蝕の特徴を列挙できる。 2. 乳歯齲蝕の疫学を説明できる。 3. 乳歯重症齲蝕の為害作用を説明できる。 4. 乳歯齲蝕の発生過程を多面的に説明できる。 [B-3-2)-①、E-4-2)-①] 事前学習：乳歯齲蝕について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
7月13日(水) 2限	橋口大輔助教 (小児歯科学)	歯髄処置 小児の歯内療法を臨床に則して多角的に理解する。	1. 歯髄炎の診断法を説明できる。 2. 生活歯髄切断法を説明できる。 3. 暫間の間接覆髄法を説明できる。 4. 根未完成歯の歯内療法を説明できる。 [E-3-3)-(2)-①②] 事前学習：小児の歯髄処置について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
7月13日(水) 3限	田邊憲昌准教授 (補綴・インプラント学)	下顎位・下顎運動 下顎運動に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通して下顎運動に関連する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)]
7月13日(水) 4,5限	熊谷美保准教授 (障害者歯科学)	障害者歯科での行動調整、主な障害 障害者歯科学で用いられる行動調整と主な障害を理解する。	1. 障害者歯科学で取り扱う行動調整と主な障害について説明できる。 [B-2-2)-①、E-5-2)-①～④)] 事前学習：教科書 p208～244、p40～105 を読み、まとめておく。
7月14日(木) 1限	小笠原正人教授 (病態制御学)	抗腫瘍薬・抗菌薬・消毒薬 抗腫瘍薬・抗菌薬・消毒薬の概要を理解する。	1. 抗腫瘍薬の作用機序、副作用を説明できる。 2. 分子標的治療薬を説明できる。 3. 抗菌薬の作用機序、種類、副作用を説明できる。 4. 消毒薬の概要を説明できる。 [C-4-1)-③～⑤、C-6-2)-①②⑤、C-6-4)-①②] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する必修問題について学習しておくこと。
7月14日(木) 2限	小笠原正人教授 (病態制御学)	抗ウイルス薬・抗真菌薬、止血薬・抗凝固薬、ビタミン・解毒薬 抗ウイルス薬・抗真菌薬の概要を理解する。 止血薬・抗凝固薬について理解する。 重要なビタミン、解毒薬について理解する。	1. 抗ウイルス薬の概要について説明できる。 2. 抗真菌薬の概要について説明できる。 3. 抗凝固薬・止血薬について説明できる。 4. ビタミンの概要について説明できる。 [C-3-4)-(4)-⑦、C-4-1)-③⑤、C-6-2)-②⑤、C-6-4)-①] 事前学習：DESS 演習を行い、講義に臨むこと。 過去5年間の国家試験の薬理学に関連する問題について学習しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月14日(木) 3限	鬼原英道教授 (補綴・インプラント学)	全部・部分床義歯④ 様々な種類の義歯について理解する。	1. オーバーデンチャーについて説明できる。 [E-3-4)-(2)-②③] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月14日(木) 4限	鬼原英道教授 (補綴・インプラント学)	全部・部分床義歯⑤ 様々な種類の義歯について理解する。	1. アタッチメントについて説明できる。 [E-3-4)-(2)-②③] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月14日(木) 5限	鬼原英道教授 (補綴・インプラント学)	全部・部分床義歯 総合試験対策講義	1. 過去の歯科補綴学領域の国家試験問題を通して傾向を説明できる。 2. 自分にあった勉強法を見つけることができる。 [E-3-4)-(1)、E-3-4)-(2)-①~⑭] 事前学習：講義内容について教科書に目を通して講義に臨むこと。
7月15日(金) 1,2限	田中良一教授 (歯科放射線学)	放射線の基礎Ⅱ 1. 被写体コントラストと写真コントラスト 2. フィルムと増感紙 3. 写真現像処理	1. [E-1-2)-⑤、⑨] 被写体コントラスト、写真コントラストを定義し説明できる。 2. 被写体コントラスト、写真コントラストに影響する因子を説明できる。 3. 黒化度を定義し、特性曲線を作成する。 4. スクリーン、ノンスクリーンフィルムの違いを説明できる。 5. フィルムの感光原理を説明できる。 6. 現像処理（現像、定着）を説明できる。 [E-1-2)-④]
7月15日(金) 3限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	心身の発達 小児の心身の発達について多角的に理解する。	1. 小児の身体の成長を説明できる。 2. 小児の精神の発達を説明できる。 [C-3-2)-④] 事前学習：小児の心身の発達について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
7月15日(金) 4限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	静的咬合誘導 静的咬合誘導を多角的に理解する。	1. 歯の早期喪失の影響を説明できる。 2. 保隙のための分析法について説明できる。 3. 保隙装置の種類と適応症を説明できる。 [E-4-2)-⑧⑨] 事前学習：静的咬合誘導について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月15日(金) 5限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	口腔粘膜疾患 小児の口腔粘膜疾患について多角的に理解する。	1. 小児の口唇の疾患を列挙できる。 2. 小児の舌の疾患を列挙できる。 3. 小児の歯肉の疾患を列挙できる。 [E-2-4)-(1)-④] 事前学習：小児の口腔粘膜疾患について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
7月19日(火) 1限	大津圭史准教授 (発生物・再生医学)	唾液腺 大唾液腺の構造と組織学的特徴について説明できるようになる。	1. 耳下腺・顎下腺・舌下腺の位置、排出導管の開口部の位置について説明できる。 2. 大唾液腺の終末部の組織学的特徴について説明できる。 3. 大唾液腺の導管の構造と機能について説明できる。 4. 唾液の組成や唾液成分の機能について説明できる。 [E-2-2)-⑤～⑥] ICT 端末を持参すること。事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。
7月19日(火) 2限	大津圭史准教授 (発生物・再生医学)	歯肉・口腔粘膜(重層扁平上皮の特徴)・顎関節 歯肉やその他の口腔粘膜、顎関節について組織学的特徴を説明できるようになる。	1. 口腔粘膜上皮と角化の有無について説明できる。 2. 歯肉・歯槽粘膜の組織学的特徴について説明できる。 3. 歯-歯肉境の組織学的特徴について説明できる。 4. 頬粘膜・口蓋の組織学的特徴について説明できる。 5. 口唇の組織学的特徴について説明できる。 6. 舌・扁桃の組織学的特徴について説明できる。 7. 顎関節の組織学的特徴について説明できる。 8. 関節円板や関節包内層(滑膜)の特徴について説明できる。 [E-2-1)-⑥⑫、E-2-2)-①～⑥⑩、C-3-4)-(1)-①～③] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月19日(火) 3限	入江太朗教授 (病態解析学)	口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 6 代表的な口腔・顎顔面領域の疾患の基本的事項を体系的に理解する（第1回総合講義試験にむけた知識の再整理）。	1. 到達度評価試験①・②、復習試験、模擬試験の結果 から明らかになった弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 2. 循環障害について説明できる。 [C-5-4] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：スタンダード病理学p74-109を読み、疑問点を抽出しておくこと。
7月19日(火) 4限	佐藤泰生講師 (病態解析学)	顎・口腔領域の疾患 1 到達度評価試験・復習試験・模擬試験で判明した口腔病理学の得点率の低い弱点領域を認識するとともに、国家試験過去問の選択肢として使用された各種疾患の病態を正しく理解する。	1. 到達度評価試験①・②、復習試験、模擬試験の結果 から明らかになった弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 2. 顎・顎関節の非腫瘍性病変について説明できる。 3. 免疫応答に関連した口腔病変について説明できる。 4. 加齢に伴う口腔病変について説明できる。 [E-2-4] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：新口腔病理学 p229-255、p283-311を読み、疑問点を抽出しておくこと。
7月19日(火) 5限	入江太朗教授 (病態解析学)	顎・口腔領域の疾患 2 到達度評価試験・復習試験・模擬試験で判明した口腔病理学の得点率の低い弱点領域を認識するとともに、国家試験過去問の選択肢として使用された各種疾患の病態を正しく理解する。	1. 到達度評価試験①・②、復習試験、模擬試験の結果 から明らかになった弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 2. 唾液腺の発育異常について説明できる。 3. 唾液腺の嚢胞について説明できる。 4. 唾液腺の炎症性疾患について説明できる。 5. 唾液腺の自己免疫疾患について説明できる。 6. 唾液腺腫瘍について説明できる。 [E-3-2] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：新口腔病理学 p259-281を読み、疑問点を抽出しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月20日(水) 1限	藤原尚樹教授 (機能形態学)	口腔内臓学のまとめ 口腔～喉頭領域の構造、粘膜を裏打ちする筋の走行と機能を説明できるようになる。	1. 口唇・口腔領域の区分を説明できる。 2. 口腔前庭、固有口腔に区分した臓器の特徴を説明できる。 3. 口蓋帆、咽頭、喉頭周囲の筋について走行と機能との関連性を説明できる。 [E-2-2]-①～③] 配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。 事前学習：過去5年分の歯科医師国家試験の該当領域ならびに周辺領域の問題についてまとめノートを作製しておくこと。講義でその問題及び関連事項についてフィードバックする。
7月20日(水) 2限	藤原尚樹教授 (機能形態学)	筋隙とリンパの流れ (炎症の波及経路) 頭頸部の筋肉の走行、筋肉の起始・停止の位置から筋隙を把握し、その隙を通過する血管・神経と存在するものを理解する。	1. 筋隙を構成する筋の走行と脈管・神経の走行から、各筋隙の臨床における重要性炎症の波及経路を説明できる。 2. 口腔領域の部位と所属リンパ節、リンパの流れとの関係を説明できる。 [E-2-1]-③、④] 配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。 事前学習：過去5年分の歯科医師国家試験の該当領域ならびに周辺領域の問題についてまとめノートを作製しておくこと。講義でその問題及び関連事項についてフィードバックする。
7月20日(水) 3限	滝沢尚希助教 (歯周療法学)	歯周病学出題項目網羅 歯周病のリスクファクターを理解する。	1. 歯周病のリスクファクターを説明できる。 E-3-2)-③④、E-3-3)-(3)-①②] 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月21日(木) 1限	武本真治教授 (医療工学)	義歯用材料 義歯床用材料、特にアクリルレジンについて学ぶ。	1. アクリルレジンの粉液成分と役割を説明できる。 2. 歯科臨床におけるアクリルレジンの重合方法の違いを説明できる。 3. アクリルレジンの加熱重合と常温重合の共通点と相違点を説明できる。 4. 加熱重合レジンと常温重合レジンの物性比較ができる。 5. 熱可塑性レジンの成分と特徴を説明できる。 [D-1-①②③、D-2-②⑥] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。講義中随時知識確認のための質問とフィードバックを行う。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月21日(木) 2限	武本真治教授 (医療工学)	レジンの成形技術・機器 アクリルレジンの重合 ならびに熱可塑性レジ ンの成形法について学 ぶ。	1. ラジカル付加重合反応の概要を説明できる。 2. 歯科臨床におけるアクリルレジンの重合方 法の違いを説明できる。 3. 熱可塑性レジンの成形法を説明できる。 [D-1-①②③、D-2-②⑥] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタ ンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レ ジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこ と。講義中随時知識確認のための質問とフィ ードバックを行う。
7月21日(木) 3限	間山寿代准教授 (歯科矯正学)	弱点強化3 第2回到達度試験にお いてみえてきた矯正領 域の弱点を認識し、対 策を立てることができる。	1. 自分自身の弱点を認識し、自分なりの勉強 方法を構築することができる。 [E-4-1)-(1)-①～⑦] 事前学習：出題された内容に関して医歯薬出 版 歯科矯正学、講義ノートに目を通すこと。
7月21日(木) 4限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	矯正装置の製作方法 矯正装置の製作方法に 関する知識を強化でき る。	1. 矯正装置の製作方法について理解を深め、 同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-4-1)-④⑤] 事前学習：医歯薬出版歯科矯正学、4年次に配 布したレジュメ、講義ノートに目を通して臨 むこと。
7月21日(木) 5限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	矯正材料と器具 矯正材料と器具に関す る知識を強化できる。	1. 矯正材料と器具について理解を深め、同領 域の問題を解くことができるようになる。 [E-4-1)-④] 事前学習：医歯薬出版歯科矯正学、4年次に配 布したレジュメ、講義ノートに目を通して臨 むこと。
7月22日(金) 1,2限	泉澤允准教授 (歯科放射線学)	画像診断3 顎関節疾患、系統疾患 の画像診断を修得す る。	1. 以下の疾患の臨床症状と各種画像所見につ いて説明できる。 顎関節疾患、系統疾患 [E-2-4)-(7)-①②、E-2-4)-(10)-⑤～⑨]
7月22日(金) 3限	山田浩之教授 (口腔外科学)	顎口腔の腫瘍4 唾液腺腫瘍の治療 唾液腺腫瘍の症状、診 断および治療法を修得 する。	1. 唾液腺腫瘍の種類と特徴を説明できる。 2. 唾液腺腫瘍の症状、検査および治療法を説明 できる。 3. 唾液腺の腫瘍性病変(良性腫瘍と悪性腫瘍) の病理組織所見を説ける。 [E-2-4)-(8)-①～⑦] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p378-381 を参 照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月22日(金) 4限	山田浩之教授 (口腔外科学)	顎口腔の腫瘍5 肉腫、悪性リンパ腫、 悪性黒色腫 顎顔面口腔領域に発生 する非上皮性の悪性腫 瘍に関する知識を修得 する。	1. 口腔顎顔面領域に発症する主な悪性腫瘍を 列挙できる。 2. 主な肉腫の種類を列挙できる。 3. 主な肉腫の特徴、臨床症状、治療および予 後について説明できる。 4. 悪性リンパ腫の特徴、臨床症状、治療およ び予後について説明できる。 5. 悪性黒色腫の特徴、臨床症状、治療および 予後について説明できる。 [E-2-4)-(10)-④] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p341-361を 参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
7月22日(金) 5限	大橋祐生講師 (口腔外科学)	顎口腔の腫瘍6 化学療法、放射線療法、 その他の治療、緩和医 療 顎顔面口腔領域に発生 する悪性腫瘍に対する 化学療法や免疫療法の 種類、適応について修 得する。	1. 悪性腫瘍の化学療法について概説する。 2. 口腔悪性腫瘍に使用する化学療法薬を列挙 できる。 3. 化学療法薬の投与法を説明できる。 4. 化学療法薬の副作用を説明できる。 5. 放射線治療における副作用について説明で きる。 6. 治療患者の口腔内管理、疼痛管理について 説明できる。 緩和医療について説明できる。 [A-5-1)-⑦、E-2-4)-(6)-③] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p341-361を 参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
7月23日(土) 1限	黒瀬雅之教授 (病態生理学)	嚥下・嘔吐 嚥下および嘔吐につい て理解する。	1. 嚥下の神経機構を説明できる。 2. 嚥下時に生じる運動を説明できる。 3. 嘔吐の神経機構を説明できる。 4. 嘔吐時に生じる反応を説明できる。 [E-2-1)-⑨～⑪、E-2-2)-③、E-2-2)-⑧] 事前学習：嚥下・嘔吐について、2年次の生理 学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して 講義に臨むこと。
7月23日(土) 2限	黒瀬雅之教授 (病態生理学)	唾液・消化 唾液分泌および消化機 能について理解する。	1. 唾液の分泌機構と分泌調節を説明できる。 2. 唾液成分の働きを説明できる。 3. 消化管における消化・吸収の概要を説明で きる。 4. 消化管ホルモン、自律神経による消化機能 の調節を説明できる。 [C-3-4)-(7)-①②③、E-2-2)-⑤⑥] 事前学習：唾液・消化について、2年次の生理 学で使用したレジメ、講義ノートに目を通し て講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月25日(月) 1限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	顔面頭蓋の発達 小児の顔面頭蓋の成長、発達について多角的に理解する。	1. 頭蓋の成長発育を説明できる。 2. 顔面の成長発育を説明できる。 [E-2-3)-(2)] 事前学習：顔面頭蓋の発達について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
7月25日(月) 2限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	動的咬合誘導 動的咬合誘導について多角的に理解する。	1. 各デンタルステージにおける咬合誘導の目標を説明できる。 2. 乳歯列・混合歯列期における咬合誘導の治療法を説明できる。 [E-4-2)-(8)] 事前学習：動的咬合誘導について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
7月25日(月) 3限	大橋祐生講師 (口腔外科学)	顎口腔の腫瘍 7 外科療法 1 顎顔面口腔領域に発生する悪性腫瘍に対する手術の種類、適応、術式について修得する。	1. 悪性腫瘍に対する治療の基本を説明する。 2. 舌癌の切除法の種類を列挙し、適応を説明できる。 3. 下顎歯肉癌の切除法の種類を列挙し、適応を説明できる。 4. 上顎歯肉癌の切除法の種類を列挙し、適応を説明できる。 5. 頸部郭清術の術式を説明できる。 [E-2-4)-(6)-(3)] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p776-816を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
7月25日(月) 4限	大橋祐生講師 (口腔外科学)	顎口腔の腫瘍 8 外科療法 2 顎顔面口腔領域に発生する悪性腫瘍に対する再建手術の種類、適応、術式について修得する。	1. 頭頸部領域の再建手術について説明できる。 2. 植皮について説明できる。 3. 遊離皮弁と有茎皮弁について説明できる。 [E-2-4)-(6)-(3)] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p509-532を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
7月25日(月) 5限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	口腔顔面痛と慢性疼痛 様々な口腔顔面痛ならびに心因性疾患について修得する。	1. 口腔顎顔面領域の疼痛の種類を列挙できる。 2. 慢性疼痛と心因性病態との関連について説明できる。 [E-2-4)-(10)-(4)] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p341-361を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。

講義日程【B講義(8月16日～10月11日)】

復習試験：8：50～9：20、1限：9：30～10：35、2限：10：45～11：50、
3限：12：50～13：55、4限：14：05～15：10、5限：15：20～16：25

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
8月16日(火) 1限	佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	一般問題対策① 知っておかなければいけない全部床義歯の基礎知識 義歯の設計・印象採得・作業用模型の作製と治療の流れを理解する。	1. 義歯の設計について説明できる。 2. 印象採得について説明できる。 3. 作業用模型の作製について説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑤～⑧] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
8月16日(火) 2限	佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	一般問題対策② 知っておかなければいけない全部床義歯の基礎知識 顎間関係の記録と咬合器装着と調整の目的と治療の流れを理解する。	1. 顎間関係記録について説明できる。 2. フェイスボウトランスファーについて説明できる。 3. 咬合器装着と調整について説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑤～⑧] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
8月16日(火) 3限	石河太知講師 (分子微生物学)	微生物学総論・各論 A講義で学んだ微生物の分類および性状を理解し、寄生体としての病原微生物およびその感染症や病原因子について理解を深める。	1. 微生物の構造・性状について説明できる。 2. 感染の概念と感染症について説明できる。 3. 宿主-寄生体相互作用について説明できる。 [C-3-1]-①, ②, E-2-4)-(3)-①, E-2-4)-(9)-②] アクティブラーニング：ディスカッション方式の講義を行う。 ICT：講義前後に講義内容に準じる領域のDESS演習を行うこと。 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学習しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
8月16日(火) 4限	石河太知講師 (分子微生物学)	口腔細菌 B A 講義で学んだ口腔の正常フローラ、口腔細菌の性状および病原因子を学び、う蝕・歯周疾患・歯内疾患の成立・発症機序についての理解を深める。	1. 口腔のニッチとその構成細菌について説明できる。 2. 口腔病原微生物の特徴と病原因子について説明できる。 3. う蝕の成立機序について説明できる。 4. 歯周炎の成立機序について説明できる。 5. 歯内疾患の成立機序について説明できる。 [A-5-3]-①, ②, C-3-1]-③, ⑥, E-1-4)-⑥, ⑧, E-2-4)-(3)-①, E-3-2)-①~⑤] アクティブラーニング：ディスカッション方式の講義を行う。 ICT：講義前後に講義内容に準じる領域のDESS 演習を行うこと。 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学習しておくこと。
8月17日(水) 1限	黒瀬雅之教授 (病態生理学)	特殊感覚のまとめ-1 様々なタイプが存在する特殊感覚の受容について統合的に説明できるようになる。	1. 聴覚受容について説明できる。 2. 嗅覚受容について説明できる。 3. 平衡感覚受容について説明できる。 [C-3-4)-(6)-①~④, C-3-4)-(5)-④, E-2-2)-⑨~⑩] 事前学習：特殊感覚について2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
8月17日(水) 2限	黒瀬雅之教授 (病態生理学)	特殊感覚のまとめ-2 様々なタイプが存在する特殊感覚の受容について統合的に説明できるようになる。	1. 視覚感覚受容について説明できる。 2. 味覚感覚受容について説明できる [C-3-4)-(6)-①~④, C-3-4)-(5)-④, E-2-2)-⑨~⑩] 事前学習：特殊感覚について2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
8月17日(水) 3, 4限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	開口障害を生じる疾患 炎症、顎関節疾患など開口 障害を生じる疾患に関する 知識を修得する。	1. 歯槽骨炎と顎骨炎の病態、症状、診断、治療について説明できる。 2. 顎関節疾患について説明できる。 [E-2-4)-(3)-①~⑥] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p174-198を参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
8月18日(木) 1限	藤原尚樹教授 (機能形態学)	呼吸器系・循環器系総論 口腔・鼻腔、後頭、気管支までの一連の構造を理解する。 心臓と心臓に出入りする血管の解剖学的特徴を理解する。	1. 口腔、鼻腔、咽頭の構造を説明できる。 2. 気道の構造を説明できる。 3. 心臓、大動脈弓に関連する構造を説明できる。 [E-2-1)-①, ④, ⑪] 配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。 事前学習：総合講義 A の該当領域の資料を復習し、理解できない項目および関連問題をまとめておくこと。講義でその関連事項を含めフィードバックする。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
8月18日(木) 2限	藤原尚樹教授 (機能形態学)	唾液腺 唾液腺に関する解剖学的な構造と、大唾液腺・小唾液腺の存在意義を理解する。	1. 大唾液腺の存在位置と排泄管の開口部を説明できる。 2. 唾液腺の分泌に関わる神経の走行と関連する神経節について説明できる。 3. 小唾液腺の存在部位と義歯床縁の関係を説明できる。 [E-2-2]-⑥] 配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。 事前学習：総合講義Aの該当領域の資料を復習し、理解できない項目および関連問題をまとめておくこと。講義でその関連事項を含めフィードバックする。
8月18日(木) 3限	衣斐美歩講師 (病態解析学)	顎・口腔領域の疾患 4 到達度評価試験・復習試験・模擬試験で判明した口腔病理学の得点率の低い弱点領域を認識するとともに、国家試験過去問の選択肢として使用された各種疾患の病態を正しく理解する。	1. 到達度評価試験①・②、総合試験、復習試験、模擬試験の結果 から明らかになった弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 2. 歯の形・大きさ・数・構造の異常について説明できる。 3. 歯列・咬合の異常による障害について説明できる。 4. 歯の萌出の異常について説明できる。 5. 歯の物理的・化学的損傷について説明できる。 6. 歯の沈着物・着色・変色について説明できる。 [E-3-1)-③, E-3-2)-①] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：新口腔病理学 p3-30 を読み、疑問点を抽出しておくこと。
8月18日(木) 4限	入江太朗教授 (病態解析学)	顎・口腔領域の疾患 5 到達度評価試験・総合試験・復習試験・模擬試験で判明した口腔病理学の得点率の低い弱点領域を認識するとともに、国家試験過去問の選択肢として使用された各種疾患の病態を正しく理解する(第1回総合試験でみえた弱点領域の克服)	1. 到達度評価試験①・②、総合試験、復習試験、模擬試験の結果 から明らかになった弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 2. 水胞性病変について説明できる。 2. 赤色病変について説明できる。 3. 潰瘍性病変について説明できる。 4. 白色病変について説明できる。 5. 黒色病変について説明できる。 6. 舌炎・口唇炎について説明できる。 7. ウイルス性・細菌性感染症について説明できる。 [E-2-4)-(4)-①②] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：新口腔病理学 p143-161, p283-291 を読み、疑問点を抽出しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
8月19日(金) 1限	石崎明教授 (細胞情報科学)	生体成分 生体成分の基本構造と役割を理解する。	1. 糖質・脂質・タンパク質の構造と性質を説明できる。 2. 各生体成分の役割を説明できる。 [C-1-1)、C-2-1)] DESS 演習の準備をしておくこと。
8月19日(金) 2限	石崎明教授 (細胞情報科学)	細胞 細胞小器官と生体膜の機能を理解する。	1. 細胞小器官の機能を説明できる。 2. 生体膜の構造と機能を説明できる。 [C-1-1)、C-2-3)] DESS 演習の準備をしておくこと。
8月19日(金) 3限	藤原尚樹教授 (機能形態学)	口蓋と翼口蓋窩と上顎神経 口蓋、翼口蓋窩を構成する骨と上顎神経の走行経路、支配領域について理解する。	1. 口蓋の構造を硬口蓋、軟口蓋に分けて説明できる。 2. 上顎神経の走行経路と翼口蓋神経節からなる神経の分布範囲について説明できる。 3. 翼口蓋神経節からの枝に伴行する顎動脈の枝の走行経路について説明できる。 [E-2-1)-②、⑤] 配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。 事前学習：総合講義 A の該当領域の資料を復習し、理解できない項目および関連問題をまとめておくこと。講義でその関連事項を含めフィードバックする。
8月19日(金) 4限	藤原尚樹教授 (機能形態学)	下顎神経と顔面神経の走行と筋肉の関係 下顎神経支配の筋や知覚、顔面神経支配の筋について、その走行経路から理解する。	1. 下顎神経の走行経路と支配する知覚、筋の運動の関係について説明できる。 2. 顔面神経の走行経路と関連する麻痺との関係を説明できる。 3. 関連する神経節の位置や耳下腺神経叢について説明できる。 [E-2-1)-②、③、⑤] 配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。 事前学習：総合講義 A の該当領域の資料を復習し、理解できない項目および関連問題をまとめておくこと。講義でその関連事項を含めフィードバックする。
8月24日(水) 1,2限	田村晴希講師 (病態制御学)	薬理学総論のポイント A 講義で学んだ薬物の作用機序、副作用、薬物動態、相互作用、薬効に影響する因子、法規制について理解を深める。	1. 薬物の作用機序、副作用を説明できる。 2. 薬物動態、初回通過効果を説明できる。 3. 薬効に影響する因子を説明できる。 4. 法規制を受ける薬物を説明できる。 [C-6-1)-①～③、C-6-2)-①～⑤、C-6-3)-①②、C-6-4)-①②] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する問題について学習しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
8月31日(水) 1限	田邊憲昌准教授 (補綴・インプラント学)	ブリッジの種類とポンティック ブリッジ基底面に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してブリッジの種類に関する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)]
8月31日(水) 2限	田邊憲昌准教授 (補綴・インプラント学)	ろう着 Br. の連結法 ブリッジの連結法(ろう付け)に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してブリッジに関連する材料の知識を深め、問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)]
8月31日(水) 3限	石崎明教授 (細胞情報科学)	代謝 三大栄養素の代謝経路を理解する。	1. 生体における糖質・脂質・タンパク質の代謝とエネルギー産生を説明できる。 2. 血糖調節機構を説明できる。 [C-1-1)、C-2-1)、C-2-4)] DESS 演習の準備をしておくこと。
8月31日(水) 4限	石崎明教授 (細胞情報科学)	遺伝子 核酸の構造とセントラルドグマを理解する。	1. 核酸の構造を説明できる。 2. セントラルドグマを説明できる。 [C-1-1)、C-2-2)] DESS 演習の準備をしておくこと。
9月1日(木) 1限	鈴木啓太助教 (歯周療法学)	歯周病学出題項目網羅 ペリオドンタルメディシンを理解する。	1. ペリオドンタルメディシンの定義を説明できる。 2. 歯周病と各全身疾患の関係および対応を説明できる。 E-3-2)-③、E-3-3)-(3)-①～⑤ 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
9月1日(木) 2限	滝沢尚希助教 (歯周療法学)	歯周病学出題項目網羅 歯周病における薬物療法とレーザー治療を理解する。	1. 歯周病に対する薬物療法を説明できる。 2. 歯周病に対するレーザー治療を説明できる。 E-3-2)-③④⑤、E-3-3)-(3)-②③ 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月1日(木) 3限	小笠原正人教授 (病態制御学)	歯科領域に必要な鎮痛薬、 抗炎症薬 歯科領域で使用される末梢性および中枢性鎮痛薬の概要を理解する。	1. 解熱鎮痛薬を説明できる。 2. 抗炎症薬の概要を説明できる。 3. 麻薬性鎮痛薬、オピオイド受容体について説明できる。 [C-6-1)-①②、C-6-2)-②~⑤、C-6-4)-①] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する必修問題について学習しておくこと。
9月1日(木) 4限	小笠原正人教授 (病態制御学)	薬物相互作用が問題となる 薬物併用 医科との連携をふまえた薬物併用に関する問題を整理し、理解する。	1. 薬物動態と関連した薬物相互作用を説明できる。 2. 薬力学的と関連した薬物相互作用を説明できる。 3. 医科と連携が必要な疾患を説明できる。 [C-6-2)-③⑤、C-6-3)-②、E-6] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する問題について学習しておくこと。
9月2日(金) 1限	田村晴希講師 (病態制御学)	止血薬、抗血小板薬、抗凝固薬 血液凝固のメカニズムを理解し、止血薬について理解する。抗血小板薬、抗凝固薬について理解する。	1. 血液凝固のメカニズムを説明できる。 2. 止血薬の種類、副作用を説明できる。 3. 抗血小板薬について説明できる。 4. 抗凝固薬について説明できる。 [C-6-2)-②⑤、C-6-3)-②、C-6-4)-①] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する問題について学習しておくこと。
9月2日(金) 2限	田村晴希講師 (病態制御学)	硬組織作用薬・ビタミン・ 解毒薬・免疫抑制薬 主な薬物とその副作用について理解する。免疫反応に影響する薬物について理解する。	1. 骨量と関係するホルモン・受容体について説明できる。 2. ビスフォネート系薬剤の作用機序、副作用について説明できる。 3. ビスフォネート系薬剤の臨床適応について説明できる。 4. 骨粗鬆症について説明できる。 5. 免疫抑制剤の種類を挙げ、説明できる。 6. 重金属拮抗薬の種類を挙げ、説明できる。 [C-2-4)-②、C-3-4)-(2)-⑤、C-6-2)-②、C-6-3)-①、C-6-4)-①、C-4-2)-⑤⑥、E-6-①②] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する問題について学習しておくこと。
9月2日(金) 3,4限	高橋徳明講師 (歯科放射線学)	画像診断の弱点補強 1 パノラマ正常解剖とCT、MRI 正常解剖の知識を補強する。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から明らかになった以下の弱点項目を克服できる。 パノラマ正常解剖、CT、MRI 正常解剖 [E-2-1)-②④⑥、E-2-2)-⑦] パノラマやCT、MRI の正常像を webclass に公開する。各自、回答を作成できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月3日(土) 1限	池崎晶二郎助教 (発生物学・再生医学)	一般組織・上皮系・結合組織系のみ 人体を構成する組織・器官系とこれらの構成要素である細胞に関する組織学的特徴や機能について説明できるようになる。 上皮系・間葉系幹細胞に由来する細胞、造血系幹細胞に由来する細胞とそれらの機能について説明できるようになる。	1. 人体を構成する器官系を列挙できる。 2. 上皮組織の組織学的分類とそれぞれの存在部位について説明できる。 3. 重層扁平上皮の各層の特徴と構成細胞について説明できる。 4. 天疱瘡・類天疱瘡などの疾患を組織学的視点から説明できる。 5. 細胞間接着装置について理解できる。 6. 間葉系幹細胞に由来する細胞を列挙できる。 7. 結合組織について理解できる。 8. 造血系幹細胞に由来する細胞を列挙できる。 9. 血球について組織学的特徴について説明できる。 [C-3-4)-(1)-①~③、C-3-4)-(2)-②~⑤、C-3-4)-(4)-③~⑥、C-4-2)-(③)] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。
9月3日(土) 2限	池崎晶二郎助教 (発生物学・再生医学)	一般組織(骨・筋・内分泌・ホルモン・神経組織)のみ 骨・筋組織の細胞とそれらの機能について説明できるようになる。 内分泌・ホルモンに関わる器官の構造や細胞について説明でき、さらに生体恒常性的視点から理解できる。 中枢神経・末梢神経に関わる組織の構造や細胞について説明でき、さらに神経のネットワークの視点から生体恒常性を理解できる。	1. 骨と筋の細胞に由来する細胞を列挙できる。 2. 骨と筋の組織について理解できる。 3. 軟骨について組織学的特徴について説明できる。 4. 内分泌・ホルモンを構成する細胞について説明できる。 5. 内分泌・ホルモンの組織学的特徴について説明できる。 6. 血糖・血中カルシウム・血圧の恒常性維持について説明できる。 7. 中枢神経・末梢神経を構成する細胞について説明できる。 8. 脳・脊髄の組織学的特徴について説明できる。 9. 感覚器官について説明できる。 [C-3-4)-(2)-③~⑤、C-3-4)-(3)-①②、C-3-4)-(5)-⑦、C-3-4)-(6)-①②、C-3-4)-(9)-①] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月5日(月) 1限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	心身の発達 小児の心身の発達をより臨床に則して理解する。	1. 小児の精神発達について年齢と小児歯科臨床での対応法とのかかわりにおいて説明できる。 [C-3-2)-④] 事前学習：心身の発達について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
9月5日(月) 2限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	小児歯科治療で用いる器具のすべて 小児歯科臨床における各種器具を理解する。	1. 小児歯科治療で用いる器具について、使用目的、使用方法、選択法について説明できるようになる。 [E-4-2)-①～⑫] 事前学習：小児歯科治療で用いる器具について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
9月5日(月) 3限	澤田智史准教授 (医療工学)	セラミックスの成形技術・機器 セラミックスの成形加工法を学ぶ。	1. セラミックスの主要な成形法とその特徴を説明できる。 2. 陶材焼付鑄造冠における陶材と金属との結合機構を説明できる。 3. CAD/CAMによるセラミックス成形法の概要を説明できる。 [D-1-①②③、D-2-①②⑥] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。講義中知識確認のための質問とフィードバックを行う。
9月5日(月) 4限	武本真治教授 (医療工学)	修復物の研磨 その他の歯科材料（歯周治療用材料、矯正用材料、インプラント材、口腔外科用材料）	1. 修復物、補綴装置の研磨に用いる道具を説明できる。 2. 修復物、補綴装置の研磨の手順を説明できる。 3. 歯周治療用材料の所要性質を説明できる。 4. 矯正用材料の所要性質と力学的特性を説明できる。 5. インプラント材料の所要性質を説明できる。 6. 口腔外科用材料の所要性質を説明できる。 [D-1-①②、D-2-①②⑥] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。講義中知識確認のための質問とフィードバックを行う。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月5日(月) 5限	武本真治教授 (医療工学)	修復物、補綴装置の研磨 総合講義 A での知識の底上げ	1. 修復物、補綴装置の研磨に用いる道具を説明できる。 2. 修復物、補綴装置の研磨の手順を説明できる。 3. 歯科理工学の弱点領域について説明できる。 [D-1-④、D-2-①] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。A講義レジメ、復習試験の問題を再度見直すこと。講義中随時知識確認のための質問とフィードバックを行う。
9月6日(火) 1限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	国試重要項目の実力養成 1：根管充填法、充填材料 根管充填の器材、手順について説明できるようになる。	1. 根管充填法の種類を列挙できる。 2. 根管充填材の所要性質を説明できる。 3. 根管充填の手順を説明できる。 4. 根管充填に使用する器具を列挙できる。 5. 根管充填の時期について説明できる。 [E-3-3)-(2)-②] 事前学習：根管充填法、充填材料についてA講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
9月6日(火) 2限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	国試重要項目の実力養成 2：根管充填後の治癒機転、 コロナルリーケージ 根管充填後の根尖部治癒機転と臨床症状について説明できるようになる。	1. 根管充填後の根尖部の治癒について説明できる。 2. 根管充填後の予後評価について説明できる。 3. コロナルリーケージについて説明できる。 [E-3-3)-(2)-④] 事前学習：根管充填後の治癒機転、コロナルリーケージについてA講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
9月6日(火) 3限	大石泰子助教 (予防歯科学)	口臭の予防 口臭の原因と対応について学ぶことで適切な口臭診療について理解できる。	1. 口臭原因を列挙できる。 2. 口臭測定法を列挙できる。 3. 口臭への対応法を列挙できる。 [E-3-2)-②] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
9月6日(火) 4限	大石泰子助教 (予防歯科学)	周術期口腔ケア概論 周術期の口腔ケアの意義を理解する。	1. 周術期の口腔ケアの意義を概説できる。 2. 周術期の口腔症状を列挙できる。 3. 口腔カンジダ症について説明できる。 [E-1-5)-⑩、E-2-4)-(4)-①、A-5-1)-①～④] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月7日(水) 1限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	国試重要項目の実力養成 1: コンポジットレジン コンポジットレジンの応用 について理解できる。	1. コンポジットレジン修復の臨床例を理解できる。 2. コンポジットレジンの利点が理解できる。 3. コンポジットレジン修復の欠点が理解できる。 [E-3-3)-(1)、D-2-②] 事前学習: 保存におけるエックス線読影についてA講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
9月7日(水) 2限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	国試重要項目の実力養成 2: 接着歯学 接着について理解し、自己 解決できる。	1. 接着症例に対する診断・処置が理解できる。 2. 接着失敗症例について理解できる。 [E-3-3)-(1)、D-2-②] 事前学習: 接着についてA講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
9月7日(水) 3限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	国試重要項目の実力養成 4: 直接覆髄法、断髄法、AIPC 法、IPC法と歯内療法に使用 する薬剤 歯髄炎の症例における診断 と処置が理解できる。	1. 歯髄温存療法と抜髄の違いを理解する。 2. 歯髄温存療法の種類と適応を説明できる。 3. 歯髄温存療法における治癒経過を理解できる。 [E-3-3)-(2)-①] 事前学習: 根管拡大&NiTi ファイルについてA講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
9月7日(水) 4限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	国試重要項目の実力養成 5: 根管拡大&NiTi ファイル 総まとめ 種々の根管拡大法・根管洗 浄が説明できるようになる。	1. 根管拡大を説明することができる。 2. 彎曲根管の拡大法について説明できる。 3. 根管洗浄・消毒について説明できる。 4. 内容物検査が理解できる。 5. Ni-Ti ロータリーファイルが説明できる。 [E-3-3)-(2)-①] 事前学習: 保存におけるエックス線読影についてA講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
9月8日(木) 1限	大津圭史准教授 (発生生物・再生 医学)	頭頸部・顎顔面と歯の発生 についてのまとめ 頭頸部・顎顔面の発生過程 の構造について統合的に説明 できるようになる。	1. 鰓弓(咽頭弓)、鰓嚢(咽頭嚢)、鰓溝(咽頭溝)について説明できる。 2. 鰓弓・鰓嚢・鰓溝由来の構造について説明できる。 3. 神経堤について説明できる。 4. 神経堤に由来する組織を説明できる。 5. 口蓋の発生過程について説明できる。 6. 頭蓋の発生過程について説明できる。 7. 前頭鼻突起、内側鼻突起、外側鼻突起、上顎突起、下顎突起と顎顔面形成の関係について説明できる。 [C-3-2)-①~③、E-2-3)-①、E-3-1)-①、E-3-1)-④~⑥] ICT 端末を持参すること。 事前学習: 事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月8日(木) 2限	大津圭史准教授 (発生生物・再生 医学)	エナメル質・象牙質・歯髄 複合体・についてのまとめ エナメル質形成・象牙質・ 歯髄複合体に関わる細胞や エナメル質・象牙質・歯髄 の発生と構造について統合 的に説明できるようにな る。	<ol style="list-style-type: none"> 1. エナメル器を構成する細胞の由来につ いて説明できる。 2. エナメル芽細胞の分化と形態変化につ いて説明できる。 3. エナメル質の組織学的特徴について説 明できる。 4. エナメル質に見られる成長線について 説明できる。 5. エナメル基質中に見られる構造につ いて説明できる。 6. 象牙質・歯髄複合体を構成する細胞の 由来について説明できる。 7. 象牙芽細胞の分化と形態変化につ いて説明できる。 8. 象牙質の種類と組織学的特徴につ いて説明できる。 9. 象牙質に見られる成長線について説明 できる。 10. 象牙細管、基質の石灰化の状態によ って見られる構造について説明できる。 11. 歯髄の組織学的特徴や構成細胞を説明 できる。 12. 歯髄の脈管・神経系について説明でき る。 13. 象牙質・歯髄複合体の生理的加齢変化 について説明できる。 <p>[C-3-2)-①～③、E-2-3)-①、E-3-1)-①、 E-3-1)-④～⑥]</p> <p>ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要 な項目に目を通しておくこと。また問題集 については各自で解答して理解不足の点 を抽出しておくこと。</p>

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月8日(木) 3限	原田英光教授 (発生生物・再生医学)	歯周組織・歯肉・口腔粘膜(重層扁平上皮の特徴)についてのまとめ 歯周組織(歯肉・セメント質・歯根膜・歯槽骨)を構成する細胞や構造について説明でき、さらに発生学的視点から理解できるようになる。	1. 歯周組織やその構成細胞の由来について説明できる。 2. 歯肉の組織学的特徴について説明できる。 3. 付着上皮の特異性と臨床的意義について説明できる。 4. セメント質の特徴と形成機序について説明できる。 5. 歯根膜の組織学的特徴と構成細胞について説明できる。 6. 歯槽骨の組織学的特徴について説明できる。 7. 歯槽硬線を組織学的特徴から説明できる。 8. 歯槽骨・歯根膜のリモデリングについて説明できる。 9. 歯周組織の脈管・神経・機械的受容器について説明できる。 10. 口腔粘膜上皮と角化の有無について説明できる。 11. 歯肉・歯槽粘膜の組織学的特徴について説明できる。 12. 歯-歯肉境の組織学的特徴について説明できる。 13. 頬粘膜・口蓋の組織学的特徴について説明できる。 14. 口唇の組織学的特徴について説明できる。 15. 舌・扁桃の組織学的特徴について説明できる。 [C-3-2)-①～③、E-2-3)-①、E-3-1)-①、④～⑥] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。
9月8日(木) 4限	原田英光教授 (発生生物・再生医学)	唾液腺・顎関節のまとめ 大唾液腺の構造と組織学的特徴について説明できるようになる。 顎関節の構造と組織学的特徴について説明できるようになる。	1. 耳下腺・顎下腺・舌下腺の位置、排出導管の開口部の位置について説明できる。 2. 大唾液腺の終末部の組織学的特徴について説明できる。 3. 大唾液腺の導管の構造と機能について説明できる。 4. 唾液の組成や唾液成分の機能について説明できる。 5. 顎関節の組織学的特徴について説明できる。 6. 関節円板や関節包内層(滑膜)の特徴について説明できる。 [E-2-1)-⑥、E-2-2)-⑤～⑥] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月9日(金) 1限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	機能的矯正装置の適用前後の変化 機能的装置適用前後の変化に関する知識を強化できる。	1. 装置装着前後の変化について理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-4-1)-⑤] 事前学習：到達目標について医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
9月9日(金) 2限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	器械的矯正装置の適用前後の変化 器械的装置適用前後の変化に関する知識を強化できる。	1. 装置装着前後の変化について理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-4-1)-⑤] 事前学習：到達目標について医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
9月9日(金) 3限	川井忠講師 (口腔外科学)	骨髄炎と薬剤関連顎骨壊死 骨髄炎と薬剤関連顎骨壊死の知識を修得する。	1. 顎骨骨髄炎の分類について説明する。 2. 急性顎骨骨髄炎の症状、経過、治療法について説明できる。 3. 薬剤関連顎骨壊死の症状、経過、治療法について説明できる。 4. 硬組織の損傷の症状、治療法を説明できる。 [E-2-4)-(6)-①②] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p292-327,762-775を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
9月9日(金) 4限	山谷元気講師 (口腔外科学)	感染症 口腔内発症する感染症(ウイルス感染症・特異性炎)に関する知識を修得する。	1. 口腔領域のウイルス感染症について説明できる。 2. 口腔領域の特異性炎について説明できる。 [E-2-4)-(10)-①] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p254-271を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月12日(月) 1限	下山佑准教授 (分子微生物学)	免疫学 B A 講義で学んだ免疫応答による生体防御の仕組みならびに免疫疾患についての理解を深める。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 免疫応答に関与する器官と細胞について説明できる。 2. 自然免疫と獲得免疫について説明できる。 3. 主なサイトカインとその生物活性について説明できる。 4. 微生物の認識機構と排除機構を説明できる。 5. 各過敏症の発症メカニズムと代表的な疾患について説明できる。 6. 主な免疫不全症の発症機序と疾患について説明できる。 7. 自己免疫疾患発現に関与する因子と代表的な自己免疫疾患について説明できる。 <p>[C-3-2]-①～⑦, E-2-4)-(9)-③] アクティブラーニング：ディスカッション方式の講義を行う。 ICT：講義前後に講義内容に準じる領域のDESS演習を行うこと。 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学習しておくこと。</p>
9月12日(月) 2限	下山佑准教授 (分子微生物学)	ウイルス学各論 B A 講義で学んだウイルスの性状ならびに感染症についての理解を深める。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ウイルス粒子の構造と各部位の機能, 増殖過程を説明できる。 2. 主要な病原性ウイルスの性状・感染経路・標的器官および感染症を説明できる。 <p>[C-3-1]-①, ②, E-2-4)-(9)-②] アクティブラーニング：ディスカッション方式の講義を行う。 ICT：講義前後に講義内容に準じる領域のDESS演習を行うこと。 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学習しておくこと。</p>
9月12日(月) 3限	橋口大輔助教 (小児歯科学)	小児の歯の外傷 小児の歯の外傷を臨床に則して理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 様々な小児の外傷の症例について、診査項目を列挙し、正しく診断できる。 2. 様々な小児の外傷の症例について、適切な対応法を説明することができる。 <p>[E-2-4)-(2)-①②, E-4-2)-⑦] 事前学習：小児の歯の外傷について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。</p>

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月12日(月) 4限	橋口大輔助教 (小児歯科学)	乳歯の感染根管治療と抜歯との鑑別Ⅰ 乳歯の感染根管治療と抜歯との鑑別を臨床に則して理解する。	1. 乳歯の感染根管治療を抜髄や断髄との対比において説明できる。 [E-4-2)-(④⑤)] 事前学習：乳歯の歯内療法について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
9月13日(火) 1限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	乳歯の感染根管治療と抜歯との鑑別Ⅱ 乳歯の感染根管治療と抜歯との鑑別を臨床に則して理解する。	1. 乳歯の感染根管治療を抜歯の適応症との対比において説明できる。 [E-4-2)-(④⑤)] 事前学習：乳歯の抜歯について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
9月13日(火) 2限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	全身疾患を有する小児の治療 全身疾患を持つ小児の歯科治療について理解する。	1. 全身疾患を持つ小児の口腔内について述べることができる。 2. 小児科との係わり方を述べるができる。 [E-2-4)-(1)-(①)] 事前学習：全身疾患を有する小児の治療について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
9月13日(火) 3限	大石泰子助教 (予防歯科学)	感染症の予防 感染症の要因と予防法を学ぶことで歯科医療における感染対策を理解する。	1. 感染症の成立要因と要因別予防手段を列挙できる。 2. 感染症法 1-3 類の感染症を列挙できる。 3. 定期予防接種を列挙できる。 [A-6-3)-(①～⑤)、B-2-1)～⑤、B-3-1)～④] 資料は事前に WebClass に提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
9月13日(火) 4限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	環境保健 環境の健康影響を学ぶことで地域の衛生環境や歯科診療所の環境改善を重視するようになる。	1. 大気、水、温熱環境の健康影響を説明できる。 2. 環境基準項目を列挙できる。 [B-2-4)-(①②)] 資料は事前に WebClass に提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月14日(水) 1限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	遺伝病 遺伝病が発現するしくみを理解する。	1. 染色体の構造と配偶子形成を説明できる。 2. 遺伝病・配偶子病が発現するしくみを説明できる。 [C-1-1)、C-2-2)] DESS 演習の準備をしておくこと。
9月14日(水) 2限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	癌 発癌や転移・浸潤のしくみを理解する。	1. 癌遺伝子と癌抑制遺伝子の機能を説明できる。 2. 発癌や転移・浸潤のしくみを説明できる。 [C-1-1)、C-2-2)、C-5-6)] DESS 演習の準備をしておくこと。
9月14日(水) 3限	大橋祐生講師 (口腔外科学)	再建法(軟組織・硬組織、遊離皮弁と有形皮弁) 再建法についての知識を修得する。	1. 悪性腫瘍の手術法を説明できる。 2. 再建法の種類を説明できる。 3. 軟組織・硬組織の再建法を説明できる。 4. 遊離皮弁と有形皮弁を説明できる。 [E-2-4)-(6)-③] 事前学習:最新口腔外科学第5版 p541-578を参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
9月14日(水) 4限	大橋祐生講師 (口腔外科学)	顎口腔の機能 口蓋裂、摂食嚥下、睡眠時無呼吸症候群についての知識を修得する。	1. 口蓋裂患者に行う検査について説明できる。 2. 摂食嚥下機能評価に行う検査について説明できる。 3. 睡眠時無呼吸症候群に行う検査について説明できる。 [E-2-4)-(6)-③] 事前学習:最新口腔外科学第5版 p509-532を参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
9月20日(火) 1限	大石泰子助教 (予防歯科学)	代用甘味料とプラーク 代用甘味料の生化学的、社会的な位置づけを理解する。	1. 代用甘味料の種類を列挙できる。 2. 代表的な代用甘味料の構造を説明できる。 3. 代表甘味料のプラークへの作用を概説できる。 4. 代用甘味料の制度的位置づけを説明できる。 [E-3-2)-④、B-3-2)-①、F-3-2)-④] 資料は事前に WebClass に提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月20日(火) 2限	大石泰子助教 (予防歯科学)	薬事関連法規とフレイル 薬事関連法規を体系的に理解する。 超高齢社会の問題としてのフレイルを理解する。	1. 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律が定める項目を列挙できる。 2. 歯科領域の医薬品、医薬部外品、医療機器を列挙できる。 3. 治験とGCPについて概説できる。 4. フレイルを概説できる。 5. フレイルとサルコペニアの診断基準を列挙できる。 [A-1-1)-④、B-2-1)-④] 資料は事前にWebClassに提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
9月20日(火) 3限	大石泰子助教 (予防歯科学)	EBM(根拠に基づいた医療) EBMを理解し、歯科疾患の治療・予防に適用する。	1. EBMを概説できる。 2. EBMの5つのステップを列挙できる。 3. 診療ガイドラインの意義を概説できる。 4. 根拠ある歯科疾患予防法を列挙できる。 [B-4-1)-①④] 資料は事前にWebClassに提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
9月20日(火) 4限	大石泰子助教 (予防歯科学)	基礎統計 基礎統計手法を理解する。	1. 基礎統計量を列挙できる。 2. 提示されたデータから適切な統計解析法を選択できる。 [B-4-2)-①④] 資料は事前にWebClassに提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
9月21日(水) 1限	中里茉那美助教 (歯周療法学)	歯周病学出題項目網羅 歯周治療におけるメンテナンス・SPTを理解する。	1. メンテナンスの定義を説明できる。 2. SPTの定義を説明できる。 3. メンテナンスとSPTを区別できる。 4. メンテナンスおよびSPTで行うそれぞれの治療法を説明できる。 E-3-3)-(3)-②③⑤] 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
9月21日(水) 2限	滝沢尚希助教 (歯周療法学)	歯周病学出題項目網羅 ライフステージを通じた歯周治療を理解する。	1. 妊婦から高齢者までの各年齢層に合わせた歯周治療を説明できる。 E-3-2)-③④⑤、E-3-3)-(3)-①～⑤、 E-4-2)-⑥、E-5-1)①②④⑤ 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月21日(火) 3限	佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	一般問題対策③ 知っておかなければいけない 全部床義歯の基礎知識 人工歯選択と排列・歯肉形成・ろう義歯試適の目的と治療の流れを理解する。	1. 人工歯選択と排列について説明できる。 2. ろう義歯試適について説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑨~⑬] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
9月21日(火) 4限	佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	一般問題対策④ 知っておかなければいけない 全部床義歯の基礎知識 埋没重合・咬合調整・装着・患者指導の目的と治療の流れを理解する。	1. 埋没・重合について説明できる。 2. 咬合調整について説明できる。 3. 装着について説明できる。 4. 患者指導について説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑨~⑬] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
9月22日(木) 1限	小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学)	摂食嚥下リハビリテーション⑤ 摂食嚥下障害の 間接訓練 について理解する。	1. 摂食嚥下障害に対する 間接訓練法 について説明できる。 [E-2-4)-(11)-②、E-5-1)-⑤~⑩] 事前学習：歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 p124~156、58~67を読み、疑問点をまとめておくこと。
9月22日(木) 2限	小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学)	摂食嚥下リハビリテーション⑥ 摂食嚥下障害の 直接訓練 について理解する。	1. 摂食嚥下障害に対する 直接訓練法 について説明できる。 [E-2-4)-(11)-②、E-5-1)-⑤~⑩] 事前学習：歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 p157~165、167~181を読み、疑問点をまとめておくこと。
9月22日(木) 3限	服部雅之 客員教授 (医療工学)	接着に関わる各種表面処理 歯科接着の化学的な原理、接着時の表面処理の意義について学ぶ。	1. 歯面および各種歯科材料の接着に必要な表面処理方法、特に接着性モノマーの働きを説明できる。 [D-1-④、D-2-⑥] 事前学習：2・3年次に使用した教科書(スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。A講義のレジメの内容を再度確認し、キーワードを列挙しておく。講義中随時知識確認のための質問とフィードバックを行う。
9月22日(木) 4限	服部雅之 客員教授 (医療工学)	歯科材料・頻出問題への対応 歯科理工学の頻出問題に対応できるようになるために歯科材料の基本的知識を整理する。	1. 歯科理工学の頻出問題を解くための歯科材料の基本的知識について説明できる。 [D-1、D-2] 事前学習：2・3年次に使用した教科書(スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。A講義のレジメの内容を再度確認し、キーワードを列挙しておく。講義中随時知識確認のための質問とフィードバックを行う。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月24日(土) 1限	村井治助教 (歯周療法学)	歯周病学出題項目網羅 歯周病の予防管理を理解する。	1. 歯周疾患におけるブラッシング法を説明できる。 2. 歯磨剤、洗口剤等の薬物を使用した歯周病予防法を説明できる。 E-3-2)-③④、E-3-3)-(3)-② 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
9月24日(土) 2限	佐々木大輔 准教授 (歯周療法学)	高頻出項目強化 特に高頻出項目である歯周外科治療を強化する。	1. 歯周外科治療のポケット除去療法および歯周組織再生療法における中～高正答率問題を確実に答えることができる。 E-3-2)-③④⑤、E-3-3)-(3)-④⑤ 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノート、6年次のA講義、過去5年間の国家試験問題について再確認してから講義に臨むこと。
9月26日(月) 1限	黒瀬雅之教授 (病態生理学)	麻酔に強くなるための生理学1 神経編 麻酔における全身管理の背景にある生体機能を理解し、説明できるようになる。	1. シナプスでの情報伝達を説明できる。 2. 代表的な神経伝達物質について、その機能と情報伝達の過程を説明できる。 3. 神経系の相違を機能的に説明できる。 [C-3-4)-(5)-(7⑨)] 事前学習：2年次に用いた講義用資料を読み直して、知識の確認を行うこと。
9月26日(月) 2限	黒瀬雅之教授 (病態生理学)	麻酔に強くなるための生理学2 循環編 麻酔における全身管理の背景にある生体機能を理解し、説明できるようになる。	1. 刺激伝導系を説明できる。 2. 心臓の神経系による調節を説明できる。 3. 心臓の調節機構を説明できる。 4. 心不全を説明できる。 5. 心電図の成り立ちを説明できる。 [C-3-4)-(4)-(2)] 事前学習：2年次に用いた講義用資料を読み直して、知識の確認を行うこと
9月26日(月) 3限	黒瀬雅之教授 (病態生理学)	麻酔に強くなるための生理学3 呼吸編 麻酔における全身管理の背景にある生体機能を理解し、説明できるようになる。	1. 呼吸の調節機構を説明できる。 2. 酸塩基平衡を説明できる。 3. 酸素解離曲線を図示して説明できる。 4. 酸素や二酸化炭素の濃度が、どのように呼吸の回数と深さに影響するかを説明できる。 [C-3-4)-(8)-(1②)] 事前学習：2年次に用いた講義用資料を読み直して、知識の確認を行うこと。
9月26日(月) 4限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	全身管理に必要な生理学 全身管理に必要な生理学を理解する。	1. 循環生理を説明できる。 2. 呼吸生理を説明できる。 3. 酸塩基平衡を説明できる。 4. 神経生理を説明できる。 [C-3-4-(04)-③、C-3-4-(08)-②、C-3-4-(05)-③、C-3-4-(09)-①] 事前学習：全身管理に必要な生理学について永末書店 第6版 臨床歯科麻酔学、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月27日(火) 1限	小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学)	摂食嚥下リハビリテーション⑦ 摂食嚥下障害に対する口腔ケア法と高齢者の栄養管理法について理解する。	1. 摂食嚥下障害患者の口腔健康管理を説明できる。 2. 高齢者の栄養管理について説明できる。 [E-2-4)-(11)-②、E-5-1)-④～⑩] 事前学習：歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 p 182～192 を読み、疑問点をまとめておくこと。
9月27日(火) 2限	深澤翔太講師 (補綴・インプラント学)	一般問題対策⑤ 知っておかなければいけない部分床義歯の基礎知識 構成要素とその役割・印象採得・サベイングの目的と治療の流れを理解する。	1. 義歯の構成要素と役割について説明できる。 2. 印象採得について説明できる。 3. 義歯設計とサベイングについて説明できる。 [E-3-4)-(2)-④⑤] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
9月27日(火) 3限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	CAD/CAM とセラミッククラウン セラミッククラウンの基本事項に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してセラミッククラウンの基本事項に関する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)]
9月27日(火) 4限	齋藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	接着ブリッジ 接着ブリッジに関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通して接着 Br に関連する知識を深め、問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)]
9月28日(水) 1限	佐藤和朗教授 (歯科矯正学)	マルチブラケット装置による矯正治療 マルチブラケット装置に関する知識を強化できる。	1. マルチブラケット装置について理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 2. 矯正治療に必要な抜歯と固定の概念について理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-4-1)-⑤] 事前学習：到達目標について医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
9月28日(水) 2限	佐藤和朗教授 (歯科矯正学)	顎変形症の治療 顎変形症に関する知識を強化できる。	1. 顎変形症について理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-2-4)-④] 事前学習：到達目標について医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月28日(水) 3,4限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	<p>国試重要項目の実力養成 5: CR インレー、セラミックインレー CR インレー、セラミックインレーの違いについて理解する。</p> <p>国試重要項目の実力養成 3: 知覚過敏& 歯内と修復の消毒滅菌 知覚過敏、歯内と修復の消毒滅菌に関連する知識・治療法を理解し、国家試験問題を解くことができる。</p> <p>国試重要項目の実力養成 6: 酸蝕症、齲蝕以外の硬組織疾患 酸蝕症、齲蝕以外の硬組織疾患の重要事項を理解する。</p>	<p>1. CR インレー、セラミックインレーの窩洞形成、材料学的特徴、利点欠点、不快事項について説明できる。 [E-3-3)-(1)-③] 事前学習：保存におけるエックス線読影についてA講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。</p> <p>1. 知覚過敏の病態について説明できる。 2. 知覚過敏の処置法について説明できる。 3. 知覚過敏の治療薬の作用機序について説明できる。 4. スタンダードプレコーションについて説明できる。 5. 歯内・修復治療で用いる機器・器材についての消毒・滅菌法について説明できる。 [E-3-3)-(2)-①] 事前学習：知覚過敏& 歯内と修復の消毒滅菌についてA講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。</p> <p>1. 非齲蝕性硬組織疾患の種類を説明できる。 2. 非齲蝕性硬組織疾患の原因を説明できる。 3. 非齲蝕性硬組織疾患の治療法を説明できる。 [E-3-2)-①] 事前学習：酸蝕症、齲蝕以外の硬組織疾患についてA講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。</p>
9月29日(木) 1限	藤原尚樹教授 (機能形態学)	<p>嚥下に関わる筋と顎関節 舌筋、口蓋帆の筋、咽頭の構造、顎関節の基本構造から顎関節を含めた嚥下運動に関わる構造を理解する。</p>	<p>1. 内舌筋・外舌筋の種類と機能を説明できる。 2. 口蓋帆から咽頭に存在する筋と機能的意義を説明できる。 3. 咀嚼筋と顎関節の関係を解剖学的視点から説明できる。 [E-2-1)-③、⑥] 配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。 事前学習：総合講義Aの該当領域の資料を復習し、理解できない項目および関連問題をまとめておくこと。講義でその関連事項を含めフィードバックする。</p>

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月29日(木) 2限	藤原尚樹教授 (機能形態学)	歯の解剖学(特に咬合と歯 髓形態) 上顎、下顎の咬合関係と、 その特徴を理解する。 歯種の鑑別に必要な外形と 歯髓形態について理解す る。	1. 前歯と臼歯の咬合関係について説明で きる。 2. 乳歯と永久歯の鑑別に必要な基本形態 について説明できる。 3. 歯髓や根管の数とその外形との関係に ついて説明できる [E-2-2)-④]、[E-3-1)-②] 配布資料に書き込みながら、演習形式で要 点をまとめる。 事事前学習：総合講義Aの該当領域の資料 を復習し、理解できない項目および関連問 題をまとめておくこと。講義でその関連事 項を含めフィードバックする。
9月29日(木) 3限	入江太朗教授 (病態解析学)	口腔病理学の一般・必修問 題対策2 全国模試(DESS116-1 8月 22, 23日実施)の解説と重 要な各種疾患の病態を理解 する。	1. 到達度評価試験①・②、総合試 験、復習試験、模擬試験の結果 から明らかになった弱点項目を 理解し、それらの解答に必要な 知識を正しく説明できる。 2. 炎症について説明できる。 3. 感染症について説明できる。 4. 免疫異常について説明できる。 5. 増殖と修復について説明できる。 [C-5-3)、C-5-5)] ディスカッション方式の講義を行う。講義 の途中あるいは最後にクリッカーを活用 して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：スタンダード病理学 p110-188, p42-60を読み、疑問点を抽出しておく こと。
9月29日(木) 4限	衣斐美歩講師 (病態解析学)	口腔病理学の一般・必修問 題対策3 到達度評価試験・総合試 験・復習試験・模擬試験で 判明した口腔病理学の得点 率の低い弱点領域を認識す るとともに、国家試験過去 問の選択肢として使用され た各種疾患の病態を正しく 理解する。	1. 到達度評価試験①・②、総合試験、復 習試験、模擬試験の結果 から明らか になった弱点項目を理解し、それらの解 答に必要な知識を正しく説明できる。 2. 齲蝕の疫学について説明できる。 3. 齲蝕の分類と好発部位について説明で きる。 4. 齲蝕の原因と成り立ちについて説明で きる。 5. 齲蝕の病理学的特徴について説明でき る。 [E-3-3)-(1)-①] ディスカッション方式の講義を行う。講義 の途中あるいは最後にクリッカーを活用 して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：新口腔病理学 p239-258を読み、 疑問点を抽出しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月30日(金) 1限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	口腔インプラント臨床 インプラント補綴 総論 インプラントの補綴術式を 理解する。	1. インプラントの上部構造の印象採得と 咬合採得について説明できる。 2. プロビジョナルレストレーションの意 義を荷重時期について説明できる。 [E-3-4)-(3)-⑥⑦] 事前学習：4・5年次に使用したレジメ、講 義ノートに目を通して講義に臨むこと。ま た、教科書の該当項目にも目を通すこと。
9月30日(火) 2限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	口腔インプラント臨床 インプラント補綴 総論 インプラントの補綴術式を 理解する。	1. インプラント最終上部構造の製作手順 について説明できる。 2. インプラント最終上部構 造の構造、固定方法、装着について説明 することができる。 [E-3-4)-(3)-⑥⑦] 事前学習：4・5年次に使用したレジメ、講 義ノートに目を通して講義に臨むこと。ま た、教科書の該当項目にも目を通すこと。
9月30日(金) 3限	桑島幸紀講師 (歯科矯正学)	口唇・口蓋裂患者の治療(発 語・構音含む) 口唇・口蓋裂に関する知識 と発語・構音等に関する知識 を強化できる。	1. 口唇・口蓋裂に関して理解を深め、同領 域の問題を解くことができるようになる。 2. 発語・構音に関して理解を深め、同領域 の問題を解くことができるようになる。 [E-2-4)-(1)-①②、E-2-4)-(11)-①～③、 E-3-1)-③] 事前学習：到達目標について医歯薬出版 歯 科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこ と。
9月30日(金) 4限	桑島幸紀講師 (歯科矯正学)	睡眠時無呼吸症候群 睡眠時無呼吸症候群に関す る知識を強化できる。	1. 睡眠時無呼吸症候群について理解を深 め、同領域の問題を解くことができるよ うになる。 [E-2-4)-(11)-⑥] 事前学習：到達目標について医歯薬出版 歯 科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこ と。
10月3日(月) 1. 2限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	全身麻酔法 全身麻酔法と全身麻酔薬を 理解する。	1. 全身麻酔薬の理論、概念、機序を説明で きる。 2. 全身麻酔に使用する装置、器具、回路を 説明できる。 3. 全身麻酔における気道確保法を説明で きる。 4. 全身麻酔薬の種類と特徴を説明できる。 5. 麻酔前投薬、筋弛緩薬の種類と薬理作用 を説明できる。 [E-1-4)-(4)] 6. 呼吸のモニタリングを説明できる。 7. 循環のモニタリングを説明できる。 [E-2-4)-(3)] 事前学習：全身麻酔法および麻酔薬につい て永末書店 第6版 臨床歯科麻酔学、4年 次に使用したレジメ、講義ノートに目を 通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月3日(月) 3,4限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	国試重要項目の実力養成 3: 臨床術式: 修復に必要な前処置、補助法を極める 修復前処置、修復補助法の種類、使用法、目的について説明できるようになる。 国試重要項目の実力養成 4 (フロアブル V.S. 通常のコンポジット) フロアブルと通常のコンポジットの材料学的比較と臨床での使い分けを理解する。	1. 修復前処置の種類を説明できる。 2. 修復前処置の目的を説明できる。 [E-3-3)-(1)、D-2-②] 事前学習: 修復に必要な前処置、補助法について A 講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。 1. フロアブルと通常のコンポジットの材料学的比較と臨床での使い分けを説明できる。 [E-3-2)-(1)] 事前学習: フロアブルと通常のコンポジットの違いについて、各自考察して講義に臨むこと。
10月4日(火) 1限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	歯の発育・萌出と異常 歯の発育と萌出ならびにその障害を理解する。	1. 歯の発育時期と萌出時期を説明できる。 2. 乳歯・永久歯の萌出順序を説明できる。 3. 歯の萌出異常について説明できる。 4. 歯の形成障害の原因を述べることができる。 5. 歯数・形態・構造・色調の異常について説明できる。 [E-2-3)-③、E-3-1)-①、E-3-1)-④] 事前学習: 歯の発育・萌出と異常について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング: 講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
10月4日(火) 2限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	静的咬合誘導 小児の歯の早期喪失に対する臨床的な対応法を具体的に理解する。	1. 小児の歯の早期喪失の原因と状況を説明できる。 2. 小児の歯の早期喪失に対する的確な処置を症例に応じて列挙できる。 [E-4-2)-⑧⑨] 事前学習: 静的咬合誘導について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング: 講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
10月4日(火) 3限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	歯髄処置 小児の齶蝕が歯髄処置に移行する過程を臨床的に理解する。	1. 乳歯・幼若永久歯の歯髄炎の鑑別診断を症例に応じて説明できる。 2. 乳歯の幼若永久歯の歯周炎の鑑別診断を症例に応じて説明できる。 3. 乳歯・幼若永久歯の歯髄処置法について、臨床に則して説明できる。 [E-4-2)-④⑤] 事前学習: 小児の歯髄処置について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング: 講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月4日(火) 4限	熊谷美保准教授 (障害者歯科学)	症候群 障害者歯科で取り扱う症候群について理解する。	1. 障害者歯科で取り扱う症候群について説明できる。 [E-2-4)-(10)-⑤⑥] 事前学習：教科書 p163～205 を読み、まとめておく。
10月5日(水) 1限	千葉俊美教授 (関連医学)	高齢者への対応(身体的特徴、心理・社会的特徴、医療情報の収集、診察、評価)、認知症 高齢者への対応(身体的特徴、心理・社会的特徴、医療情報の収集、診察、評価)、認知症について理解する。	1. 高齢者への対応(身体的特徴、心理・社会的特徴、医療情報の収集、診察、評価)、認知症について理解し説明できる。 [E-6-①] 事前学習：内科学に関する過去の講義資料を確認し講義に臨むこと。講義に関する国家試験問題を解きまとめること。
10月5日(水) 2限	千葉俊美教授 (関連医学)	高頻度に見られる全身疾患・症状、要介護の原因疾患 高頻度に見られる全身疾患・症状、要介護の原因疾患について理解する。	1. 高頻度に見られる全身疾患・症状、要介護の原因疾患について理解し説明できる。 [E-6-②] 事前学習：内科学に関する過去の講義資料を確認し講義に臨むこと。 事後学習：講義に関する国家試験問題を解きまとめること 。
10月5日(水) 3,4限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	歯内領域の必修&高正答率一般問題強化 ② 歯内領域問題の高正答範囲を抽出し、認識を再確認する。	1. 解説を通して歯内領域の高正答問題を解くことができ確認認識することができる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：試験結果から自分の歯内領域における弱点を抽出して講義に臨むこと。
10月6日(木) 1限	入江太朗教授 (病態解析学)	口腔病理学の一般・必修問題対策 4 全国模試(麻布 116-1 9月15, 16日実施)の解説と重要な各種疾患の病態を理解する。	1. 到達度評価試験①・②、総合試験、復習試験、模擬試験の結果 から明らかになった弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 2. 顎顔面口腔領域の腫瘍性病変について説明できる。 3. 顎顔面口腔領域の非腫瘍性病変について説明できる。 [E-2-4)] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：新口腔病理学 p197-227 を読み、疑問点を抽出しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月6日(木) 2限	佐藤泰生講師 (病態解析学)	口腔病理学の一般・必修問題対策5 到達度評価試験・総合試験・復習試験・模擬試験で判明した口腔病理学の得点率の低い弱点領域を認識するとともに、国家試験過去問の選択肢として使用された各種疾患の病態を正しく理解する。	1. 到達度評価試験①・②、総合試験、復習試験、模擬試験の結果から明らかになった弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 2. 口唇口蓋裂と顔面披裂について説明できる。 3. 口腔顎顔面に異常を示す奇形症候群について説明できる。 4. 中胚葉・外胚葉の異形成症について説明できる。 5. 口唇・頬部の異常について説明できる。 6. 舌の異常について説明できる。 7. 口腔領域に徴候をみる症候群について説明できる。 [E-2-3)-③、E-2-4)-(1)-①④、E-2-4)-(10)-④～⑥] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：新口腔病理学 p132-142、p229-238、p331-340 を読み、疑問点を抽出しておくこと。
10月6日(木) 3限	滝沢尚希助教 (歯周療法学)	高頻出項目強化 特に高頻出項目である歯周病のリスクファクター、薬物療法、レーザー治療を強化する。	1. 歯周病のリスクファクター、薬物療法、レーザー治療における中～高正答率問題を確実に答えることができる。 E-3-2)-③④⑤、E-3-3)-(3)-②③④⑤ 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノート、6年次のA講義、過去5年間の国家試験問題について再確認してから講義に臨むこと。
10月6日(木) 4限	村井治助教 (歯周療法学)	高頻出項目強化 特に高頻出項目である歯周基本治療を強化する。	1. 歯周基本治療における中～高正答率問題を確実に答えることができる。 E-3-2)-③④⑤、E-3-3)-(3)-①②③⑤ 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノート、6年次のA講義、過去5年間の国家試験問題について再確認してから講義に臨むこと。
10月7日(金) 1限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	虐 待 虐待の早期発見と防止への歯科医師の責務を理解できる。	1. 虐待の種類を説明できる。 2. 虐待防止に関する法律を説明できる。 3. 歯科医師にできる虐待の早期発見と防止について説明できる。 4. 虐待を疑った際の通報先を説明できる。 [B-2-2)-⑥] [E-4-2)-⑪] [E-5-1)-⑪] 事前学習：法歯科医学 p53-64 を読み、疑問点を抽出しておくこと(30分を要する)。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月7日(金) 2限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	歯列・咬合の発育 歯列および咬合の発育を理解する。	1. 生理的歯間空隙とその意味を説明できる。 2. ターミナルプレーンを理解し、その臨床的意味を説明できる。 3. 乳歯列の咬合の特徴を列挙できる。 4. 第一大臼歯の萌出を説明できる。 5. リーウェイスペースを理解し、その臨床的意味を説明できる。 [E-2-3)-②] 事前学習：歯列・咬合の発育について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
10月7日(金) 3,4限	田中良一教授 (歯科放射線学)	放射線基礎 放射線の種類、人体への影響、防護に関する知識を再確認する。 胸部エックス線写真を理解する。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から明らかになった放射線基礎の弱点項目を克服できる。 2. 胸部エックス線写真の正常像および疾患像を理解し説明できる。 [E-1-2)-①～⑤]
10月11日(火) 1,2限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	修復領域の必修&高正答率一般問題強化 ② 歯内領域問題の高正答範囲を抽出し、認識を再確認する。	1. 解説を通して修復領域の高正答問題を解くことができ確認認識することができる。 [E-3-3)-②] 事前学習：試験結果から自分の歯内領域における弱点を抽出して講義に臨むこと。
10月11日(火) 3限	深澤翔太講師 (補綴・インプラント学)	一般問題対策④ 知っておかなければいけない部分床義歯の基礎知識 症例に応じた人工歯排列・歯肉形成・ろう義歯試適・埋没重合・咬合調整・装着・患者指導の目的と治療の流れを理解する。	1. 人工歯選択と排列について説明できる。 2. ろう義歯試適について説明できる。 3. 埋没・重合について説明できる。 4. 咬合調整について説明できる。 5. 義歯装着について説明できる。 6. 患者指導について説明できる。 [E-3-4)-②)-⑨～⑭] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
10月11日(火) 4限	深澤翔太講師 (補綴・インプラント学)	一般問題対策⑤ 知っておかなければいけない有床義歯技工の基礎知識 義歯製作において必要な技工手順および使用器材、材料を理解する。	1. 義歯製作における各治療手順において必要な技工操作について説明できる。 2. 技工操作時に用いる器材および使用材料について説明できる。 [E-3-4)-②)-⑨～⑭] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

講義日程【C講義(10月20日～12月12日)】

復習試験：8：50～9：20、1限：9：30～10：35、2限：10：45～11：50、
3限：12：50～13：55、4限：14：05～15：10、5限：15：20～16：25

実習日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
10月20(木) 1限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	MIDに基づいた修復法を極める MI(ミニマルインターベンション)について説明できるようになる。	1. MIDで提唱する修復方法について説明できる。 2. 補修修復について説明できるようになる。 3. ART(非侵襲性修復技法)について説明できる。 4. ICDASについて説明できる。 5. G.V Blackの窩洞と接着修復の窩洞形態の違いを説明できる。 [E-3-3)-(1)-②] 事前学習：保存におけるエックス線読影についてA,B講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
10月20(木) 2限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	実力養成臨床実地(修復) 症例例から必要な診査、診断、処置方針を立案できる。 (臨床実地問題の解き方)	1. 症例写真、エックス線写真から必要な検査を説明できる。 2. 正しい診断を下すことができる。 3. 適切な処置方針を説明できる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：保存におけるエックス線読影について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
10月20(木) 3,4限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	コンポジットレジン修復の手順、器具を極める ① ② 頻出領域であるコンポジット修復の手順と使用する器具、補助法について理解する。	1. コンポジット修復の手順と使用する器具について説明する。 2. コンポジット修復に補助法について説明する。 [E-3-3)-(1)-①] DESS演習の準備をしておく。 事前学習：コンポジットレジン修復の手順、器具についてA,B講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
10月21(金) 1,2限	菅 徹也助教 (う蝕治療学)	実力養成臨床実地(歯内) 症例例から必要な診査、診断、処置方針を立案できる。 (臨床実地問題の解き方)	1. 症例写真、エックス線写真から必要な検査を説明できる。 2. 正しい診断を下すことができる。 3. 適切な処置方針を説明できる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：保存におけるエックス線読影について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
10月21日(金) 3限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	保隙の基準と装置選択 小児の保隙を行う際の診断基準と装置の選択基準を理解する。	1. 保隙を行う際の診断基準を症例に応じて説明できる。 2. 診断に基づいた適切な保隙装置の選択法を症例に応じて説明できる。 [E-4-2)-(8)、E-4-2)-(9)] 事前学習：保隙について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
10月21日(金) 4限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	歯の交換と歯列変化 小児の歯の交換と歯列の変化を総合的に理解する。	1. 乳歯から永久歯への交換とその各時点における歯列の変化を総合的に理解し説明できる。 [E-2-3)-(2)] 事前学習：歯の交換と歯列変化について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
10月22日(土) 1限	山田浩之教授 (口腔外科学)	嚢胞・腫瘍の手術法 嚢胞と腫瘍（良性・悪性）の手術法を修得する。	1. 嚢胞の手術法を説明できる。 2. 良性腫瘍の手術法を説明できる。 3. 悪性腫瘍の手術法を説明できる。 4. 嚢胞と腫瘍（良性・悪性）の手術法の適応を説明できる。 [E-2-4)-(8)-(1)~(7)] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p372-386を参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
10月22日(土) 2限	山田浩之教授 (口腔外科学)	弱点領域の強化1 口腔外科学における知識を強化する。	1. 総合試験、過去の国家試験等からみた口腔外科領域の弱点を強化することができる。 [E-2-4)-(8)-(1)~(7)] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p372-375を参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
10月26日(水) 1限	小川淳准教授 (口腔外科学)	歯原性腫瘍 口腔顎顔面領域に発生する歯原性腫瘍の分類、発生病因、診断、治療法を修得する。	1. 口腔顎顔面領域の歯原性腫瘍に関する一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。 [E-2-4)-(6)-(4)] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p292-327を参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
10月26日(水) 2限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	臨床実地① 弱点強化 可撤式装置に関する臨床実地問題について知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見てきた理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 [E-4-1)-(1)-(1)~(7)] 事前学習：到達目標について医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
10月26日(水) 3限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	臨床実地② 弱点強化 固定式装置に関する臨床 実地問題について知識を 強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試 験等の結果から見えてきた理解が不十分な 領域を説明し、強化することができる。 [E-4-1)-(1)-①~⑦] 事前学習：到達目標について医歯薬出版 歯 科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこ と。
10月26日(水) 4限	間山寿代准教授 (歯科矯正学)	弱点強化 4 模擬試験においてみえて きた矯正領域の弱点を認 識し、対策を立てることが できる。	2. 自分自身の弱点を認識し、自分なりの勉 強方法を構築することができる。 [E-4-1)-(1)-①~⑦] 事前学習：全国模試の解説書を持参するこ と。出題された内容に関して医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通すこと。
10月27日(木) 1限	齋藤裕美子助教 (補綴・インプ ラント学)	弱点領域の強化① クラウンブリッジの治療 の流れ、順序を再確認しよ う 1 鑄造冠 クラウンブリッジ補綴学 領域について知識を強化 できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬 試験等の結果から見えてきたクラウンブ リッジ補綴学領域に関する理解が不十分 な領域を説明し、強化することができる。 [E-3-4)-(1)]
10月27日(木) 2限	齋藤裕美子助教 (補綴・インプ ラント学)	弱点領域の強化② クラウンブリッジの治療 の流れ、順序を再確認しよ う 2 CAD/CAM冠 クラウンブリッジ補綴学 領域について知識を強化 できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬 試験等の結果から見えてきたクラウンブ リッジ補綴学領域に関する理解が不十分 な領域を説明し、強化することができる。 [E-3-4)-(1)]
10月27日(木) 3限	田邊憲昌准教授 (補綴・インプ ラント学)	弱点領域の強化③ 下顎運動と咬合器その 1 クラウンブリッジ補綴学 領域について知識を強化 できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬 試験等の結果から見えてきたクラウンブ リッジ補綴学領域に関する理解が不十分 な領域を説明し、強化することができる。 [E-3-4)-(1)]
10月27日(木) 4限	田邊憲昌准教授 (補綴・インプ ラント学)	弱点領域の強化④ 下顎運動と咬合器その 2 クラウンブリッジ補綴学 領域について知識を強化 できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬 試験等の結果から見えてきたクラウンブ リッジ補綴学領域に関する理解が不十分 な領域を説明し、強化することができる。 [E-3-4)-(1)]
10月28日(金) 1限	近藤尚知教授 (補綴・インプ ラント学)	口腔インプラント臨床 インプラント補綴 総論 インプラントオーバーデ ンチャーを理解する。	1. インプラントオーバーデンチャーの構造 について説明できる。 2. インプラントオーバーデンチャーの装 着、利点欠点について説明できる。 [E-3-4)-(3)] 事前学習：4・5年次に使用したレジメ、講 義ノートに目を通して講義に臨むこと。ま た、教科書の該当項目にも目を通すこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
10月28日(木) 2限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	口腔インプラント臨床 インプラントメンテナンスやインプラント周囲炎を理解する。	事前学習：4・5年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。また、教科書の該当項目にも目を通すこと。
10月28日(金) 3限	黒瀬雅之教授 (病態生理学)	生理学の苦手範囲克服(1) 生理学の苦手範囲の内容を理解する。	1. 総合試験・模擬試験で正答率が低かった問題について説明できる。 [C-3-4)-(4)-①～③、C-3-4-(5)-②～④、⑦～⑨、C-3-4)-(9)-①②] 事前学習：生理学の基本的事項について、1・2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
10月28日(金) 4限	黒瀬雅之教授 (病態生理学)	生理学の苦手範囲克服(2) 生理学の苦手範囲の内容を理解する。	1. 総合試験・模擬試験で正答率が低かった問題について説明できる。 [C-3-4)-(4)-①～③、C-3-4-(5)-②～④、⑦～⑨、C-3-4)-(9)-①②] 事前学習：生理学の基本的事項について、1・2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
10月31日(月) 1限	小川淳准教授 (口腔外科学)	神経疾患 顎口腔領域における神経に関する知識を修得する。	1. 三叉神経痛の症状および治療法について説明できる。 2. 舌咽神経痛の症状および治療法について説明できる。 3. 神経麻痺の特徴、症状および治療法を説明できる。 [E-2-4)-(7)-①②] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p149-173, 731-740 を参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
10月31日(月) 2限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	慢性疼痛 顎口腔領域の慢性疼痛に関しての症状、診断および治療法を修得する。	1. 顎顔面領域の疼痛の種類を列挙できる。 2. 慢性疼痛に関する診断と治療について説明できる。 [E-2-4)-(7)-①②、E-2-4)-(9)-①～④] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p412-441 を参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
10月31日(月) 3限	入江太朗教授 (病態解析学)	口腔病理学の一般・必修問題対策6 必修全国模試①(10月1日実施)の解説と重要な各種疾患の病態を理解する。	1. 到達度評価試験①・②、総合試験、復習試験、模擬試験の結果 から明らかになった弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 2. 病理学の意義を説明できる。 3. 病理学と臨床医学の関係を説明できる。 4. 内因について説明できる。 5. 外因について説明できる。 6. 病理検査法について説明できる。 7. 細胞診について説明できる。 8. 特殊検査法について説明できる。 9. 内分泌障害について説明できる。 [C-5-1)-①②] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習:スタンダード病理学 p1-13, p64-73を読み、疑問点を抽出しておくこと。
10月31日(月) 4限	佐藤泰生講師 (病態解析学)	口腔病理学の一般・必修問題対策7 到達度評価試験・総合試験・復習試験・模擬試験で判明した口腔病理学の得点率の低い弱点領域を認識するとともに、国家試験過去問の選択肢として使用された各種疾患の病態を正しく理解する。	1. 到達度評価試験①・②、総合試験、復習試験、模擬試験の結果 から明らかになった弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 2. 加齢と老化について説明できる。 3. 加齢に伴う歯と歯周組織の変化について説明できる。 4. 加齢に伴う顎骨と顎関節の変化について説明できる。 5. 加齢に伴う口腔軟組織の変化について説明できる。 6. 加齢に伴う唾液と唾液腺の変化について説明できる。 [E-2-3)-④] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習:新口腔病理学 p292-311を読み、疑問点を抽出しておくこと。
11月1日(火) 1限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	社会歯科まとめ1 社会歯科学関連の知識を強化する。	1. 社会歯科学分野の知識を補強し、自らにフィードバックできる。 [A-2-1)-①~⑤] 資料は事前にWebClassに提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
11月1日(火) 2限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	社会歯科まとめ2 社会歯科学関連の知識を強化する。	1. 社会歯科学分野の知識を補強し、自らにフィードバックできる。 [A-2-1)①-⑤] 資料は事前にWebClassに提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月1日(火) 3限	田邊憲昌准教授 (補綴・インプラント学)	弱点領域の強化⑤ クラウンブリッジの術後 トラブルその1 クラウンブリッジ補綴学 領域について知識を強化 できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬 試験等の結果から見えてきたクラウンブ リッジ補綴顎領域に関する理解が不十分 な領域を説明し、強化することができる。 [E-3-4)-(1)]
11月1日(火) 4限	田邊憲昌准教授 (補綴・インプラント学)	弱点領域の強化⑥ クラウンブリッジの術後 トラブルその2 クラウンブリッジ補綴学 領域について知識を強化 できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬 試験等の結果から見えてきたクラウンブ リッジ補綴学領域に関する理解が不十分 な領域を説明し、強化することができる。 [E-3-4)-(1)]
11月2日(水) 1限	深澤翔太講師 (補綴・インプラント学)	臨床実地対策① こうやって解く！全部床 義歯の臨床問題 全部床義歯症例への治療 法と問題に対する対応を 理解する。	1. 症例に対する治療法を説明できる。 2. 症例の問題点を挙げられる。 3. 症例の問題点への対応方法を説明できる。 [E-3-4)-(2)-①～⑭] 事前学習：講義内容について教科書と4年 次に使用したレジメ、講義ノートに目を通 して講義に臨むこと。
11月2日(水) 2限	深澤翔太講師 (補綴・インプラント学)	臨床実地対策② こうやって解く！部分床 義歯の臨床問題 部分床義歯症例への治療 法と問題に対する対応を 理解する。	1. 症例に対する治療法を説明できる。 2. 症例の問題点をあげられる。 3. 症例の問題点への対応方法を説明できる。 [E-3-4)-(2)-①～⑭] 事前学習：講義内容について教科書と4年 次に使用したレジメ、講義ノートに目を通 して講義に臨むこと。
11月2日(水) 3限	田邊憲昌准教授 (補綴・インプラント学)	弱点領域の強化⑦ 必修問題の解き方再確認 その1 クラウンブリッジ補綴学 領域について知識を強化 できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬 試験等の結果から見えてきたクラウンブ リッジ補綴学領域に関する理解が不十分 な領域を説明し、強化することができる。 [E-3-4)-(1)]
11月2日(水) 4限	田邊憲昌准教授 (補綴・インプラント学)	弱点領域の強化⑧ 必修問題の解き方再確認 その2 クラウンブリッジ補綴学 領域について知識を強化 できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬 試験等の結果から見えてきたクラウンブ リッジ補綴学領域に関する理解が不十分 な領域を説明し、強化することができる。 [E-3-4)-(1)]
11月4日(金) 1,2限	中里茉那美助教 (歯周療法学)	弱点領域の強化 歯周病の検査・診断と治 療、メンテナンス・SPT を強化する。	1. 歯周病の検査・診断と治療、メインテナ ンス・SPTにおける中～高正答率問題を 確実に答えることができる。 E-3-2)-③④⑤、E-3-3)-(3)-①②③⑤ 事前学習：歯周について3年次に使用したレ ジメ、講義ノート、6年次のA講義、過去5 年間の国家試験問題について再確認して から講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月4日(金) 3限	池崎晶二郎助教 (発生生物・再生 医学)	基礎から見た臨床問題を考える1 臨床的所見や病態を正常組織と関連付けて説明できるようになる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきた口腔組織・発生学領域と臨床的所見との関連問題について理解を整理し、学修の要点をまとめることができる。 [C-2~5、E-2~5] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集 I・IIについては各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。
11月4日(金) 4限	池崎晶二郎助教 (発生生物・再生 医学)	基礎から見た臨床問題を考える2 臨床的所見や病態を正常組織と関連付けて説明できるようになる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきた口腔組織・発生学領域と臨床的所見との関連問題について理解を整理し、学修の要点をまとめることができる。 [C-2~5、E-2~5] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集 I・IIについては各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。
11月5日(土) 1限	大石泰子助教 (予防歯科学)	社会歯科まとめ3 社会歯科学関連の知識を強化する。	1. 社会歯科学分野の知識を補強し、自らにフィードバックできる。 [A-2-1)-①~⑤] 資料は事前に WebCl ass に提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
11月5日(土) 2限	大石泰子助教 (予防歯科学)	社会歯科まとめ4 社会歯科学関連の知識を強化する。	1. 社会歯科学分野の知識を補強し、自らにフィードバックできる。 [A-2-1)-①~⑤] 資料は事前に WebCl ass に提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
11月7日(月) 1限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	手術療法総まとめ 口腔外科領域における手術療法に関する知識を修得する。	1. 口腔外科手術療法について修得する。 2. 一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。 [E-1-5)-①~⑩] 事前学習：口腔外科領域の手術療法に関する疑問点についてレポート用紙半分程度のレポートを WebCl ass にアップロードしておく。
11月7日(月) 2限	古城慎太郎講師 (口腔外科学)	手術機械器具総まとめ 小手術 口腔外科領域における手術機械器具・滅菌消毒に関する知識を修得する。 口腔外科領域で行われる小手術に関する知識を修得する。	1. 口腔外科領域で使用する器械、器具について説明できる。 2. 口腔外科領域で使用する器械、器具の滅菌消毒法について説明できる。 3. 一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。 4. 口腔外科領域で行われる小手術について説明できる。 5. 抜歯に関する一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。 [E-1-5)-①~⑩]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
			事前学習：口腔外科領域の手術機械、器具、滅菌、消毒に関する疑問点についてレポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
11月7日 (月) 3,4限	田村晴希講師 (病態制御学)	薬理学必修強化対策 薬理学、臨床薬理学全般について弱点領域の知識を強化し、理解する。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、復習試験などからみえてきた弱点領域の知識を整理し、説明できる。 [C-6-1)-①～③、C-6-2)-①～⑤、C-6-3)-①②、C-6-4)-①②] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する問題について学習しておくこと。
11月8日(火) 1限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	計算問題演習1 種々の計算問題に対応する。	1. 様々な疫学指標を算出できる。 2. リスク指標を算出できる。 [B-4-2)-①④] 事前学習：国家試験等の当該計算問題を演習しておくこと。
11月8日(火) 2限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	計算問題演習2 種々の計算問題に対応する。	1. フッ化物の急性中毒量を算出できる。 2. 人口統計指標を算出できる。 3. スクリーニングの指標を算出できる。 [B-3-2)-②、B-4-2)-①④] 事前学習：国家試験等の当該計算問題を演習しておくこと。
11月8日(火) 3,4限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	弱点領域の強化 歯周形成外科および根分岐部病変を強化する。	1. 歯周形成外科および根分岐部病変における中～高正答率問題を確実に答えることができる。 E-3-2)-③④、E-3-3)-(3)-①～⑤ 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノート、6年次のA講義、過去5年間の国家試験問題について再確認してから講義に臨むこと。
11月9日(水) 1限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	災害歯科医療 災害時の歯科医師の役割を理解できる。	1. 災害医療に関わる法律について説明できる。 2. 平時と災害時の歯科医療の違いを説明できる。 3. 多職種による災害時対応の意義を説明できる。 4. 災害傷病者のトリアージについて説明できる。 5. 災害被災者や犠牲者に対する歯科医師の役割を説明できる。 [A-7-1)-⑥] [B-2-2)-⑨] [B-2-3)-①②] 事前学習：法歯科医学 p173-182 を読み、疑問点を抽出しておくこと(30分を要する)。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月9日(水) 2限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口 腔医学)	法医歯科学 法科学領域における歯科 の役割と歯科的個人識別 の意義を理解できる。	1. 歯科医師の法的責任を説明できる。 2. 死の判定について説明できる。 3. 死体の解剖に関する事項について説明で きる。 4. 死後変化を説明できる。 5. 身元確認、死因究明に関する法律を説明 できる。 6. 歯科的個人識別法を説明できる。 7. 身元不明死体の年齢推定方法を説明でき る。 [A-1-1)-③] [A-1-3)-④] [B-2-3)-①②] [C-5-7)-①] 事前学習：法歯科医学 p6-21, p86-90, p104-135, p142-161 を読み、疑問点を抽出 しておくこと(60分を要する)。
11月9日(水) 3限	服部雅之 客員教授 (医療工学)	歯科理工学-必修に必要な 基礎知識の再確認① 歯科材料の基本的知識を 整理する。	1. 歯科材料の基本的知識について説明でき る。 [D-1、D-2] 事前学習：2・3年次に使用した教科書(スタ ンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レ ジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこ と。A講義、B講義のレジメと復習試験の問題 をピックアップしておく。講義中随時知識確 認のための質問とフィードバックを行う。
11月9日(水) 4限	服部雅之 客員教授 (医療工学)	歯科理工学-必修に必要な 基礎知識の再確認② 歯科材料の基本的知識を 整理する。	1. 歯科材料の基本的知識について説明でき る。 [D-1、D-2] 事前学習：2・3年次に使用した教科書(スタ ンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レ ジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこ と。A講義、B講義のレジメと復習試験の問題 をピックアップしておく。講義中随時知識確 認のための質問とフィードバックを行う。
11月10日(木) 1, 2限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	弱点領域の強化 必修問題領域、一般問題 (総論)領域について知識 を強化できる。	1. 全身の症候を説明できる。 2. 全身的偶発症の原因を説明できる。 3. 輸液療法、輸血療法について説明できる。 4. 全身管理に留意すべき疾患を説明でき る。 [E-6-②、E-1-6)-①、E-1-4)] 5. 局所麻酔薬・血管収縮薬を説明できる。 6. 吸入麻酔薬、静脈麻酔薬を説明できる。 7. 筋弛緩薬とその拮抗薬を説明できる。 8. 術前管理と麻酔前投薬を説明できる。 9. 術中・術後のモニタリングを説明できる。 [E-1-4)-(3)、(4)、E-1-5)-⑩] 事前学習：全身疾患、偶発症、周術期に使用 する薬剤について永末書店 第6版 臨床 歯科麻酔学、今年度A,B講義に使用したレ ジュメに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月10日(木) 3限	藤原尚樹教授 (機能形態学)	骨学・筋学と画像解剖学 1 エックス線像やCTから構造を読み取る際に必要な骨と筋の構造を理解する。	1. エックス線やCTでみられる画像と骨形態との関係を説明できる。 2. エックス線やCTでみられる画像と筋および筋隙の関係を説明できる。 3. エックス線や造影CTに現れる脈管を解剖学的構造に当てはめて説明できる。 [E-1-2]-⑦ [E-2-1]-②、③] 配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。 事前学習：総合講義A、Bの該当領域の資料を復習し、理解が不確実な項目およびDESSの関連問題をまとめておくこと。講義でその関連事項を含めフィードバックする。
11月10日(木) 4限	藤原尚樹教授 (機能形態学)	骨学・筋学と画像解剖学 2 エックス線像やCTから構造を読み取る際に必要な骨と筋の構造を理解する。	1. エックス線やCTでみられる画像と骨形態との関係を説明できる。 2. エックス線やCTでみられる画像と筋および筋隙の関係を説明できる。 エックス線や造影CTに現れる脈管を解剖学的構造に当てはめて説明できる。 [E-1-2]-⑦ [E-2-1]-②、③] 配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。 事前学習：総合講義A、Bの該当領域の資料を復習し、理解が不確実な項目およびDESSの関連問題をまとめておくこと。講義でその関連事項を含めフィードバックする。
11月11日(金) 1限	佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	一般対策① 一般問題に頻出する基礎的知識の整理 (概論～精密印象採得) 義歯製作に必要な基礎的知識を理解する。	1. 診査、概形印象から精密印象までの治療時の要点を説明できる。 [E-3-4)-(2)-①～⑥] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
11月11日(金) 2限	佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	一般対策② 一般問題に頻出する基礎的知識の整理 (咬合採得～義歯装着) 義歯製作に必要な基礎的知識を理解する。	1. 咬合採得から義歯装着までの治療時の要点を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑦～⑬] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
11月11日(金) 3限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	弱点領域の強化⑨ セラミック材料による歯冠補綴のポイント クラウンブリッジ補綴学領域について知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見てきたクラウンブリッジ補綴学領域に関する理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 [E-3-4)-(1)]
11月11日(金) 4限	齋藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	弱点領域の強化⑩ クラウンブリッジの接着のポイント クラウンブリッジ補綴学領域について知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見てきたクラウンブリッジ補綴学領域に関する理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 [E-3-4)-(1)]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月14日(月) 1限	山田浩之教授 (口腔外科学)	弱点領域の強化2 口腔外科学における知識を強化する。	1. 総合試験、過去の国家試験等からみた口腔外科領域の弱点を強化することができる。 [E-2-4)-(8)-①～⑦] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p378-381, 828-832 を参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
11月14日(月) 2限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	血液疾患 血液疾患・抗血栓療法に関する知識を修得する。	1. 血液疾患に関する一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。 [E-2-4)-(6)-④] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p292-327 を参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
11月14日(月) 3, 4限	石河太知講師 (分子微生物学)	重点講義 微生物学・免疫学領域全般について知識を強化し、理解を深める。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきた微生物学・免疫学領域に関する理解が不十分な領域を説明できる。 [A-5-3]-①, ②, C-3-1]-①～③, ⑥, C-3-2]-①～⑦, E-2-4)-(9)-②, ③, E-1-4)-⑥, ⑧, E-2-4)-(3)-①, E-3-2]-①～⑤] アクティブラーニング：ディスカッション方式の講義を行う。 ICT：講義前後に講義内容に準じる領域の DESS 演習を行うこと。 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学習しておくこと。
11月15日(火) 1, 2限	村井治助教 (歯周療法学)	弱点領域の強化 歯周基本治療を強化する。	1. 歯周基本治療における中～高正答率問題を確実に答えることができる。 E-3-2)-④⑤、E-3-3)-(3)-①②③⑤ 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノート、6年次のA講義、過去5年間の国家試験問題について再確認してから講義に臨むこと。
11月15日(火) 3限	大石泰子助教 (予防歯科学)	臨床予防歯科学まとめ1 臨床予防歯科学関連の知識を強化する。	1. 臨床予防歯科学分野の知識を補強し、自らにフィードバックできる。 [A-2-1)①-⑤] 資料は事前に WebClass に提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
11月15日(火) 4限	大石泰子助教 (予防歯科学)	臨床予防歯科学まとめ2 臨床予防歯科学関連の知識を強化する。	1. 臨床予防歯科学分野の知識を補強し、自らにフィードバックできる。 [A-2-1)①-⑤] 資料は事前に WebClass に提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月16日(水) 1限	千葉俊美教授 (関連医学)	個体の死、医療事故 個体の死、医療事故について理解を深める。	1. 個体の死、医療事故について理解を深め説明できる。 [A-6-2] 事前学習：内科学に関する過去の講義資料を確認し講義に臨むこと。 事後学習：講義に関する国家試験問題を解きまとめること。
11月16日(水) 2限	千葉俊美教授 (関連医学)	血液検査の読み方 血液検査の読み方について理解する。	1. 血液検査の読み方を理解し説明できる。 [E-1-3)-⑤] 事前学習：内科学に関する過去の講義資料を確認し講義に臨むこと。 事後学習：講義に関する国家試験問題を解きまとめること。
11月16日(水) 3限	衣斐美歩講師 (病態解析学)	口腔病理学の一般・必修問題対策 9 到達度評価試験・総合試験・復習試験・模擬試験で判明した口腔病理学の得点率の低い弱点領域を認識するとともに、国家試験過去問の選択肢として使用された各種疾患の病態を正しく理解する。	1. 到達度評価試験、総合試験、復習試験、模擬試験の結果から明らかになった弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 2. 細胞傷害をきたす因子について説明できる。 3. 細胞傷害の機序と形態学的変化について説明できる。 4. 空胞変性、脂肪変性、好酸性変性、硝子様変性、硝子滴変性、フィブリノイド変性、角質変性、粘液変性について説明できる。 5. 壊死とアポトーシスについて説明できる。 6. 萎縮について説明できる。 [C-5-2)-①～③] 事前学習：要説病理学総論 p18-47 あるいはスタンダード病理学 p14-41 を読み、疑問点を抽出しておくこと。
11月16日(水) 4限	佐藤泰生講師 (病態解析学)	口腔病理学の一般・必修問題対策 10 到達度評価試験・総合試験・復習試験・模擬試験で判明した口腔病理学の得点率の低い弱点領域を認識するとともに、国家試験過去問の選択肢として使用された各種疾患の病態を正しく理解する。	1. 到達度評価試験、総合試験、復習試験、模擬試験の結果 から明らかになった弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 2. ウイルス感染症について説明できる。 3. 細菌性感染症について説明できる。 4. 内分泌代謝障害について説明できる。 5. 栄養障害について説明できる。 6. 細胞診について説明できる。 7. 組織診について説明できる。 [E-2-4)-(10)-⑧, ⑨, E-6-②] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：新口腔病理学 p312-330 を読み、疑問点を抽出しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月17日(木) 1限	小川淳准教授 (口腔外科学)	非歯原性腫瘍 口腔顎顔面領域に発生する歯原性腫瘍の分類、発生病因、診断、治療法を修得する。	1. 口腔顎顔面領域の非歯原性腫瘍に関する一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。 [E-2-4)-(6)-④] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p292-327を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
11月17日(木) 2限	大橋祐生講師 (口腔外科学)	再建法 軟組織・硬組織、遊離皮弁と有形皮弁を使用した再建法についての知識を修得する。	1. 口腔顎顔面領域の再建法に関する一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。 [E-2-4)-(6)-④] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p292-327を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
11月17日(木) 3限	武本真治教授 (医療工学)	歯科理工学-苦手克服のための復習講義① 歯科材料の基本的知識を整理する。	1. 歯科材料の基本的知識について説明できる。 [D-1、D-2] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。A講義、B講義のレジメと復習試験の問題をピックアップしておく。講義中随時知識確認のための質問とフィードバックを行う。
11月17日(木) 4限	武本真治教授 (医療工学)	歯科理工学-苦手克服のための復習講義② 歯科材料の基本的知識を整理する。	1. 歯科材料の基本的知識について説明できる。 [D-1、D-2] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。A講義、B講義のレジメと復習試験の問題をピックアップしておく。講義中随時知識確認のための質問とフィードバックを行う。
11月18日(月) 1,2限	泉澤充准教授 (歯科放射線学)	CT・MRI・US 検査 顎顔面領域の適切な診断を行うため、各種診断装置の原理と適応に関する知識を再確認する。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から明らかになった以下の弱点項目を克服できる。 CT、MRI、US、PET、シンチグラフィ [E-1-2)-⑨]
11月18日(金) 3限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	弱点領域の強化 生化学領域について知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきた生化学領域に関する理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 [C-1-1)、C-2-1)、C-2-2)、C-2-3)、C-2-4)、C-3-4)-(2)、C-3-4)-(4)、C-5-5)、C-5-6)、E-3-2)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：総合試験や到達度評価試験の生化学関連問題を見直して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月18日(金) 4限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	弱点領域の強化 生化学領域について知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきた生化学領域に関する理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 [C-1-1)、C-2-1)、C-2-2)、C-2-3)、C-2-4)、C-3-4)-(2)、C-3-4)-(4)、C-5-5)、C-5-6)、E-3-2)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：総合試験や到達度評価試験の生化学関連問題を見直して講義に臨むこと。
11月21日(月) 1限	鬼原英道教授 島崎伸子 (補綴・インプラント学)	顎補綴対策① 顎義歯の特徴、適応、製作方法を理解する。	1. 顎義歯の適応症およびその病態を説明できる。 2. 顎義歯の特徴を説明できる。 3. 顎義歯の製作方法を説明できる。 4. 顎義歯の治療効果を説明できる。 [E-3-4)-(2)-②③] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
11月21日(月) 2限	鬼原英道教授 島崎伸子 (補綴・インプラント学)	顎補綴対策② 顎義歯の特徴、適応、製作方法を理解する。	1. 顎義歯の適応症およびその病態を説明できる。 2. 顎義歯の特徴を説明できる。 3. 顎義歯の製作方法を説明できる。 4. 顎義歯の治療効果を説明できる。 [E-3-4)-(2)-②③] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
11月21日(月) 3限	山谷元気講師 (口腔外科学)	外傷 顎顔面領域の外傷についての知識を修得する	1. 口腔顎顔面領域の外傷に関する一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。 [E-2-4)-(6)-④] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p292-3を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく
11月21日(月) 4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学))	歯内療法学(根未完成歯・外傷歯の歯内療法) 根未完成歯・外傷歯の歯内療法の基本術式について説明できるようになる。	1. 根未完成歯の歯内療法の目的を説明できる。 2. アペキソゲネーシスについて説明できる。 3. アペキシフィケーションについて説明できる。 4. 歯冠破折歯の分類、術式を説明できる。 5. 内部吸収について説明できる。 6. 外部吸収について説明できる。 [E-3-1)、E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習：歯内療法学第10章を熟読しアペキシフィケーションとアペキソゲネーシスの違いについてまとめておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月22日(金) 1限	泉澤充准教授 (歯科放射線学)	放射線治療 口腔癌の放射線治療に関する国試一般問題について理解する。	1. 口腔癌の放射線治療の方法と口腔の管理を修得できる。 [E-1-2)-(1)~(3)、E-2-4)-(6)-(3)]
11月22日(火) 2限	川井忠講師 (口腔外科学)	粘膜疾患 口腔領域に発生する粘膜疾患(感染症を含む)に関する知識を修得する。	1. 口腔粘膜疾患に関する一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。 [E-2-4)-(6)-(4)] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p292-327を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
11月22日(火) 3限	川井忠講師 (口腔外科学)	唾液腺疾患 唾液腺疾患に関する知識を修得する。	1. 唾液腺疾患に関する一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。 [E-2-4)-(6)-(4)] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p292-327を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
11月22日(火) 4限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	高齢者、有病者の歯科治療 高齢者の歯科治療時の注意点を、修復処置時のトラブルについて理解する。	1. 修復、歯内処置時に起こるトラブルを説明できる。 2. 高齢者、有病者の歯科治療時の注意点を説明できる。 [E-3-3)-(1)] 事前学習：高齢者、有病者の歯科治療についてA,B講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
11月24日(木) 1限	小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学)	摂食嚥下リハビリテーション⑧ 摂食嚥下障害に対する歯科の対応・補綴的対応	1. PAP・PLPを説明できる。 2. 補綴的対応以外の歯科の対応について説明できる。 [E-2-4)-(11)-(2)、E-5-1)-(5)~(10)] 事前学習：歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 p196~212を読み、疑問点をまとめておくこと。
11月24日(木) 2限	小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学)	訪問歯科診療① 訪問歯科診療における患者対応について理解する。	1. 訪問歯科診療を行う上での医療制度を説明できる。 2. 要介護高齢者の歯科治療時の注意点を説明できる。 3. 訪問診療に必要な機材を説明できる。 [A-7-1)-(5)、E-5-1)-(7)、F-3-7)-(1)、(3)] 事前学習：老年歯科医学 p1~47を読み、疑問点をまとめておくこと。
11月24日(木) 3,4限	鈴木啓太助教 (歯周療法学)	弱点領域の強化 特に高頻出項目である歯周病の疫学およびペリオドンタルメディシンを強化する。	1. 歯周病の疫学、ペリオドンタルメディシンにおける中～高正答率問題を確実に答えることができる。 E-3-2)-(3)(4)、E-3-3)-(3)-(1)~(5) 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノート、6年次のA講義、過去5年間の国家試験問題について再確認してから講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月25日 (金) 1,2限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	過去問低回答率問題の解析 国家試験模擬試験問題で正答率の低かった項目を探り出し、再度理解を深める。	1. 国家試験過去問の低正答率問題の理解不足であった点を列挙できる。 2. 理解不足であった項目について改めて、理解し説明できる。 [E-4-2)-①~⑫] 事前学習：過去5年分の小児歯科領域の国家試験問題を確認しておく。(60分を要する。) アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
11月25日 (金) 3,4限	泉澤充准教授 (歯科放射線学)	画像診断1~3のまとめ 口腔領域の画像診断について修得する。	1. 以下の疾患の画像所見について説明できる。 歯原性腫瘍、非歯原性腫瘍、歯原性嚢胞、非歯原性嚢胞、上顎洞疾患、口腔領域の悪性腫瘍、口腔領域の炎症、骨折、唾液腺疾患、顎関節症、骨系統新患 [E-2-4)-(2)-①③④、E-2-4)-(5)-①②、E-2-4)-(6)-①②、E-2-4)-(7)-①②、E-2-4)-(8)-②~⑦、E-2-4)-(10)-⑤~⑨]
11月28日(月) 1限	小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学)	訪問歯科診療② 訪問歯科診療における臨床的対応について理解する。	1. 在宅患者の全身評価ができる。 2. 医科担当医との情報交換ができる。 3. 介護職員との情報交換ができる。 [E-5-1)-①、②、⑦、F-3-7)-①、③] 事前学習：老年歯科医学 p 141~164、p 262~298、歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 p 223~233 を読み、疑問点をまとめておくこと。
11月28日(月) 2限	小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学)	摂食嚥下リハビリテーション⑨ 歯科診療③ 訪問歯科診療で遭遇する疾患について理解する。	1. 訪問診療を必要とする疾患を説明できる。 2. 訪問診療を必要とする疾患を持つ患者への対応を説明できる。 [E-2-4)-(11)-②⑤、E-5-1)-④⑥] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：老年歯科医学 p 353~429、歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 p 236~273 を読み、疑問点をまとめておくこと。
11月28日(月) 3,4限	熊谷美保准教授 (障害者歯科学)	弱点強化 障害者歯科領域での弱点を抽出し、理解する。	1. 行動調整および主な障害、症候群で得た知識を説明できる。 [B-2-2)-①、E-5-2)-①~④、E-2-4)-(10)-⑤⑥] 事前学習：教科書 p208~244、p40~105、p163~205 を読み、まとめておく。
11月29日(火) 1限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	疫学・公衆衛生まとめ1 疫学・公衆衛生学関連の知識を強化する。	1. 疫学・公衆衛生学分野の知識を補強し、自らにフィードバックできる。 [A-2-1)-①~⑤] 資料は事前に WebClass に提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月29日(火) 2限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	疫学・公衆衛生まとめ2 疫学・公衆衛生学関連の知識を強化する。	1. 疫学・公衆衛生学分野の知識を補強し、自らにフィードバックできる。 [A-2-1)-①～⑤] 資料は事前に WebClass に提示する。 資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
11月29日(火) 3限	大石泰子助教 (予防歯科学)	復習試験、総合試験からみた弱点強化	1. 復習試験、総合試験の結果を自らにフィードバックし、学習課題の順位付けができる。 [A-2-1)-①～⑤] 事前学習：復習試験、総合試験解説講義資料を見直しておくこと。
11月30日(水) 1限	佐藤和朗教授 (歯科矯正学)	臨床実地③ 弱点強化 マルチブラケット装置装置に関する臨床実地問題について知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見てきた理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 [E-4-1)-(1)-①～⑦] 事前学習：到達目標について医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
11月30日(水) 2限	佐藤和朗教授 (歯科矯正学)	臨床実地④ 弱点強化 外科矯正治療に関する臨床実地問題について知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見てきた理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 [E-4-1)-(1)-①～⑦] 事前学習：到達目標について医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
11月30日(水) 3限	橋口大輔助教 (小児歯科学)	歯髄処置 pul と per 乳歯の歯髄炎と歯周炎の鑑別を総合的に理解する。	1. 歯髄炎の処置法である生活歯髄切断法と抜髄法の鑑別診断基準を臨床的に説明できる。 2. 歯周炎の処置法である感染根管治療法と抜歯の鑑別診断基準を臨床的に説明できる。 [E-4-2)-④⑤] 事前学習：乳歯の歯髄炎と歯周炎について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月30日(水) 4限	橋口大輔助教 (小児歯科学)	小児歯科実力テスト 60問 これまでの講義内容の理解度を自己診断する。	1. 小児歯科学のすべての範囲を網羅する試験を行い自分の理解不足の項目を列挙できる。 [E-4-2)-①~⑫] 事前学習：6年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
12月1日(木) 1限	藤原尚樹教授 (機能形態学)	骨学総復習 頭蓋底に視られる管・孔・裂・隙と神経・脈管の走行との関係を理解する。	1. 内・外頭蓋底を構成する骨の立体的配置と各骨が持つ管・孔・裂・隙と脈管・神経の関係について説明できる。 2. 翼口蓋窩、下眼窩裂を走行する脈管・神経を説明できる。 [E-2-1)-②、③、⑤] 配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。 事前学習：総合講義A・Bの該当領域の資料を復習し、理解が不確実な項目およびDESSの関連問題をまとめておくこと。講義でその関連事項を含めフィードバックする。
12月1日(木) 2限	藤原尚樹教授 (機能形態学)	外頸動脈の枝、特に顎動脈の走行経路 総頸動脈から分岐する内頸動脈、外頸動脈それぞれの走行について理解する。 顎動脈の走行と分布範囲について理解する。	1. 外頸動脈の走行について説明できる。 2. 顎動脈の走行経路と分布範囲について説明できる。 3. 口蓋や上顎の歯に向かう動脈の走行経路について説明できる。 [E-2-1)-②③⑥⑪, E-2-2]-⑥, E-3-1]-②] 配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。 事前学習：総合講義A・Bの該当領域の資料を復習し、理解が不確実な項目およびDESSの関連問題をまとめておくこと。講義でその関連事項を含めフィードバックする。
12月1日(木) 3, 4限	下山佑准教授 (分子微生物学)	重点講義 微生物学・免疫学領域全般について知識を強化し、理解を深める。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見てきた微生物学・免疫学領域に関する理解が不十分な領域を説明できる。 [A-5-3]-①, ②, C-3-1]-①~③, ⑥, C-3-2]-①~⑦, E-2-4)-(9)-②, ③, E-1-4)-⑥, ⑧, E-2-4)-(3)-①, E-3-2]-①~⑤] アクティブラーニング：ディスカッション方式の講義を行う。 ICT：講義前後に講義内容に準じる領域のDESS演習を行うこと。 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学習しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
12月2日(金) 1, 2, 3, 4 限	織田展輔 非常勤講師	1日で極める有床義歯の 頻出ポイント 義歯製作に必要な知識と 手技を理解する。	1. 義歯製作のための基礎知識を説明できる。 2. 義歯製作のための手順を説明できる。 [E-3-4)-(2)-①～⑭] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
12月3日(土) 1, 2 限	田中良一教授 (歯科放射線学)	放射線基礎 放射線物理、撮影の基礎等 について再確認し、知識を 補強する。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から明らかになった以下の弱点項目を克服できる。 エックス線の性質、エックス線の発生原理、エックス線管の構造、線質と相互作用、コントラスト、フィルムと現像処理 [E-1-2)-④～⑨]
12月5日(月) 1 限	間山寿代准教授 (歯科矯正学)	弱点強化 5 模擬試験においてみえてきた矯正領域の弱点を認識し、対策を立てることができる。	1. 自分自身の弱点を認識し、自分なりの勉強方法を構築することができる。 [E-4-1)-(1)-①～⑦] 事前学習：全国模試の解説書を持参すること。出題された内容に関して医歯薬出版歯科矯正学、講義ノートに目を通すこと。
12月5日(月) 2 限	橋口大輔助教 (小児歯科学)	低正答率問題の解析① 理解度の低かった項目を探り出し、再度理解を深める。	1. 低正答率問題の理解不足であった点を列挙できる。 2. 理解不足であった項目について改めて、理解し説明できる。 [E-4-2)-①～⑫] 事前学習：11月30日に実施した小児歯科実力テストの内容について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
12月5日(月) 3 限	橋口大輔助教 (小児歯科学)	低正答率問題の解析② 理解度の低かった項目を探り出し、再度理解を深める。	1. 低正答率問題の理解不足であった点を列挙できる。 2. 理解不足であった項目について改めて、理解し説明できる。 [E-4-2)-①～⑫] 事前学習：11月30日に実施した小児歯科実力テストの内容について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
12月5日(月) 4限	橋口大輔助教 (小児歯科学)	低正答率問題の解析③ 理解度の低かった項目を 探し出し、再度理解を深め る。	1. 低正答率問題の理解不足であった点を列 挙できる。 2. 理解不足であった項目について改めて、 理解し説明できる。 [E-4-2)-①~⑫] 事前学習: 11月30日に実施した小児歯科実 力テストの内容について教科書、4年次に使用 したレジメ、講義ノートに目を通して講義 に臨むこと。 アクティブラーニング: 講義中に教員との ディスカッションの機会を設ける。
12月6日(火) 1限	川井忠講師 (口腔外科学)	顎関節疾患 顎関節疾患に関する知識 を修得する。	1. 顎関節疾患に関する一般・臨床実地問題 を確実に答えることができる。 [E-2-4)-(6)-④] 事前学習: 最新口腔外科学第5版 p292-327 を参照し、レポート用紙半分程度のレポー トを WebCl ass にアップロードしておく。
12月6日(火) 2限	山田浩之教授 (口腔外科学)	炎症 顎口腔の炎症 顎骨・骨髄炎、全身菌性感染 症に関する知識を修得す る。	1. 顎口腔の炎症に関する一般・臨床実地問題 を確実に答えることができる。 [E-2-4)-(6)-④] 事前学習: 最新口腔外科学第5版 p292-327 を参照し、レポート用紙半分程度のレポー トを WebCl ass にアップロードしておく。
12月6日(火) 3限	小野寺慧助教 (口腔外科学)	口唇裂・口蓋裂 口唇裂・口蓋裂(機能検査 を含む)に関する知識を修 得する	1. 口唇裂・口蓋裂に関する一般・臨床実地 問題を確実に答えることができる。 [E-2-4)-(6)-④] 事前学習: 最新口腔外科学第5版 p292-327 を参照し、レポート用紙半分程度のレポー トを WebCl ass にアップロードしておく。
12月6日(火) 4限	小川淳准教授 (口腔外科学)	全身疾患と口腔 口腔内に症状を呈する全 身疾患(症候群を含む)に ついての知識を修得する。	1. 全身疾患と口腔に関する一般・臨床実地 問題を確実に答えることができる。 [E-2-4)-(6)-④] 事前学習: 最新口腔外科学第5版 p292-327 を参照し、レポート用紙半分程度のレポー トを WebCl ass にアップロードしておく。
12月7日(水) 1限	千葉俊美教授 (関連医学)	復習講義重要点 1 重要な疾患についてさら に理解を深める。	1. 重要な疾患について実際の試験問題をふ まえ理解を深める。 [E-6-②] 事前学習: 内科学に関する過去の講義資料 を確認し講義に臨むこと。 事後学習: 講義に関する国家試験問題を解 きまとめること。
12月7日(水) 2限	千葉俊美教授 (関連医学)	復習講義重要点 2 重要な疾患についてさら に理解を深める。	1. 重要な疾患について実際の試験問題をふ まえ理解を深める。 [E-6-②] 事前学習: 内科学に関する過去の講義資料 を確認し講義に臨むこと。 事後学習: 講義に関する国家試験問題を解 きまとめること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
12月7日(水) 3, 4限	四戸 豊講師 (歯科麻酔学)	弱点領域の強化 一般問題(各論)領域、臨床 実地問題領域について知 識を強化できる。	1. 全身管理に留意すべき全身疾患を説明で きる。 2. 歯科における全身的偶発症を説明でき る。 3. 歯科治療時の患者管理を説明できる。 4. 心電図を説明できる。 [E-6-②、 E-1-6)-①、 E-1-4)] 事前学習：全身疾患、周術期管理について 永末書店 第6版 臨床歯科麻酔学、今年度 A, B 講義に使用したレジュメに目を通して 講義に臨むこと。
12月8日(木) 1, 2, 3, 4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	歯内ポイント総まとめ 歯内・領域の重要項目を説 明できる。	1. 歯内領域の重要項目について説明できる。 [E-3-3)-(1)、E-3-3)-(2)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：試験結果から自分の修復、 歯内領域における弱点を抽出して講 義に臨むこと。
12月9日(金) 1, 2, 3, 4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	修復重要ポイント総まと め 歯内・修復領域の重要項目 を説明できる。	1. (歯内領域の重要項目について説明でき る。) 2. 修復領域の重要項目について説明できる。 [E-3-3)-(1)、E-3-3)-(2)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：試験結果から自分の修復、歯内 領域における弱点を抽出して講義に臨むこ と。
12月12日(月) 1限	田邊憲昌准教授 (補綴・インプ ラント学)	弱点領域の強化① 最新のクラウン治療のポ イント クラウンブリッジ補綴学 領域について知識を強化 できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬 試験等の結果から見てきたクラウンブ リッジ補綴学領域に関する理解が不十分 な領域を説明し、強化することができる。 [E-3-4)-(1)]
12月12日(月) 2, 3限	下山佑准教授 (分子微生物学)	重点講義 微生物学・免疫学領域全般 について知識を強化し、理 解を深める。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬 試験等の結果から見てきた微生物学・ 免疫学領域に関する理解が不十分な領域 を説明できる。 [A-5-3]-①, ②, C-3-1]-①~③, ⑥, C-3-2]- ①~⑦, E-2-4)-(9)-②, ③, E-1-4)-⑥, ⑧, E-2-4)-(3)-①, E-3-2]-①~⑤] アクティブラーニング：ディスカッション 方式の講義を行う。 ICT：講義前後に講義内容に準じる領域の DESS 演習を行うこと。 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物 学・免疫学に関連する問題について学習し ておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
12月12日(月) 4限	高藤恭子助教 (補綴・インプラント学)	口腔インプラント総論	1. インプラント治療に関連する総合試験対策 [E-3-4)-(3)、D-2-⑧] 事前学習：4・5年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。また、教科書の該当項目にも目を通すこと。

講義日程【選抜講義 1(8月3日～8月9日)】

1限：8：40～9：40、2限：9：50～10：50、3限：11：00～12：00、

4限：13：00～14：00、5限：14：10～15：10、6限：15：20～16：20

実習日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
8月3日(水) 1限	橋口大輔助教 (小児歯科学)	小児歯科弱点領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 小児歯科領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。 [E-4-2)-①～⑫] 事前学習：復習試験の小児歯科領域問題を確認しておく。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
8月3日(水) 2限	熊谷美保准教授 (障害者歯科学)	復習試験問題の弱点領域の強化 復習試験での弱点領域を整理し、関連領域の知識も総合的に理解する。	1. 障害者歯科領域の復習試験問題を確実に答えることができる。 [B-2-2)-①、E-5-2)-①～④] 事前学習：障害者歯科復習試験問題を見直して疑問点を抽出しておく。
8月3日(水) 4限	滝沢尚希助教 (歯周療法学)	復習試験問題の弱点補強 復習試験の結果から弱点領域の理解を深める。	1. 歯周領域の復習試験問題を確実に答えることができる。 E-3-2)-③④⑤、E-3-3)-(3)-①～⑤] 事前学習：歯周領域の復習試験問題を再度復習し、疑問点を抽出して講義に臨むこと。
8月3日(水) 5限	衣斐美歩講師 (病態解析学)	顎・口腔領域の疾患3 到達度評価試験・総合試験・復習試験・模擬試験で判明した口腔病理学の得点率の低い弱点領域を認識するとともに、国家試験過去問の選択肢として使用された各種疾患の病態を正しく理解する。	1. 到達度評価試験①・②、総合試験、復習試験、模擬試験の結果から明らかになった弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 2. 脂質代謝障害について説明できる。 3. 糖代謝異常について説明できる。 4. タンパク質代謝異常について説明できる。 5. 核酸代謝異常について説明できる。 6. 色素代謝異常症について説明できる。 7. 無機物代謝障害について説明できる。 [C-5-2)-①, ②] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：スタンダード病理学 p190-215 を読み、疑問点を抽出しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
8月3日(水) 6限	島山航講師 (補綴・インプラント学)	復習試験問題の解説&関連講義 復習試験の解説と関連釘によって弱点を強化して苦手分野について理解を深める。	1. クラウンブリッジ補綴学領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。 [E-3-4)-(1)]
8月4日(木) 1限	藤原尚樹教授 (機能形態学)	解剖学領域の弱点克服 頭頸部領域の解剖学と歯の解剖学の基本的知識を整理し、理解力不足の項目を整理する。	1. 頭頸部領域の解剖学の知識を整理し、理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 2. 歯の解剖学の知識を整理し、理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 [E-2-1)-①～⑥⑩, E-2-2)-①～④、⑥, E-3-1)-②] 配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。 事前学習：総合講義A・Bの該当領域の資料を復習し、理解が不確実な項目およびDESSの関連問題をまとめておくこと。講義でその関連事項を含めフィードバックする。
8月4日(木) 2限	原田英光教授 (発生生物・再生医学)	弱点領域の強化 組織・発生学の弱点問題領域を整理し、関連領域も含めて統合的に説明できるようになる。	1. 組織・発生学の弱点領域について確認し、体系的に説明できる。 [C-3-2)～4)、C-4-2)-③、E-2-1)～3)、E-3-1)] 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集I・IIについては各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。
8月4日(木) 3限	黒瀬雅之教授 (病態生理学)	復習試験問題での弱点領域の強化 復習試験での弱点領域を整理し、関連する領域の理解を深める。	1. 生理学に加え関連領域における弱点を理解し、弱点を体系的に説明できるようになる。 [C-3-4)-(4)-①～③、C-3-4-(5)-②～④、⑦～⑨、C-3-4)-(9)-①②] 事前学習：生理学の基本的事項について、1・2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
8月4日(木) 4限	菅 徹也助教 (う蝕治療学)	復習試験からのフィードバック 復習試験から見えてきたウィークポイントを克服することができる。	1. 修復領域の復習試験を確実に答えることができる。 [E-3-3)-(1)] 事前学習：復習試験結果から自分の修復、歯内領域における弱点を抽出して講義に臨むこと。
8月4日(木) 5限	菅 徹也助教 (う蝕治療学)	歯内領域の中、高正答率を確実に解く 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 歯内領域の復習試験を確実に答えることができる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：復習試験結果から自分の修復、歯内領域における弱点を抽出して講義に臨むこと。
8月4日(木) 6限	高橋徳明講師 (歯科放射線学)	放射線物理、生物学に関する国試一般問題について理解する。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から明らかになった以下の弱点項目を克服できる。 [E-1-2)-①～⑤]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
8月5日(金) 1限	田村晴希講師 (病態制御学)	復習試験問題の弱点領域の強化 復習試験での弱点領域を整理し、関連領域の知識も総合的に理解する。	1. 薬理学総論の復習試験問題の弱点を確認し、総合的に説明できる。 2. 薬理学各論の復習試験問題を確認し、説明できる。 [C-6-1)-①～③、C-6-2)-①～⑤、C-6-3)-①②、C-6-4)-①②] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する問題について学習しておくこと。
8月5日(金) 2限	武本真治教授 (医療工学)	総合講義 A 復習講義(復習試験、到達度試験から) 歯科理工学の弱点領域について学ぶ。	1. 歯科理工学の弱点領域について説明できる。 [D-1、D-2] 事前学習：2・3年次に使用した教科書(スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。A講義レジメ、復習試験の問題を再度見直すこと。
8月5日(金) 3限	下山佑准教授 (分子微生物学)	選抜講義 微生物学・免疫学領域全般について知識を強化し、理解を深める。	1. 復習試験の結果から見てきた微生物学・免疫学領域に関する理解が不十分な領域を説明できる。 [A-5-3)-①、②、C-3-1)-①～③、⑥、C-3-2)-①～⑦、E-2-4)-(9)-②、③、E-1-4)-⑥、⑧、E-2-4)-(3)-①、E-3-2)-①～⑤] アクティブラーニング：ディスカッション方式の講義を行う。 ICT：講義前後に講義内容に準じる領域のDESS演習を行うこと。 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学習しておくこと。
8月5日(金) 4限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	弱点領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 生化学領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。 [C-1-1)、C-2-1)、C-2-2)、C-2-3)、C-2-4)] DESS演習の準備をしておくこと。 事前学習：第一回総合試験の生化学関連問題を見直して講義に臨むこと。
8月5日(金) 5限	松本識野助教 (歯科矯正学)	弱点領域の強化 1 復習試験問題について理解を深める。	1. 矯正領域の復習試験の問題を確実に答えることができる。 [E-4-1)-(1)-①～⑦] 事前学習：到達目標について医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
8月5日(金) 6限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	復習試験問題解説講義 復習試験問題結果からわかった弱点について理解を深める。	1. 歯科麻酔領域の復習試験問題を確実に答えることができる。 [E-1-4)、E-1-6)、E-6-②] 事前学習：復習問題に出題された問題について永末書店 第6版 臨床歯科麻酔学、今年度A講義に使用したレジメに目を通して講義に臨むこと。
8月6日(土) 1, 2限	高橋美香子助教 (口腔外科学)	復習試験解説講義 復習試験結果から弱点を見つけ、理解できなかった項目を理解する。	1. これまで出題された復習試験を理解し、一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。 [A-3-①～⑥]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
8月9日(火) 1限	佐藤宏明教授 (補綴・インプラント学)	復習試験解説講義 復習試験結果から弱点を見つけ、理解できなかった項目を理解する。	1. 有床義歯補綴学に関する中～高正答率問題を確実に答えることができる。 [E-3-4)-(2)-①～⑭, D-1-①, ③, D-2-②] 事前学習：講義内容について教科書に目を通して講義に臨むこと。
8月9日(火) 2限	大石泰子助教 (予防歯科学)	総合講義 A 復習講義 1(復習試験、到達度試験から) 予防歯科領域の弱点を理解する。	1. 予防歯科領域の学習不足領域を列挙できる。 [A-2-1)-①～⑤] 事前学習：復習試験を見直しておくこと。
8月9日(火) 3限	千葉俊美教授 (関連医学)	循環器、脳血管、消化器、呼吸器、アレルギー疾患 代表的な循環器、脳血管、消化器、呼吸器、アレルギー疾患について理解する。	1. 代表的な循環器、脳血管、消化器、呼吸器、アレルギー疾患について理解し説明できる。 [E-6-②] 事前学習：科学に関する国家試験問題および過去の講義資料を確認し講義に臨むこと講義に関する国家試験問題を解きまとめること。

講義日程【選抜講義 2(8月16日～10月11日)】

実習日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
8月16日(火) 5限	石河太知講師 (分子微生物学)	選抜講義 微生物学・免疫学領域全般について知識を強化し、理解を深める。	1. 復習試験の結果から見てきた微生物学・免疫学領域に関する理解が不十分な領域を説明できる。 アクティブラーニング：ディスカッション方式の講義を行う。 ICT：講義前後に講義内容に準じる領域のDESS演習を行うこと。 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学習しておくこと。 [A-5-3]-①, ②, C-3-1]-①～③, ⑥, C-3-2]-①～⑦, E-2-4)-(9)-②, ③, E-1-4)-⑥, ⑧, E-2-4)-(3)-①, E-3-2]-①～⑤]
8月17日(水) 5限	佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	復習試験解説講義 復習試験結果から弱点を見つけ、理解できなかった項目を理解する。	1. 有床義歯補綴学に関する中～高正答率問題を確実に答えることができる。 [E-3-4)-(2)-①～⑭, D-1-①③, D-2-②] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
8月18日(木) 5限	佐藤泰生講師 (病態解析学)	口腔病理学の一般・必修問題対策 1 到達度評価試験・総合試験・復習試験・模擬試験で判明した口腔病理学の得	1. 到達度評価試験①・②、総合試験、復習試験、模擬試験の結果から明らかになった弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 2. 顎口腔の発育異常について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
		点率の低い弱点領域を認識するとともに、国家試験過去問の選択肢として使用された各種疾患の病態を正しく理解する。	3. 全身性疾患と口腔病変について説明できる。 4. 口腔領域に徴候をみる症候群について説明できる。 [E-2-4] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：新口腔病理学 p132-142 p312-319、p331-340 を読み、疑問点を抽出しておくこと。
8月19日(金) 5限	藤原尚樹教授 (機能形態学)	解剖学領域の弱点克服 頭頸部領域の解剖学と歯の解剖学の基本的知識を整理し、理解力不足の項目を整理する。	1. 頭頸部領域の解剖学の知識を整理し、理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 2. 歯の解剖学の知識を整理し、理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 [E-2-1)-①～⑥⑩, E-2-2)-①～④、⑥, E-3-1)-②] 配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。 事前学習：総合講義 A・B の該当領域の資料を復習し、理解が不確実な項目および DESS の関連問題をまとめておくこと。講義でその関連事項を含めフィードバックする。
8月31日(水) 5限	石崎明教授 (細胞情報科学)	弱点領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 生化学領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。 [C-1-1)、C-2-1)、C-2-2)、C-2-3)、C-2-4)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：第二回総合試験の生化学関連問題を見直して講義に臨むこと。
9月1日(木) 5限	小笠原正人教授 (病態制御学)	薬理学全般の弱点領域の強化 歯科医学総論、各論における薬理学関連領域の弱点分野を総合的に理解する。	1. 復習試験、到達度試験、必修試験、総合試験などからみえてきた弱点を整理し、説明できる。 [C-6-1)-①～③、C-6-2)-①～⑤、C-6-3)-①②、C-6-4)-①②] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する問題について学習しておくこと。
9月2日(金) 5限	高橋徳明講師 (歯科放射線学)	模擬試験解説 1 低～中正答率問題について理解を深める。	1. 模擬試験問題の解き方を学び、放射線領域の弱点項目を補強できる。 [E-1-2)] 模擬試験で自分が不正解であった問題に関して、自分の考えなどを事前に WebClass にアップロードしておく。
9月6日(火) 5限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	総合講義 A 復習講義 1(復習試験、到達度試験から) 予防歯科領域の弱点を理解する。	1. 予防歯科領域の学習不足領域を列挙できる。 [A-2-1)-①～⑤] 事前学習：復習試験を見直しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
9月7日(水) 5限	菅 徹也助教 (う蝕治療学)	復習試験からのフィードバック 復習試験から見えてきた ウィークポイントを克服 することができる。	1. 歯内領域の復習試験を確実に答えること ができる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：復習試験結果から自分の修復、 歯内領域における弱点を抽出して講義に臨 むこと。
9月8日(木) 6限	原田英光教授 (発生生物・再生 医学)	弱点領域の強化 組織・発生学の弱点問題領 域を整理し、関連領域も含 めて統合的に説明できる ようになる。	1. 組織・発生学の弱点領域について確認し、 体系的に説明できる。 [C-3-2)~4)、C-4-2)-③、E-2-1) ~3) 、 E-3-1)] 事前学習：事前に配布したテキストの必要 な項目に目を通しておくこと。また問題集 I・IIについては各自で解答して理解不足 の点を抽出しておくこと。
9月9日(金) 5限	小野寺慧助教 (口腔外科学)	復習試験解説講義 復習試験結果から弱点を 見つけ、理解できなかった 項目を理解する。	1. これまで出題された復習試験を理解し、 一般・臨床実地問題を確実に答えること ができる。 [A-3-①~⑥]
9月12日(月) 5限	橋口大輔助教 (小児歯科学)	復習試験問題の弱点領域 の強化 復習試験での弱点領域を 整理し、関連領域の知識も 総合的に理解する。	1. 小児歯科領域の中～高正答率問題を確実に 答えることができる。 [E-4-2)-①~⑫] 事前学習：復習試験の小児歯科領域問題を 確認しておく。 アクティブラーニング：講義中に教員との ディスカッションの機会を設ける。
9月13日(火) 5限	大石泰子助教 (予防歯科学)	総合講義 A 復習講義 2 (復習試験、到達度試験か ら)予防歯科領域の弱点を 理解する。	1. 予防歯科領域の学習不足領域を列挙できる。 [A-2-1)-①~⑤] 事前学習：復習試験を見直しておくこと。
9月14日(水) 5限	小松祐子助教 (口腔外科学)	復習試験解説講義 復習試験結果から弱点を 見つけ、理解できなかった 項目を理解する。	1. これまで出題された復習試験を理解し、 一般・臨床実地問題を確実に答えること ができる。 [A-3-①~⑥]
9月20日(木) 5限	小松祐子助教 (口腔外科学)	復習試験解説講義 復習試験結果から弱点を 見つけ、理解できなかった 項目を理解する。	1. これまで出題された復習試験を理解し、 一般・臨床実地問題を確実に答えること ができる。 [A-3-①~⑥]
9月21日(水) 5限	佐藤宏明助教 (補綴・インプラ ント学)	復習試験解説講義 復習試験結果から弱点を 見つけ、理解できなかった 項目を理解する。	1. 有床義歯補綴学に関する中～高正答率問 題を確実に答えることができる。 [E-3-4)-(2)-①~⑭, D-1-①③, D-2-②] 事前学習：講義内容について教科書と4年 次に使用したレジメ、講義ノートに目を通 して講義に臨むこと。
9月22日(木) 5限	服部雅之 客員教授 (医療工学)	総合講義 A・B 復習(復習 試験から) おもに正答率 30%~70% 歯科理工学の弱点領域に ついて学ぶ。	1. 歯科理工学の弱点領域について説明できる。 [D-1、D-2] 事前学習：2・3年次に使用した教科書(スタ ンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レ ジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこ と。A講義、B講義のレジメを再度見直す。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
9月26日(月) 5限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	復習試験問題解説講義 復習試験問題結果からわかった弱点について理解を深める。	1. 歯科麻酔領域の復習試験問題を確実に答えることができる。 [E-1-4)、 E-1-6]、 E-6-②] 事前学習：復習問題に出題された問題について永末書店 第6版 臨床歯科麻酔学、今年度A,B講義に使用したレジュメに目を通して講義に臨むこと。
9月27日(火) 5限	高藤恭子助教 (補綴・インプラント学)	口腔インプラント臨床 インプラントの過去の国家試験を理解する。	1. インプラントインプラント最に関する過去問を理解することができる。 [E-3-4)-(3)] 事前学習：4・5年次に使用したレジュメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。また、インプラント関連の国家試験過去問題にも目を通すこと。
9月28日(水) 5限	菅 徹也助教 (う蝕治療学)	復習試験からのフィードバック 復習試験から見えてきたウィークポイントを克服することができる。	1. 修復領域の復習試験を確実に答えることができる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：復習試験結果から自分の修復、歯内領域の弱点を抽出して講義に臨むこと。
9月29日(木) 5限	小松祐子助教 (口腔外科学)	復習試験解説講義 復習試験結果から弱点を見つけ、理解できなかった項目を理解する。	1. これまで出題された復習試験を理解し、一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。 A-3-①～⑥]
9月30日(金) 5限	松本識野助教 (歯科矯正学)	弱点領域の強化2 復習試験問題について理解を深める。	1. 矯正領域の復習試験の問題を確実に答えることができる。 [E-4-1)-(1)-①～⑦] 事前学習：到達目標について医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
10月3日(月) 5限	菅 徹也助教 (う蝕治療学)	復習試験からのフィードバック 復習試験から見えてきたウィークポイントを克服することができる。	1. 歯内領域の復習試験を確実に答えることができる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：復習試験結果から自分の修復、歯内領域の弱点を抽出して講義に臨むこと。
10月4日(火) 5限	熊谷美保准教授 (障害者歯科学)	障害者歯科学での行動調整、主な障害、関連した法律 障害者歯科学で取り扱う行動調整と主な障害、さらに関連した法律を理解する。	1. 障害者歯科学で取り扱う行動調整と主な障害、関連した法律について説明できる。 [B-2-2)-①、E-5-2)-①～④] 事前学習：教科書 p208～244、p40～105 を読んでおく。
10月6日(木) 5限	村井治助教 (歯周療法学)	復習試験問題の弱点補強 復習試験の結果から弱点領域の理解を深める。	1. 歯周領域の復習試験問題を確実に答えることができる。 E-3-2)-③④⑤、E-3-3)-(3)-①～⑤ 事前学習：歯周領域の復習試験問題を再度復習し、疑問点を抽出して講義に臨むこと。
10月7日(金) 5限	千田弥栄子助教 (う蝕治療学)	復習試験問題の弱点領域の強化 総合領域の復習試験問題について理解を深める。	1. 総合歯科領域の復習試験問題を確実に答えることができる。 [A-4、 A-5] 事前学習：総合領域の復習試験での疑問点を抽出しておく事。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
10月11日 (火) 5限	深澤翔太講師 (補綴・インプラント学)	復習試験解説講義 復習試験結果から弱点を見つけ、理解できなかった項目を理解する。	1. 有床義歯補綴学に関する中～高正答率問題を確実に答えることができる。 [E-3-4)-(2)-①～⑭, D-1-①③, D-2-②] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

講義日程【選抜講義 3(10月20日～12月12日)】 5限：15：20～16：25

実習日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
10月20日(木) 5限	菅 徹也助教 (う蝕治療学))	復習試験からのフィードバック 復習試験から見てきたウィークポイントを克服することができる。	1. 修復領域の復習試験を確実に答えることができる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：復習試験結果から自分の修復、歯内領域の弱点を抽出して講義に臨むこと。
10月21日(金) 5限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	小児歯科弱点領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 小児歯科領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。 [E-4-2)-①～⑫] 事前学習：復習試験の小児歯科領域問題を確認しておく。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
10月26日(水) 5限	齋藤勇起助教 (口腔外科学)	復習試験解説講義 復習試験結果から弱点を見つけ、理解できなかった項目を理解する。	1. これまで出題された復習試験を理解し、一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。 [A-3-①～⑥]
10月27日(木) 5限	田邊憲昌准教授 (補綴・インプラント学)	復習試験問題の解説&関連講義 復習試験の解説と関連釘によって弱点を強化して苦手分野について理解を深める。	1. クラウンブリッジ補綴学領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。 [E-3-4)-(1)]
10月28日(金) 5限	黒瀬雅之教授 (病態生理学)	弱点領域の強化 生理学の弱点領域を理解する。	1. 生理学の弱点領域について確認し、体系的に説明できる。 [C-3-4)-(4)-①～③, C-3-4-(5)-②～④⑦～⑨, C-3-4)-(9)-①②] 事前学習：生理学の基本的事項について、1・2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
10月31日(月) 5限	衣斐美歩講師 (病態解析学)	口腔病理学の一般・必修問題対策 8 到達度評価試験・総合試験・復習試験・模擬試験で判明した口腔病理学の得点率の低い弱点領域を認識するとともに、国家試験	1. 到達度評価試験、総合試験、復習試験、模擬試験の結果 から明らかになった弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 2. 齶蝕の疫学について説明できる。 3. 齶蝕の分類と好発部位について説明できる。 4. 齶蝕の原因と成り立ちについて説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
		過去問の選択肢として使用された各種疾患の病態を正しく理解する。	5. 齶蝕の病理学的特徴について説明できる。 [E-3-3)-(1)-①] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学習：新口腔病理学 p31-47 を読み、疑問点を抽出しておくこと。
11月1日(火) 5限	田邊憲昌准教授 (補綴・インプラント学)	復習試験問題の解説&関連講義 復習試験の解説と関連釘によって弱点を強化して苦手分野について理解を深める。	1. クラウンブリッジ補綴学領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。 [E-3-4)-(1)]
11月2日(水) 5限	深澤翔太講師 (補綴・インプラント学)	一般・臨床対策 通常の義歯とは違った方法で作る義歯 通常の義歯製作ステップで行わない手技を理解する。	1. パラトグラムについて説明できる。 2. ニュートラルゾーンテクニックについて説明できる。 3. フレンジテクニックについて説明できる。 4. ピエゾグラフィーについて説明できる。 5. オルタードキャストテクニックについて説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑥⑦⑨] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
11月4日(金) 5限	原田英光教授 (発生物・再生医学)	口腔組織学の弱点領域の強化 口腔組織学領域を整理し、関連領域も含めて統合的に説明できるようになる。	1. 口腔組織学領域の重要項目について確認し、体系的に説明できる。 [E-3-1)-①、E-3-1)-④～⑥] 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集I・IIについては各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。
11月7日(月) 5限	田村晴希講師 (病態制御学)	薬理学弱点对策 歯科医師として修得すべき薬理学・臨床薬理学の重要な基本的事項を確認し、理解する。	1. 復習試験、到達度試験、必修試験、総合試験などの結果からみえてきた薬理学・臨床薬理学領域に関する理解を深め、説明できる。 [C-6-1)-①～③、C-6-2)-①～⑤、C-6-3)-①②、C-6-4)-①②] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する問題について学習しておくこと。
11月8日(火) 5限	滝沢尚希助教 (歯周療法学)	復習試験問題の弱点補強 復習試験の結果から弱点領域の理解を深める。	1. 歯周領域の復習試験問題を確実に答えることができる。 E-3-2)-③④⑤、E-3-3)-(3)-①～⑤ 事前学習：歯周領域の復習試験問題を再度復習し、疑問点を抽出して講義に臨むこと。
11月9日(火) 5限	服部雅之 客員教授 (医療工学)	歯科理工学の弱点克服 歯科材料の基本的知識の最終確認をする。	1. 歯科材料の基本的知識について説明できる。 [D-1、D-2] 事前学習：2・3年次に使用した教科書(スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。A講義、B講義のレジメを再度見直す。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月10日(木) 5限	藤原尚樹教授 (機能形態学)	解剖学領域の弱点克服 頭頸部領域の解剖学と歯の解剖学の基本的知識を整理し、理解力不足の項目を整理する。	1. 頭頸部領域の解剖学の知識を整理し、理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 2. 歯の解剖学の知識を整理し、理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 [E-2-1)-①～⑥⑩, E-2-2)-①～④、⑥, E-3-1)-②] 配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。 事前学習：総合講義A・Bの該当領域の資料を復習し、理解が不確実な項目およびDESSの関連問題をまとめておくこと。講義でその関連事項を含めフィードバックする。
11月11日(金) 5限	齋藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	復習試験問題の解説&関連講義 復習試験の解説と関連釘によって弱点を強化して苦手分野について理解を深める。	1. クラウンブリッジ補綴学領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。 [E-3-4)-(1)]
11月14日(月) 5限	石河太知講師 (分子微生物学)	選抜講義 微生物学・免疫学領域全般について知識を強化し、理解を深める。	1. 復習試験の結果から見えてきた微生物学・免疫学領域に関する理解が不十分な領域を説明できる。 [A-5-3)-①, ②, C-3-1)-①～③, ⑥, C-3-2)-①～⑦, E-2-4)-(9)-②, ③, E-1-4)-⑥, ⑧, E-2-4)-(3)-①, E-3-2)-①～⑤] アクティブラーニング：ディスカッション方式の講義を行う。 ICT：講義前後に講義内容に準じる領域のDESS演習を行うこと。 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学習しておくこと。
11月15日(火) 5限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	総合講義B 復習講義1(復習試験、到達度試験から) 予防歯科領域の弱点を理解する。	1. 予防歯科領域の学習不足領域を列挙できる。 [A-2-1)-①～⑤] 事前学習：復習試験を見直しておくこと。
11月16日(水) 5限	入江太朗教授 (病態解析学)	口腔病理学の一般・必修問題対策11 全国模試(麻布116-2 10月24, 25日実施)の解説と重要な各種疾患の病態を理解する。	1. 到達度評価試験、総合試験、復習試験、模擬試験の結果から明らかになった弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 2. 水腫の定義・病態生理・形態学的変化について説明できる。 3. 虚血の定義・原因・転帰について説明できる。 4. 充血とうっ血について説明できる。 5. 出血と出血性素因について説明できる。 6. 血液凝固機序と血栓症について説明できる。 7. 塞栓症の定義・種類・結果・転帰について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
			<p>8. 梗塞の定義・種類・形態学的な変化について説明できる。</p> <p>9. ショックの定義・発生・種類・形態学的な変化について説明できる。</p> <p>10. 傍側循環について定義・種類・病態生理を説明できる。</p> <p>11. 高血圧と低血圧について説明できる。</p> <p>[C-5-4)-①～⑤]</p> <p>事前学習：要説病理学総論 p58-75 あるいはスタンダード病理学 p74-109 を読み、疑問点を抽出しておくこと。</p>
11月18日(金) 5限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	弱点領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	<p>1. 生化学領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。</p> <p>[C-1-1)、C-2-1)、C-2-2)、C-2-3)、C-2-4)]</p> <p>DESS 演習の準備をしておくこと。</p> <p>事前学習：第三回総合試験の生化学関連問題を見直して講義に臨むこと。</p>
11月21日(月) 5限	菅 徹也助教 (う蝕治療学))	模擬試験&復習試験からのフィードバック 模擬試験と復習試験から見てきたウィークポイントを克服することができる。	<p>1. 歯内領域の復習試験を確実に答えることができる。</p> <p>[E-3-3)-(2)]</p> <p>事前学習：復習試験結果から自分の修復、歯内領域の弱点を抽出して講義に臨むこと。</p>
11月22日(火) 5限	菅 徹也助教 (う蝕治療学))	模擬試験&復習試験からのフィードバック 模擬試験と復習試験から見てきたウィークポイントを克服することができる。	<p>1. 修復領域の復習試験を確実に答えることができる。</p> <p>[E-3-3)-(2)]</p> <p>事前学習：復習試験結果から自分の修復、歯内領域の弱点を抽出して講義に臨むこと。</p>
11月24日(木) 5限	村井治助教 (歯周療法学)	復習試験問題の弱点補強 復習試験の結果から弱点領域の理解を深める。	<p>1. 歯周領域の復習試験問題を確実に答えることができる。</p> <p>E-3-2)-③④⑤、E-3-3)-(3)-①～⑤</p> <p>事前学習：歯周領域の復習試験問題を再度復習し、疑問点を抽出して講義に臨むこと。</p>
11月25日(金) 5限	泉澤充准教授 (歯科放射線学)	模擬試験解説 2 低～中正答率問題について理解を深める。	<p>1. 模擬試験問題の解き方を学び、放射線領域の弱点項目を補強できる。</p> <p>[E-1-2)]</p> <p>事前学習：全国模試で自分が不正解であった問題に関して、自分の考えなどを事前に WebClass にアップロードしておく。</p>
11月28日(月) 5限	熊谷美保准教授 (障害者歯科学)	症候群 障害者歯科で取り扱う症候群についての弱点部分を理解する。	<p>1. 障害者歯科で取り扱う症候群についての弱点部分を説明できる。</p> <p>[E-2-4)-(10)-⑤⑥]</p> <p>事前学習：教科書 p163～205 を読んでおく。</p>
11月29日(火) 5限	大石泰子助教 (予防歯科学)	総合講義 B 復習講義 2(復習試験、到達度試験から) 予防歯科領域の弱点を理解する	<p>1. 予防歯科領域の学習不足領域を列挙できる。</p> <p>[A-2-1)-①～⑤]</p> <p>事前学習：復習試験を見直しておくこと。</p>

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月30日(水) 5限	橋口大輔助教 (小児歯科学)	小児歯科弱点領域の強化 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 小児歯科領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。 [E-4-2)-①～⑫] 事前学習：復習試験の小児歯科領域問題を確認しておく。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
12月1日(木) 5限	下山佑准教授 (分子微生物学)	選抜講義 微生物学・免疫学領域全般について知識を強化し、理解を深める。	1. 復習試験の結果から見えてきた微生物学・免疫学領域に関する理解が不十分な領域を説明できる。 [A-5-3]-①, ②, C-3-1]-①～③, ⑥, C-3-2]-①～⑦, E-2-4)-(9)-②, ③, E-1-4)-⑥, ⑧, E-2-4)-(3)-①, E-3-2]-①～⑤] アクティブラーニング：ディスカッション方式の講義を行う。 ICT：講義前後に講義内容に準じる領域のDESS演習を行うこと。 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学習しておくこと。
12月2日(金) 5限	織田展輔 非常勤講師	一般・臨床対策 義歯修理 義歯の破損に対する原因と対応を理解する。	1. 義歯破損の原因を説明できる。 2. 義歯修理方法を説明できる。 3. 義歯修理手順を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑭] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
12月5日(月) 5限	松本識野助教 (歯科矯正学)	弱点領域の強化3 復習試験問題について理解を深める。	1. 矯正領域の復習試験の問題を確実に答えることができる。 [E-4-1)-(1)-①～⑦] 事前学習：到達目標について医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
12月6日(火) 5限	小野寺慧助教 (口腔外科学)	復習試験解説講義 復習試験結果から弱点を見つけ、理解できなかった項目を理解する。	1. これまで出題された復習試験を理解し、一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。 [A-3-①～⑥]
12月7日(水) 5限	四戸 豊講師 (歯科麻酔学)	復習試験問題解説講義 復習試験問題結果からわかった弱点について理解を深める。	1. 歯科麻酔領域の復習試験問題を確実に答えることができる。 [E-1-4)、E-1-6)、E-6-②] 事前学習：復習問題に出題された問題について永末書店 第6版 臨床歯科麻酔学、今年度A、B、C講義に使用したレジメに目を通して講義に臨むこと。
12月8日(木) 5限	村井治助教 (歯周療法学)	復習試験問題の弱点補強 復習試験の結果から弱点領域の理解を深める。	1. 歯周領域の復習試験問題を確実に答えることができる。 E-3-2)-③④⑤、E-3-3)-(3)-①～⑤ 事前学習：歯周領域の復習試験問題を再度復習し、疑問点を抽出して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
12月9日(金) 5限	千葉俊美教授 (内科学)	選抜講義 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 代表的な循環器、脳血管、消化器、呼吸器、アレルギー、腎、代謝、内分泌、腫瘍、血液、出血性疾患について理解を深め説明できる。 [E-6-②] 事前学習：内科学に関する過去の講義資料を確認し講義に臨むこと。講義に関する国家試験問題を解きまとめること。
12月12日(木) 5限	高藤恭子助教 (補綴・インプラント学)	口腔インプラント総論	1. インプラント治療に関連する国家試験対策 [E-3-4)-(3)、D-2-⑧] 事前学習：4・5年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。また、教科書の該当項目にも目を通すこと。

成績評価方法

<p>第1回～第3回総合試験を95%、到達度評価試験を5%として評価する。 ※第1回～第3回総合試験の点数配分 第1回：第2回：第3回＝1.5：3.5：4.5</p> <p>判定基準点：必修問題75%以上、一般問題65%以上、臨床実地問題65%以上、総合得点70%以上 判定基準：必修問題、一般問題、臨床実地問題、総合得点いずれも基準点を満たしていること。 ※必修問題、一般問題は1問1点、臨床実地問題は1問3点で計算</p>

総合試験における受験資格について(DESS 演習)

<p>基礎演習(A)、臨床演習(B)、臨床実地演習(C)の3領域を設け、それぞれに演習科目を設定する。各演習科目は90%以上の得点率で合格とし、再演習を合格するまで設定する。各領域内の全ての演習科目で合格することにより、当該領域の合格とする。各総合試験における到達状況については、原則として下記の通りとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回総合試験 演習A、B、Cの1領域以上で合格していること。 ・第2回総合試験 演習A、B、Cの2領域以上で合格していること。 ・第3回総合試験 演習A、B、C全ての領域で合格していること。
--

総合試験における受験資格について(必修試験)

<ul style="list-style-type: none"> ・必修試験、臨床試験の各試験を受験し、80%以上得点し合格することを原則とする。 ・必修試験、臨床試験で不合格となった者は、再試験を受験し、80%以上得点し合格すること。再試験で不合格となった者は、継続して再試験を受験し、最終的に80%以上得点し合格することを原則とする。

到達度評価試験の評価について

<ul style="list-style-type: none"> ・到達度評価試験の評価については、2回の平均得点率を評価点数とする。 ・到達度試験の配分は5%とし、すべての到達度試験を受験した場合にも加算する。
--

特記事項・その他

- ・総合講義（Ⅱ）では、第5学年まで修得した知識をもとに、すべての科目を横断的に結びつけた統合的な知識の修得を目標としている。なお、すでに履修した内容については十分に修得している前提で講義を行う。
- ・思考力、推論能力を向上する為にディスカッション方式の講義を行うことがある。
- ・事前学習で作成したレポートをもとに数名がプレゼンテーションを行うことがある。
- ・講義の途中あるいは最後にクリッカー、DESS 演習、WebClass 等を活用して学生の理解度を逐次確認することがある。
- ・DESS 演習により復習を行い、知識の定着を図る必要がある。
- ・講義翌日朝に行う復習試験で知識の定着を確認するとともに、理解不足とみられる内容については、次回以降の講義で補う。